

二 社債ノ利率ノ最高限度

第一項ノ場合ニ於テ硫酸アンモニア増産及配給統制法第七條第三項但書ノ規定ニ依リ擔保ヲ供セズシテ社債ヲ募集セントスルモノナルトキハ認可申請書ニ第一項各號ニ掲グル事項ノ外擔保ヲ供セザル特別ノ事由ヲ記載スベシ

第十條 前條ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一 社債ヲ以テ支辨セントスル設備ノ費用及其ノ設備ノ概要ヲ記載シタル書類（工事費計算書ヲ添附スベシ）

二 社債募集ニ關スル株主總會ノ決議録ノ謄本

三 會社ノ資本及拂込ミタル株金額ノ登記抄本

四 最終ノ貸借對照表

五 前ニ社債ヲ募集シタルトキハ其ノ償還ヲ了ヘザル總額ノ登記抄本

六 信託證書案

七 工場抵當法ニ依リ抵當トナスベキ物件ノ目錄

八 前號ノ擔保物件ノ帳簿價格ヲ最終ノ財産目錄ノ科目別ニ記載シタル書類

前條第一項ノ場合ニ於テ硫酸アンモニア増産及配給統制法第七條第三項但書ノ規定ニ依リ擔保ヲ供セズシテ社債ヲ募集セントスルモノナルトキハ前條ノ認可申請書ニ前項第一號乃至第五號ニ掲グル

書類及社債募集ノ方法ニ關スル説明書ヲ添附スベシ

第十一條 硫酸アンモニア増産及配給統制法第七條第一項ノ認可ヲ受ケタル後信託契約又ハ擔保物件ニ變更アリタルトキハ遲滞ナク其ノ旨農林大臣ニ届出ヅベシ

附 則

本令ハ硫酸アンモニア増産及配給統制法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

臨時肥料配給統制法第一條第一項ノ規定ニ依リ硫酸アンモニアノ配給統制事業ヲ行フベキコトヲ命ゼラレタル株式會社ヲ硫酸アンモニア増産及配給統制法附則第二項ノ規定ニ依リ日本硫酸株式會社ト爲スコトヲ得ル期間ハ硫酸アンモニア増産及配給統制法施行ノ日ヨリ二月以内トス

硫酸アンモニア増産及配給統制法附則第四項ノ認可ヲ受ケントスルトキハ申請書ニ決議録ノ謄本、株主名簿、最終ノ財産目錄及貸借對照表竝ニ取締役候補者ノ氏名ヲ記載シタル書類及履歷書ヲ添附シ之ヲ農林大臣ニ提出スベシ

第五、日本肥料株式會社法關係

(一) 日本肥料株式會社法 (昭和十五年四月八日 法律第百一號)

第一條 日本肥料株式會社ハ肥料ノ需給ノ圓滑及價格ノ公正ヲ圖ル爲必要ナル事業ヲ營ムコトヲ目的トスル株式會社トス

第二條 日本肥料株式會社ノ資本ハ五千萬圓トス但シ政府ノ認可ヲ受ケ之ヲ増加スルコトヲ得

第三條 日本肥料株式會社ノ株式ハ記名式トシ政府、公共團體、帝國臣民又ハ帝國法人ニシテ社員株主若ハ業務ヲ執行スル役員ノ半數以上又ハ資本ノ半額以上若ハ議決權ノ過半數ガ外國人又ハ外國法人ニ屬セザルモノニ限り之ヲ所有スルコトヲ得

勅令ノ定ムル法人ニシテ特ニ政府ノ許可ヲ受ケタルモノハ前項ノ規定ニ拘ラズ日本肥料株式會社ノ株主ト爲ルコトヲ得

第四條 政府ハ二千五百萬圓ヲ限り日本肥料株式會社ニ出資スベシ

政府所有ノ株式ノ株金拂込ハ其ノ他ノ株式ノ株金拂込ト之ヲ異ニスルコトヲ得

第五條 日本肥料株式會社ニ非ザルモノハ日本肥料株式會社又ハ之ニ類以ノ名稱ヲ以テ其ノ商號ト爲

スコトヲ得ズ

第六條 日本肥料株式會社ニ役員トシテ理事長副理事長各一人、理事五人以上及監事三人以上ヲ置ク
理事長ハ日本肥料株式會社ヲ代表シ其ノ業務ヲ總理ス

副理事長ハ理事長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ理事長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

副理事長及理事ハ理事長ヲ輔佐シ定款ノ定ムル所ニ依リ日本肥料株式會社ノ業務ヲ分掌シ又ハ之ニ參與ス

監事ハ日本肥料株式會社ノ業務ヲ監査ス

第七條 理事長及副理事長ハ政府之ヲ命ジ其ノ任期ヲ五年トス

理事ハ株主總會ニ於テ選舉シタル候補者中ヨリ政府之ヲ命ジ其ノ任期ヲ四年トス

監事ハ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ其ノ任期ヲ三年トス

肥料業ヲ監督スル官廳ノ官吏タリシ者ハ其ノ職ヲ退キタル後五年間日本肥料株式會社ノ役員ト爲ルコトヲ得ズ但シ主務大臣ニ於テ特ニ必要アリト認メタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第八條 理事長、副理事長及業務ヲ分掌スル理事ハ他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ得ズ但シ政府ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第九條 日本肥料株式會社ハ左ノ事業ヲ營ムモノトス

一 肥料ノ買入及販賣

二 肥料ノ輸出、輸入、移出及移入

三 肥料ノ製造、肥料製造事業ニ對スル投資其ノ他肥料ノ供給確保上必要ナル事業

四 其ノ他肥料ノ需給ノ圓滑及價格ノ公正ヲ圖ル爲必要ナル事業

前項ノ肥料ハ硫酸アンモニア、石灰窒素、過磷酸石灰、カリ鹽及命令ヲ以テ定ムル其ノ他ノ肥料トス

第一項第三號又ハ第四號ニ掲グル事業ヲ營マントスルトキハ政府ノ認可ヲ受クベシ

第十條 日本肥料株式會社ハ前條ノ肥料以外ノ肥料ノ配給統制事業ヲ行フ株式會社ニ對シ政府ノ認可ヲ受ケ投資スルコトヲ得

第十一條 政府第九條ノ肥料ノ供給確保上必要アリト認ムルトキハ日本肥料株式會社ニ對シ肥料ノ製造業者ト協議ノ上其ノ製造工場ノ經營ノ管理ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第十二條 日本肥料株式會社ハ拂込ミタル株金額ノ五倍ヲ限リ肥料債券ヲ發行スルコトヲ得

肥料債券ヲ發行スル場合ニ於テハ商法第三百四十三條ニ定ムル決議ニ依ルコトヲ要セズ

第十三條 肥料債券ヲ發行セントスル場合ニ於テハ政府ノ認可ヲ受クベシ

第十四條 政府ハ肥料債券ノ元本ノ償還及利息ノ支拂ニ付保證スルコトヲ得

第十五條 肥料債券ハ無記名式トス但シ應募者又ハ所有者ノ請求ニ因リ記名式ト爲スコトヲ得

第十六條 肥料債券ノ所有者ハ日本肥料株式會社ノ財産ニ付他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ

受クル權利ヲ有ス

第十七條 日本肥料株式會社ハ每營業年度ニ準備金トシテ資本ノ缺損ヲ補フ爲利益金額ノ百分ノ八以

上ヲ積立ツベシ

第十八條 日本肥料株式會社ハ拂込ミタル株金額ニ對シ勅令ヲ以テ定ムル割合ヲ超エテ利益ノ配當ヲ爲スコトヲ得ズ

第十九條 日本肥料株式會社ハ每營業年度ニ於ケル配當シ得ベキ利益金額ガ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ四ノ割合ニ達スル迄政府ノ所有スル株式ニ對シ利益ノ配當ヲ爲スコトヲ要セズ

日本肥料株式會社ノ每營業年度ニ於ケル配當シ得ベキ利益金額ガ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ四ノ割合ヲ超過スル場合ニ於テ政府以外ノ者ノ所有スル株式ニ對シ年百分ノ四ノ割合ヲ超エ利益配當ヲ爲サントスルトキハ其ノ超過スル利益金額ハ利益配當ガ總株式ニ付拂込ミタル株金額ニ對シ均一ノ割合ニ達スル迄政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額及政府ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額ニ對シ一ト三トノ割合ヲ以テ之ヲ配當スベシ

第二十條 政府ハ日本肥料株式會社ノ業務ヲ監督ス

第二十一條 日本肥料株式會社借入金ヲ爲サントスルトキハ政府ノ認可ヲ受クベシ

第二十二條 日本肥料株式會社ノ定款ノ變更、利益金ノ處分、合併及解散ノ決議ハ政府ノ認可ヲ受ク

ルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第二十三條 日本肥料株式會社ハ每營業年度ノ事業計畫ヲ定メ政府ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第二十四條 日本肥料株式會社ハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外政府ノ認可ヲ受ケタル價格ニ依ルニ非ザレバ第九條ノ肥料ノ買入、販賣、輸出、輸入、移出又ハ移入ヲ爲スコトヲ得ズ

第二十五條 政府必要アリト認ムルトキハ日本肥料株式會社ニ對シ第九條ノ肥料ノ配給統制上又ハ供給確保上必要ナル事業ヲ行フベキコトヲ命ズルコトヲ得

政府ハ日本肥料株式會社ニ對シ其ノ業務及財産ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲サシメ、検査ヲ爲シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十六條 政府ハ日本肥料株式會社監理官ヲ置キ日本肥料株式會社ノ業務ヲ監視セシム

日本肥料株式會社監理官ハ何時ニテモ日本肥料株式會社ノ帳簿書類、金庫其ノ他ノ物件ヲ検査スルコトヲ得

日本肥料株式會社監理官必要ト認ムルトキハ何時ニテモ日本肥料株式會社ニ命ジ業務ニ關スル諸般ノ計算及狀況ヲ報告セシムルコトヲ得

日本肥料株式會社監理官ハ株主總會其ノ他諸般ノ會議ニ出席シ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第二十七條 政府日本肥料株式會社ノ決議又ハ役員ノ行爲ガ法令、法令ニ基キテ爲ス處分若ハ定款ニ

違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ其ノ決議ヲ取消シ又ハ役員ヲ解任スルコトヲ得

第二十八條 重要肥料業統制法第十條第一項ノ規定ハ日本肥料株式會社ニ付テハ之ヲ適用セズ

第二十九條 日本肥料株式會社ハ第九條ノ肥料ノ價格ノ調整ヲ圖ル爲命令ノ定ムル所ニ依リ價格平衡資金ヲ設定スベシ

前項ノ規定ニ依リ價格平衡資金ニ繰入レタル金額ハ法人税法ニ依ル所得、營業税法ニ依ル純益及臨時利得税法ニ依ル利益ノ計算上之ヲ損金ニ算入ス

第三十條 第九條ノ肥料ニシテ主務大臣ノ指定スルモノノ製造業者及其ノ肥料ノ取扱ヲ爲ス者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ製造又ハ取扱ニ係ル肥料ヲ日本肥料株式會社ニ賣渡スベシ

前項ノ肥料ノ取扱ヲ爲ス者ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

政府ハ第一項ニ掲グル者ニ對シ其ノ業務及財産ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲サシメ又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ノ検査ヲ爲スコトヲ得

第三十一條 第二十五條第一項ノ規定ニ依ル命令又ハ第二十四條若ハ前條第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十二條 第三十條第三項ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ又ハ虛偽ノ報告ヲ爲シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十條第三項ノ規定ニ依ル検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ怠シタル者亦前項ニ同ジ

第三十三條 法人又ハ人ノ代理人、戶主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シ
第三十一條又ハ前條第一項ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ其ノ法人又ハ人ハ自己ノ指揮ニ出デザルノ
故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第三十四條 第三十一條及第三十二條第一項ノ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ
法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ
營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第三十五條 日本肥料株式會社左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ理事長又ハ理事長ノ職務ヲ行ヒ若ハ代
理スル副理事長ヲ五千圓以下ノ過料ニ處ス副理事長又ハ理事ノ分掌業務ニ係ルトキハ副理事長又ハ
理事ヲ過料ニ處スルコト亦同ジ

- 一 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ認可ヲ受クベキ場合ニ於テ其ノ認可ヲ受ケザルトキ
 - 二 第九條第一項ノ規定ニ依ラズシテ業務ヲ營ミタルトキ
 - 三 第十二條第一項ノ規定ニ違反シ肥料債券ヲ發行シタルトキ
 - 四 第二十五條第二項ノ規定ニ依ル命令又ハ處分ニ違反シタルトキ
- 日本肥料株式會社ノ理事長、副理事長又ハ理事第八條ノ規定ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ過料ニ
處ス

第三十六條 第五條ノ規定ニ違反シタル者ハ千圓以下ノ過料ニ處ス

附 則

第三十七條 本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十八條 日本硫安株式會社及臨時肥料配給統制法第一條第一項ノ規定ニ依リ過磷酸石灰ノ配給統
制上必要ナル事業ヲ行フベキコトヲ命ゼラレタル株式會社（磷酸肥料配給株式會社）ハ命令ノ定ム
ル所ニ依リ商法第三百四十三條ニ定ムル株主總會ノ決議ヲ以テ日本肥料株式會社ト爲ルコトヲ得
日本硫安株式會社及磷酸肥料配給株式會社前項ノ決議ヲ爲シタルトキハ政府ノ認可ヲ受クベシ

第三十九條 前條ノ認可ヲ爲シタルトキハ政府ハ設立委員ヲ命ジ日本硫安株式會社及磷酸肥料配給株
式會社ヲ日本肥料株式會社ト爲ス爲ニ必要ナル事務ヲ處理セシム
前項ノ設立委員ノ中少クトモ二人ハ日本硫安株式會社ノ取締役中ヨリ、少クトモ二人ハ磷酸肥料配
給株式會社ノ取締役中ヨリ之ヲ命ズルコトヲ要ス

設立委員ノ任命アリタル後ハ日本硫安株式會社及磷酸肥料配給株式會社ノ取締役ハ政府ノ認可ヲ受
クルニ非ザレバ會社ノ常務ニ屬セザル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

第四十條 設立委員ハ定款ヲ作成シ政府ノ認可ヲ受クベシ

第四十一條 前條ノ認可アリタルトキハ設立委員ハ總株式ヨリ日本硫安株式會社及磷酸肥料配給株式

會社ノ株式ニ引當テラルベキ株式竝ニ政府ニ割當ツベキ株式ヲ控除シタル殘餘ノ株式ニ付株主ヲ募集スベシ

第四十二條 株式申込證ニハ商法第七十五條第二項第二號及第四號乃至第七號ニ規定スル事項ノ外定款認可ノ年月日ヲ記載スベシ

第四十三條 設立委員ハ株主ノ募集ヲ終リタルトキハ株式申込證ヲ政府ニ提出シ其ノ検査ヲ受クベシ

第四十四條 設立委員ハ前條ノ検査ヲ受ケタル後遲滯ナク各新株ニ付第一回ノ拂込ヲ爲サシムベシ

第四十五條 前條ノ拂込アリタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク創立總會ヲ招集スベシ

第四十六條 創立總會ニ於テハ第七條ノ規定ニ準ジ理事ノ候補者ノ選舉及監事ノ選任ヲ行フベシ

第四十七條 創立總會終結シタルトキハ設立委員ハ其ノ事務ヲ日本肥料株式會社理事長ニ引渡スベシ

第四十八條 日本肥料株式會社ノ成立ニ因リ日本硫安株式會社及磷酸肥料配給株式會社ハ之ニ吸收セラルルモノトシ日本硫安株式會社及磷酸肥料配給株式會社ノ權利義務ハ日本肥料株式會社ニ於テ之ヲ承繼ス

ヲ承繼ス

第四十九條 前條ノ規定ニ依リ日本硫安株式會社及磷酸肥料配給株式會社ガ日本肥料株式會社ト爲リタルトキハ法人税法、營業税法及臨時利得税法ノ適用ニ關シテハ日本硫安株式會社及磷酸肥料配給株式會社ハ之ヲ合併ニ因リテ消滅シタル法人ト看做シ日本肥料株式會社ハ之ヲ合併ニ因リテ設立シタル法人ト看做ス

タル法人ト看做ス

日本肥料株式會社ガ設立ノ登記ヲ受クルトキハ其ノ拂込株金額中日本硫安株式會社及磷酸肥料配給株式會社ノ拂込株金額ニ相當スル部分ニ付テハ登録稅ヲ課セズ

第五十條 第三十八條乃至前條ニ規定スルモノヲ除クノ外日本硫安株式會社及磷酸肥料配給株式會社

ガ日本肥料株式會社ト爲ル場合ニ於テ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十一條 第三十八條第一項ノ決議ナキ場合又ハ其ノ決議ガ效力ヲ生ゼザル場合ニ於テ日本肥料株式會社ノ設立ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十二條 第五條ノ規定施行ノ際現ニ日本肥料株式會社又ハ之ニ類似ノ名稱ヲ以テ商號ト爲ス會社

ハ同條ノ規定施行後六月以内ニ其ノ商號ヲ變更スルコトヲ要ス

第五條ノ規定ハ前項ノ期間内同項ニ掲グル者ニ之ヲ適用セズ

第五十三條 登録稅法第六條第一項第十一號中「硫安債券」ヲ「肥料債券」ニ改ム

第五十四條 硫酸アンモニア増産及配給統制法中左ノ通改正ス

第六條ヲ削リ第七條ヲ第六條トス

第八條ヲ第七條トシ同條第二項中「日本硫安株式會社」ヲ「日本肥料株式會社」ニ改ム

第九條乃至第三十七條ヲ削ル

第三十八條ヲ第八條トシ同條中「第八條」ヲ「前條」ニ改ム

第三十九條ヲ削ル

第四十條ヲ第九條トシ同條中「本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ」ヲ「前條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキ」ニ改ム

第四十一條ヲ第十條トシ同條中「本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ適用スベキ罰則」ヲ「第八條ノ罰則」ニ改ム

第四十二條乃至第四十四條ヲ削ル

第五十五條 前條ノ規定施行前硫酸アンモニア増産及配給統制法ノ罰則ヲ適用スベキ行爲アリタルトキハ同條ノ規定施行後ト雖モ仍其ノ罰則ヲ適用ス

(二) 日本肥料株式會社法ノ一部施行期日ノ件

(昭和十五年五月十八日 勅令第三百三十四號)

日本肥料株式會社法ハ第五十三條乃至第五十五條ノ規定ヲ除クノ外昭和十五年五月二十日ヨリ之ヲ施行ス

(三) 日本肥料株式會社法ノ一部施行期日ノ件

(昭和十五年七月十八日 勅令第四百七十七號)

日本肥料株式會社法第五十三條乃至第五十五條ノ規定ハ昭和十五年七月二十二日ヨリ之ヲ施行ス

(四) 日本肥料株式會社法施行令

(昭和十五年五月十八日 勅令第三百三十五號)

第一條 日本肥料株式會社法第三條第二項ノ規定ニ依リ日本肥料株式會社ノ株主ト爲ルコトヲ得ル法人ハ帝國法人ニシテ業務ヲ執行スル役員ノ半數以上ガ帝國臣民タルモノ竝ニ外國法人ニシテ業務ヲ執行スル役員ノ半數以上、資本ノ半額以上及議決權ノ過半數ガ帝國臣民又ハ帝國法人ニ屬スルモノトス

第二條 日本肥料株式會社ノ利益ノ配當ハ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ六ヲ超ユルコトヲ得ズ

第三條 日本硫酸株式會社及臨時肥料配給統制法第一條第一項ノ規定ニ依リ過燐酸石灰ノ配給統制上必要ナル事業ヲ行フベキコトヲ命ゼラルタル株式會社(燐酸肥料配給株式會社) 日本肥料株式會社法第三十八條第一項ノ決議ヲ爲シ之ニ付農林大臣ノ認可アリタルトキハ二週間以内ニ決議ノ日ニ於ケル財産目錄及貸借對照表ヲ作成シ農林大臣ノ承認ヲ受クベシ

第四條 日本肥料株式會社ノ設立委員ハ日本硫酸株式會社及燐酸肥料配給株式會社ノ株式ニ對シテハ之ト額面及拂込金額ヲ同ジクスル日本肥料株式會社ノ株式ヲ引當ツベシ

第五條 日本肥料株式會社法第四十條ノ定款ニハ商法ニ規定スル事項ノ外左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一 前條ノ規定ニ依リ日本硫安株式會社及磷酸肥料配給株式會社ノ株式ニ引當ツベキ株式ノ數及拂込金額

二 日本硫安株式會社及磷酸肥料配給株式會社ノ日本肥料株式會社法第三十八條第一項ノ決議ノ日ニ於ケル財産ノ概況

第六條 日本肥料株式會社法第四十五條ノ創立總會ニ關シ商法第一百八十條第二項第三項及第二百二十四條第三項ノ規定ヲ適用スルニ付テハ第四條ノ規定ニ依リ日本肥料株式會社ノ株式ノ引當ヲ受ケタル日本硫安株式會社及磷酸肥料配給株式會社ノ株主ハ之ヲ株式引受人ト看做ス

第七條 日本肥料株式會社ノ設立登記ヲ爲シタルトキハ登記官吏ハ職權ヲ以テ日本硫安株式會社及磷酸肥料配給株式會社ノ登記用紙ニ其ノ事由ヲ記載シテ之ヲ閉鎖スベシ

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ登記官吏ハ日本硫安株式會社及磷酸肥料配給株式會社ノ支店ノ所在地ノ登記所ニ其ノ旨ノ通知ヲ爲スベシ

第一項ノ規定ハ前項ノ通知アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第八條 日本硫安株式會社及磷酸肥料配給株式會社ノ最終ノ營業期ニ於ケル利益ノ配當ハ之ヲ爲サズ但シ日本肥料株式會社ノ初營業年度ニ於ケル利益ノ配當ヲ爲スニ當リテハ日本硫安株式會社及磷酸肥料配給株式會社ノ株式ニ引當テタル株式ニ對シテハ日本硫安株式會社及磷酸肥料配給株式會社ノ最終ノ營業期ノ初ヨリ日本肥料株式會社ニ其ノ株式存在シタルモノト看做シテ配當スベキ金額ヲ算

定スベシ

前項ニ規定スル株式以外ノ株式ニ對スル利益ノ配當ハ會社成立ノ日以後ノ期間ニ付其ノ金額ヲ算定スベシ

第九條 商法第六十七條第八十一條及第八十五條ノ規定ハ日本肥料株式會社ノ設立ニ關シテハ之ヲ適用セズ

附 則

本令ハ昭和十五年五月二十日ヨリ之ヲ施行ス

(五) 日本肥料株式會社法施行規則

(昭和十五年五月十八日農林省令第三十號
昭和十五年八月五日農林省令第六十三號改正)

第一條 日本肥料株式會社法第九條第一項ノ肥料ハ硫酸アンモニア、石灰窒素、過磷酸石灰及カリ鹽ノ外硝酸曹達、化成肥料、トーマス燐肥及燒成カリ明礬石粉末トス

第二條 日本肥料株式會社法第二十三條ノ認可申請書ニハ肥料ノ種類別ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シ當該營業年度開始ノ一月前迄ニ之ヲ農林大臣ニ提出スベシ但シ第一回ノ事業計畫ニ付テハ日本肥料株式會社成立ノ日ヨリ一月内ニ之ヲ提出スベシ

一 事業計畫ノ概要

- 二 買入先別買入豫定數量（月別ニ記載スベシ）
 - 三 肥料ノ製造ヲ爲ス場合ニ於テハ月別製造豫定數量
 - 四 仕出地別輸入及移入豫定數量（月別ニ記載スベシ）
 - 五 配給先別、配給區域別及月別配給豫定數量
 - 六 仕向地別輸出及移出豫定數量（月別ニ記載スベシ）
- 前項ノ認可申請書ニハ需給推算其ノ他事業計畫設定ニ關スル基礎資料及説明書ヲ添附スベシ
- 第三條 日本肥料株式會社重要肥料業統制法ニ依リ肥料製造業組合ノ決定實施スル價格ニ依リ肥料製造業組合ノ組合員ヨリ其ノ製造ニ係ル日本肥料株式會社法第九條ノ肥料ノ買入ヲ爲ス場合ニ於テハ日本肥料株式會社法第二十四條ノ認可ヲ受クルコトヲ要セズ
- 第四條 日本肥料株式會社ハ其ノ事業執行ニ關スル業務規程ヲ定メ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ
- 左ニ掲グル事項ハ業務規程ニ之ヲ定ムベシ
- 一 買入方法ニ關スル事項
 - 二 販賣方法ニ關スル事項
 - 三 受渡ニ關スル事項
 - 四 代金決済ニ關スル事項

- 五 取引ノ違約ニ關スル事項
- 第五條 日本肥料株式會社ハ毎月十日迄ニ其ノ前月ニ於ケル業務ノ狀況ヲ農林大臣ニ報告スベシ
- 日本肥料株式會社ハ每事業年度ニ於ケル業務ノ狀況ヲ其ノ營業年度經過後遲滞ナク農林大臣ニ報告スベシ
- 第六條 日本肥料株式會社ハ定時總會ノ會日ヨリ二週間前ニ商法第二百八十一條ニ掲グル書類及株主名簿ヲ農林大臣ニ提出スベシ
- 第七條 日本肥料株式會社ハ株主總會終結後遲滞ナク其ノ議事録ノ謄本ヲ農林大臣ニ提出スベシ
- 第八條 日本肥料株式會社ハ日本肥料株式會社法第九條ノ肥料ノ價格ノ調整ヲ圖ル爲必要ナル金額ヲ加算シテ同條ノ販賣價格ヲ定ムルコトヲ得
- 日本肥料株式會社前項ノ規定ニ依リ定メタル販賣價格ヲ以テ日本肥料株式會社法第九條ノ肥料ヲ販賣シタルトキハ其ノ代金中前項ノ規定ニ依ル加算金額ヲ價格平衡資金ニ積立ツベシ
- 前項ノ規定ニ依リ價格平衡資金ニ積立ツベキ金額ハ之ヲ損金ニ計算スベシ
- 價格平衡資金ノ計算ハ特ニ設ケタル帳簿ニ記載スベシ
- 第九條 日本肥料株式會社ハ日本肥料株式會社法第九條ノ肥料ノ價格ノ低減ヲ圖ル爲必要アルトキハ價格平衡資金ヲ處分スルコトヲ得
- 日本肥料株式會社解散シタルトキハ農業ノ改良發達ヲ圖ル目的ノ爲ニ價格平衡資金ヲ處分スベシ

第十條 日本肥料株式會社ハ價格平衡資金ノ設定及處分ニ付農林大臣ノ認可ヲ受クベシ
前項ノ認可ノ申請書ニハ設定シ又ハ處分スベキ金額及之ヲ必要トスル事由ヲ記載スベシ

第十一條 日本肥料株式會社ノ價格平衡資金ノ管理ハ左ノ方法ニ依ルベシ

一 郵便貯金法ニ依ル貯金又ハ有價證券ノ保有

二 農林大臣ノ承認ヲ經タル銀行ヘノ預金

第十二條 日本肥料株式會社ハ營業年度ニ從ヒ六月毎ニ遲滞ナク前條ノ規定ニ依ル管理ノ手續ヲ爲シ

管理ノ事實ヲ證明スルニ足ルベキ書面ヲ添ヘ其ノ旨農林大臣ニ届出ヅベシ

第十三條 日本肥料株式會社法第三十條第一項ノ規定ニ依リ日本肥料株式會社ニ賣渡スベキ肥料ハ左

ニ掲グルモノトス

一 硫酸アンモニア

二 石灰窒素

三 過磷酸石灰

四 カリ鹽

五 硝酸曹達

六 化成肥料

七 トーマス燐肥

八 燒成カリ明礬石粉末

第十四條 日本肥料株式會社成立シタルトキハ硫酸アンモニア、石灰窒素、過磷酸石灰、化成肥料、
トーマス燐肥及燒成カリ明礬石粉末ノ製造業者及其ノ輸入又ハ移入ヲ爲ス者ハ其ノ製造又ハ輸入若
ハ移入ニ係ル硫酸アンモニア、石灰窒素、過磷酸石灰、化成肥料、トーマス燐肥及燒成カリ明礬石
粉末ノ全部ヲ、硝酸曹達及カリ鹽ノ輸入ヲ爲ス者ハ其ノ輸入ニ係ル硝酸曹達及カリ鹽中農林大臣ノ
定ムル數量ノモノヲ第十五條ノ規定ニ從ヒ日本肥料株式會社ニ賣渡スベシ

第十五條 前條ニ掲グル者ハ同條ノ規定ニ依リ日本肥料株式會社ニ賣渡スベキ肥料ニ付日本肥料株式
會社ヨリ價格、數量、受渡時期、受渡場所其ノ他取引上必要ナル事項ヲ指示シテ買入契約ノ申込ア
リタルトキハ遲滞ナク契約ヲ締結スルコトヲ要ス但シ農林大臣正當ノ事由アリト認メ許可シタル場
合ハ此ノ限ニ在ラズ

前條ニ掲グル者ハ前項ノ契約ニ從ヒ日本肥料株式會社ニ對シ其ノ肥料ノ引渡ヲ爲スコトヲ要ス

第十六條 第十四條ニ掲グル肥料製造業者ハ毎年六月三十日迄ニ其ノ年ノ八月ヨリ翌年七月迄ノ月別
製造豫定數量ヲ農林大臣及日本肥料株式會社ニ報告スベシ

附 則

本令ハ昭和十五年五月二十日ヨリ之ヲ施行ス
日本硫酸株式會社及臨時肥料配給統制法第一條第一項ノ規定ニ依リ過磷酸石灰ノ配給統制上必要ナル

事業ヲ行フベキコトヲ命ゼラレタル株式會社（磷酸肥料配給株式會社）ハ日本肥料株式會社法第三十八條第一項ノ株主總會ノ決議ヲ爲ス場合ニ於テハ日本硫酸株式會社ニ在リテハ同法ノ規定ニ基キ磷酸肥料配給株式會社ト共ニ日本肥料株式會社ト爲ルベキ旨ヲ、磷酸肥料配給株式會社ニ在リテハ同法ノ規定ニ基キ日本硫酸株式會社ト共ニ日本肥料株式會社ト爲ルベキ旨ヲ議決スルコトヲ要ス前項ノ議決ハ日本肥料株式會社法第三十八條第一項ノ規定施行後三月以内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

（附）

○日本肥料株式會社定款

第一章 總 則

第一條 本會社ハ日本肥料株式會社法ニ依リ設立シ日本肥料株式會社ト稱ス

第二條 本會社ハ肥料ノ需給ノ圓滑及價格ノ公正ヲ圖ル爲必要ナル事業ヲ營ムヲ以テ目的トス

第三條 本會社ノ資本ハ五千萬圓トス但シ政府ノ認可ヲ受ケ之ヲ増加スルコトヲ得

本會社ノ資本ノ内二千五百萬圓ハ政府之ヲ出資スルモノトス

第四條 本會社ハ本店ヲ東京市ニ、支店ヲ大阪市ニ置ク

本會社ハ政府ノ認可ヲ受ケ必要ノ地ニ出張所ヲ設クルコトヲ得

第五條 本會社ノ公告ハ官報及本店所在地ニ於テ所轄裁判所ガ商業登記事項ヲ公告スル新聞紙ヲ以テ之ヲ爲ス

第二章 株 式

第六條 本會社ノ株式ハ百萬株トシ一株ノ金額ヲ五十圓トス

第七條 本會社ノ株式ハ記名式トシ政府、公共團體、帝國臣民又ハ帝國法人ニシテ社員、株主若ハ業務ヲ執行スル役員ノ半數以上又ハ資本ノ半額以上若ハ議決權ノ過半數ガ外國人又ハ外國法人ニ屬セザルモノニ限り之ヲ所有スルコトヲ得

帝國法人ニシテ業務ヲ執行スル役員ノ半數以上ガ帝國臣民タルモノ竝ニ外國法人ニシテ業務ヲ執行スル役員ノ半數以上、資本ノ半額以上及議決權ノ過半數ガ帝國臣民又ハ帝國法人ニ屬スルモノハ特ニ政府ノ許可ヲ受ケタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ本會社ノ株主ト爲ルコトヲ得

第八條 本會社ノ株主ニシテ前條ノ資格ヲ喪失シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ本會社ニ通知シ且其ノ資格喪失ノ日ヨリ二月以内ニ其ノ株式ヲ他ニ讓渡スコトヲ要ス

株主前項ノ規定ニ違反シテ其ノ株式ヲ讓渡サザルトキハ本會社ハ二週間ヲ下ラザル一定ノ期間内ニ其ノ株式ヲ讓渡スベキ旨及讓渡サザルトキハ其ノ株券ヲ本會社ニ提出スベキ旨ノ催告ヲ爲スモノトス

前項ノ規定ニ依リ株券ノ提出アリタルトキハ本會社ハ其ノ株式ヲ賣却ス

株主第二項ノ期間内ニ其ノ株式ヲ讓渡サズ又ハ株券ヲ提出セザルトキハ本會社ハ其ノ株券ノ無效ヲ公告シ且株主名簿ニ記載セラレタル質權者ニ之ヲ通知シタル上新株券ヲ發行シ之ニ依リテ其ノ株式ヲ賣却ス

前四項ノ規定ニ依ル株式ノ讓渡ニ關スル株券ノ名義書換ハ第十八條ノ名義書換停止期間中ト雖モ之ヲ爲スコトヲ得

第三項又ハ第四項ノ規定ニ依ル株式ノ賣得金ハ遲滞ナク之ヲ從前ノ株主ニ交付ス但シ賣却及公告ニ要シタル費用ハ之ヲ控除ス

第九條 本會社ノ株券ハ一株券、十株券、五十株券、百株券、千株券及一萬株券ノ六種トス

第十條 第一回ノ株金拂込ハ一株ニ付十二圓五十錢トス

第二回以後ノ株金拂込ハ事業ノ必要ニ應ジ理事長其ノ金額及期日ヲ定メ少クトモ三十日前ニ各株主ニ之ガ通知ヲ發スルモノトス

政府所有ノ株式ノ株金拂込ハ其ノ他ノ株式ノ株金拂込ト之ヲ異ニスルコトヲ得

第十一條 株主株金拂込期日ニ株金ノ拂込ヲ爲サザルトキハ其ノ拂込ムベキ金額ニ對シ拂込期日ノ翌日ヨリ拂込ノ當日迄百圓ニ付一日二錢ノ割合ヲ以テ違約金ヲ支拂フモノトス

第十二條 株主又ハ其ノ法定代理人ハ株式取得ノ時、質權者又ハ其ノ法定代理人ハ質權登錄ノ時其ノ氏名、住所及印鑑ヲ本會社ニ届出ツベシ其ノ變更アリタルトキ亦同ジ

株主、株主名簿ニ記載セラレタル質權者又ハ其ノ法定代理人ニシテ帝國內ニ住所又ハ居所ヲ有セザルモノハ帝國內ニ假住所ヲ設ケ又ハ帝國內ニ住所若ハ居所ヲ有スル代理人ヲ定メ本會社ニ届出ツベシ其ノ變更アリタルトキ亦同ジ

第一項ノ規定ハ前項ノ代理人ニ之ヲ準用ス

第十三條 會社其ノ他公私ノ法人ハ株式取得ノ時又ハ質權登錄ノ時代表者ヲ定メ其ノ氏名及印鑑ヲ本會社ニ届出ツベシ其ノ變更アリタルトキ亦同ジ

第十四條 株式ノ讓渡ニ因リ株券ノ名義書換ヲ爲サントスルトキハ本會社所定ノ書式ニ依リ當事者雙方ノ記名捺印セル名義書換請求書ヲ作成シ株券及本會社ニ於テ必要ト認ムル證據書類ヲ添ヘ之ヲ本會社ニ提出スベシ但シ株券ノ裏書ニ依ル株式ノ讓渡ノ場合ニ在リテハ名義書換請求書ハ取得者ノミノ記名捺印ヲ以テ足ルモノトス

相續其ノ他ノ事由ニ因リ株券ノ名義書換ヲ爲サントスルトキハ前項ニ準ジテ本會社ニ其ノ請求ヲ爲スベシ

第十五條 株券ノ種類ヲ變更セントスルトキハ株券引換請求書ニ株券ヲ添ヘ之ヲ本會社ニ提出スベシ株券ヲ喪失シタル爲新株券ノ交付ヲ受ケントスルトキハ本會社所定ノ書式ニ依リ作成シタル新株券交付請求書ニ除權判決ノ正本又ハ謄本ヲ添ヘ之ヲ本會社ニ提出スベシ

株券ヲ汚損又ハ毀損シタル爲新株券ノ交付ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由ヲ詳記シタル新株券交付

請求書ニ株券ヲ添へ之ヲ本會社ニ提出スベシ

第十六條 質權ノ登録又ハ其ノ抹消ヲ爲サントスルトキハ本會社所定ノ書式ニ依リ當事者雙方ノ記名捺印セル質權登録請求書又ハ質權登録抹消請求書ヲ作成シ株券及本會社ニ於テ必要ト認ムル證據書類ヲ添へ之ヲ本會社ニ提出スベシ但シ相續其ノ他之ニ準ズベキ事由ニ因ル質權ノ登録ノ場合ニ在リテハ質權登録請求書ハ取得者ノミノ記名捺印ヲ以テ足ルモノトス

第十七條 株券ノ名義書換又ハ質權ノ登録若ハ其ノ抹消ノ手数料ハ株券一通ニ付十錢トシ株券ノ引換其ノ他新株券ノ交付ノ手数料ハ新株券一通ニ付五十錢トス

第十八條 本會社ハ九月一日ヨリ定時株主總會終結ノ日迄株式ノ讓渡ニ因ル株券ノ名義書換並ニ質權ノ登録及其ノ抹消ヲ停止ス

前項ノ外特ニ必要アルトキハ豫メ公告ノ上株式ノ讓渡ニ因ル株券ノ名義書換並ニ質權ノ登録及其ノ抹消ヲ停止スルコトアルベシ

第三章 株主總會

第十九條 本會社ノ定時株主總會ハ毎年九月ニ、臨時株主總會ハ必要アル毎ニ理事長之ヲ招集ス總會ノ日時、場所及會議ノ目的タル事項ハ理事長之ヲ定ム

第二十條 總會ノ議長ハ理事長之ニ當ル理事長事故アルトキハ副理事長之ニ當リ副理事長共ニ事故アルトキハ業務ヲ分掌スル理事中ノ一人之ニ當ル

第二十一條 總會ノ議長ハ株主トシテ其ノ議決權ヲ行使スルコトヲ妨ゲズ

第二十二條 株主ハ本會社ノ他ノ株主ニ委任シテ其ノ議決權ヲ行使スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ本會社ニ委任狀ヲ差出スベシ

第二十三條 總會ノ決議ハ出席シタル株主ノ議決權ノ過半数ヲ以テ之ヲ爲ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第二十四條 定款ノ變更、利益金ノ處分、合併及解散ノ決議ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼザルモノトス

第二十五條 總會ノ議事ノ經過ノ要領及其ノ結果ハ議事録ニ記載シ議長並ニ出席シタル理事長、副理事長、理事及監事之ニ記名捺印スベシ

第四章 役員

第二十六條 本會社ニ理事長副理事長各一人、理事五人以上及監事三人以上ヲ置ク理事長必要アリト認ムルトキハ理事中ヨリ専務理事二人以内ヲ選任スルコトヲ得

第二十七條 理事長ハ本會社ヲ代表シ其ノ業務ヲ總理ス

副理事長ハ理事長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ理事長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

副理事長及理事ハ理事長ヲ輔佐シ理事長ノ定ムル所ニ依リ本會社ノ業務ヲ分掌シ又ハ之ニ參與ス

監事ハ本會社ノ業務ヲ監査ス

第二十八條 理事長及副理事長ハ政府之ヲ命ジ其ノ任期ヲ五年トス

理事ハ株主總會ニ於テ選舉シタル候補者中ヨリ政府之ヲ命ジ其ノ任期ヲ四年トス

監事ハ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ其ノ任期ヲ三年トス

第二十九條 理事中缺員ヲ生ジ補缺ノ必要アルトキハ株主總會ニ於テ候補者ヲ選舉ス

監事中缺員ヲ生ジ補缺ノ必要アルトキハ株主總會ニ於テ其ノ後任者ヲ選任ス

補缺ニ因リ就任シタル理事又ハ監事ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第三十條 理事長、副理事長及業務ヲ分掌スル理事ハ他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ得ズ但シ政府ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第五章 業 務

第三十一條 本會社ハ左ノ業務ヲ營ムモノトス

- 一 肥料ノ買入及販賣
 - 二 肥料ノ輸出、輸入、移出及移入
 - 三 肥料ノ製造、肥料製造事業ニ對スル投資其ノ他肥料ノ供給確保上必要ナル事業
 - 四 其ノ他肥料ノ需給ノ圓滑及價格ノ公正ヲ圖ル爲必要ナル事業
- 前項ノ肥料ハ硫酸アンモニア、石灰窒素、過磷酸石灰、カリ塩及日本肥料株式會社法施行規則ノ定ムル其ノ他ノ肥料トス

第一項第三號又ハ第四號ニ掲グル事業ヲ營マントスルトキハ政府ノ認可ヲ受クルモノトス

第三十二條 本會社ハ前條ノ肥料以外ノ肥料ノ配給統制事業ヲ行フ株式會社ニ對シ政府ノ認可ヲ受ケ投資スルコトヲ得

第三十三條 日本肥料株式會社法第十一條ノ規定ニ依ル政府ノ命令アリタルトキハ本會社ハ肥料ノ製造業者ト協議ノ上其ノ製造工場ノ經營ノ管理ヲ爲スモノトス

第六章 價格平衡資金

第三十四條 本會社ハ肥料ノ價格ノ調整ヲ圖ル爲必要ナル金額ヲ加算シテ肥料ノ販賣價格ヲ定ムルコトヲ得

本會社前項ノ規定ニ依リ定メタル販賣價格ヲ以テ肥料ヲ販賣シタルトキハ其ノ代金中前項ノ規定ニ依ル加算金額ヲ價格平衡資金ニ積立ツルモノトス

第三十五條 本會社ハ肥料ノ價格ノ低減ヲ圖ル爲必要アルトキハ價格平衡資金ヲ處分スルコトヲ得

本會社解散シタルトキハ農業ノ改良發達ヲ圖ル目的ノ爲ニ價格平衡資金ヲ處分スルモノトス

第七章 肥料債券及借入金

第三十七條 本會社ハ拂込ミタル株金額ノ五倍ヲ限リ肥料債券ヲ發行スルコトヲ得

舊肥料債券償還ノ爲ニスル肥料債券ノ發行ニ付テハ其ノ舊肥料債券ノ額ハ前項ノ肥料債券ノ額ニ之

ヲ算入セズ此ノ場合ニ於テハ拂込ノ期日ヨリ六月以内ニ舊肥料債券ヲ償還スルモノトス

肥料債券ヲ發行スル場合ニ於テハ商法第三百四十三條ニ定ムル決議ニ依ルコトヲ要セザルモノトス

第三十八條 肥料債券ヲ發行セントスル場合ニ於テハ政府ノ認可ヲ受クルモノトス

肥料債券ノ元本ノ償還及利息ノ支拂ニ付テハ政府ノ保證ヲ受クルコトアルモノトス

第三十九條 肥料債券ハ無記名式トス但シ應募者又ハ所有者ノ請求ニ因リ記名式ト爲スコトヲ得

第四十條 肥料債券ノ所有者ハ本會社ノ財産ニ付他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受クル權利

ヲ有スルモノトス

第四十一條 記名肥料債券ヲ喪失シタルトキハ其ノ事由ヲ詳記シタル書面ヲ作成シ本會社ニ於テ適當

ト認ムル保證人二人以上ノ連印ヲ以テ本會社ニ新債券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求アリタルトキハ本會社ハ請求者ノ費用ヲ以テ直ニ其ノ旨ヲ公告シ三十日ヲ經ルモ異議ヲ

申立ツル者ナキトキニ限り新債券ヲ交付スルモノトス

第四十二條 第十四條ノ規定ハ記名肥料債券ノ名義書換ノ場合ニ、第十五條第二項ノ規定ハ無記名肥

料債券ノ喪失ノ場合ニ、第十五條第三項ノ規定ハ肥料債券ノ汚損又ハ毀損ノ場合ニ、第十七條ノ規

定ハ肥料債券ノ名義書換及債券ノ引換其ノ他新債券ノ交付ノ手数料ニ之ヲ準用ス

第四十三條 本會社借入金ヲ爲サントスルトキハ政府ノ認可ヲ受クルモノトス

第八章 計 算

第四十四條 本會社ノ營業年度ハ八月一日ヨリ翌年七月三十一日迄トス

第四十五條 本會社ノ利益金ハ當該營業年度ノ總益金ヨリ總損金（價格平衡資金ニ積立ツベキ金額ヲ

含ム）ヲ控除シタル殘額トス

第四十六條 本會社ノ利益金ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ處分スルモノトス

一 法定準備金 利益金額ノ百分ノ八以上

二 任意積立金

三 役員賞與金

四 株主配當金

五 後期繰越金

第四十七條 本會社ハ每營業年度ニ於ケル配當シ得ベキ利益金額ガ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂

込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ四ノ割合ニ達スル迄政府ノ所有スル株式ニ對シ利益ノ配當ヲ爲スコ

トヲ要セザルモノトス

本會社ノ每營業年度ニ於ケル配當シ得ベキ利益金額ガ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株

金額ニ對シ年百分ノ四ノ割合ヲ超過スル場合ニ於テ政府以外ノ者ノ所有スル株式ニ對シ年百分ノ四

ノ割合ヲ超エ利益配當ヲ爲サントスルトキハ其ノ超過スル利益金額ハ利益配當ガ總株式ニ付拂込ミ

タル株金額ニ對シ均一ノ割合ニ達スル迄政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額及政府ノ

所有スル株式ノ拂込ミタル株金額ニ對シ一ト三トノ割合ヲ以テ之ヲ配當スルモノトス
 第四十八條 株主配當金ハ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ六ノ割合ヲ超ユルコトヲ得ザルモノトス
 第四十九條 株主配當金ハ九月一日現在ノ株主名簿ニ記載セラレタル株主又ハ質權者ニ之ヲ支拂フモノトス

配當金ノ支拂ノ期日及場所ハ理事長之ヲ定メ前項ノ株主又ハ質權者ニ通知スルモノトス
 第五十條 株主配當金ハ其ノ支拂開始ノ日ヨリ起算シ五年以内ニ支拂ノ請求ナキトキハ之ヲ本會社ノ所得トス

附 則

第五十一條 本會社ノ負擔ニ歸スベキ設立費用ハ五萬圓ヲ限度トス
 前項ノ金額中政府ノ立替ニ係ルモノハ之ヲ政府ニ返納スルモノトス
 第五十二條 日本硫酸株式會社ノ株式ニ引當ツベキ株式ノ數及拂込金額ハ十二圓五十錢拂込ノ株式二十萬株トシ磷酸肥料配給株式會社ノ株式ニ引當ツベキ株式ノ數及拂込金額ハ二十五圓拂込ノ株式六萬株トス

第五十三條 磷酸肥料配給株式會社ノ株式ニ引當テラレタル株式ノ株金拂込ハ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込金額ガ其ノ拂込金額ト同額ニ達スル迄之ヲ爲サザルモノトス
 第五十四條 昭和十五年五月三十一日ニ於ケル日本硫酸株式會社及磷酸肥料配給株式會社ノ財産ノ概

況ハ左ノ如シ

一 日本硫酸株式會社

資 産 ノ 部		負 債 ノ 部	
未拂込資本金	七、五〇〇、〇〇〇 ^圓	資 本 金	一〇、〇〇〇、〇〇〇 ^圓
什 器	六〇、二〇六・五五	借 入 金	七五〇、〇〇〇・〇〇
商 品	三、六六四、二二八・六二	買 掛 金	四、七二五、八六三・二七
賣 掛 金	三、四四二、一〇七・八五	未 拂 金	九三二、五五五・五一
未 收 入 金	二、〇一三、〇一五・六八	假 受 金	五三二、一〇〇・〇七
假 拂 金	一二二、二八三・〇〇	配給特別勘定	二三八、九四一・四九
銀行預金	九六二、九四三・二七	法定準備金	四〇、〇〇〇・〇〇
現 金	六、五五五・六〇	別途積立金	五〇、〇〇〇・〇〇
		従業員退職手當積立金	三〇、〇〇〇・〇〇
		前期繰越金	三四、六六七・二三
		利 益 金	四三七、二一三・〇〇
合 計	一七、七七一、三四〇・五七	合 計	一七、七七一、三四〇・五七

二 磷酸肥料配給株式會社

資産ノ部		負債ノ部	
未拂込資本金	一、五〇〇、〇〇〇・〇〇	資本金	三、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
什器	六七、六六九・二四	借入金	三、六〇〇、〇〇〇・〇〇
商 品	二、三九六、八六六・四五	買掛金	九、二三三、一七六・二五
賣掛金	九、三八一、五九九・三七	支拂手形	三〇、八一八・五〇
受取手形	四二五、〇三〇・四九	未拂金	五五三、三一九・九一
未収入金	二、四七四、七九八・九一	假受金	四一、六一五・五七
假拂金	二二、七六五・七一	カリ塩平衡資金	五九五、〇七五・九七
銀行預金	一、三六二、三一・四三	法定準備金	七、〇〇〇・〇〇
現 金	一、四〇六・三八	別途積立金	五、〇〇〇・〇〇
		従業員退職手當積立金	六、七六一・〇〇
		前期繰越金	二、〇一一・二〇
		利益金	五五七、六六九・五八
合 計	一七、六三二、四四七・九八	合 計	一七、六三二、四四七・九八

第六 硫酸アンモニア配給豫備貯藏規則

(昭和十二年八月二十七日 農林省令第三十七號)

第一條 農林大臣ハ硫酸アンモニアノ配給ノ不圓滑及異常ナル價格ノ昂騰ヲ防止スル爲本則ニ依リ營利ヲ目的トセザル肥料取扱團體ガ農林大臣ノ承認ヲ受ケ硫酸アンモニア配給豫備貯藏施設ヲ爲ス場合ニ於テ之ニ對シ助成金及補給金ヲ交付ス

第二條 助成金ハ前條ノ承認ヲ受ケ硫酸アンモニア配給豫備貯藏施設ヲ爲ス者(以下硫酸アンモニア貯藏施設者ト稱ス)ノ左ニ掲グル事項ニ付毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ之ヲ交付ス

- 一 貯藏ノ爲ニスル硫酸アンモニア及其ノ包装材料ノ購入資金ノ利子
- 二 貯藏硫酸アンモニア及其ノ包装材料ノ保管
- 三 硫酸アンモニア配給豫備貯藏施設ニ關スル事業取扱ニ要スル費用

第三條 硫酸アンモニア貯藏施設者助成金ノ交付ヲ受ケントスルトキハ申請書ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シ二月末日迄ニ之ヲ農林大臣ニ提出スベシ

- 一 交付ヲ受ケントスル助成金ノ額及其ノ明細
- 二 事業計畫

農林大臣ハ申請書ノ外必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第四條 助成金交付ノ許可ヲ受ケタル者申請書ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキ

ハ農林大臣ノ承認ヲ受クベシ

第五條 農林大臣ハ助成金ノ分割交付ヲ爲スコトヲ得

第六條 助成金交付ノ許可ヲ受ケタル者助成金ノ交付ヲ請求セントスルトキハ請求書ニ精算書ヲ添附シ之ヲ農林大臣ニ提出スベシ

第七條 助成金交付ノ許可又ハ助成金ノ交付ヲ受ケタル者其ノ貯藏ノ爲ニスル硫酸アンモニアノ買入又ハ貯藏硫酸アンモニアノ處分ヲ爲サントスルトキハ農林大臣ノ承認ヲ受クベシ

前項ノ規定ニ依ル承認申請書ニハ買入又ハ處分ノ時期、價格、數量、銘柄其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル書類ヲ添附スベシ

第八條 農林大臣必要アリト認ムルトキハ助成金交付ノ許可又ハ助成金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シ時期、價格、數量、銘柄其ノ他必要ト認ムル事項ヲ指定シ其ノ貯藏ノ爲ニスル硫酸アンモニアノ買入又ハ貯藏硫酸アンモニアノ處分ヲ命ズルコトヲ得

第九條 硫酸アンモニア貯藏施設者前二條ノ規定ニ依リ貯藏硫酸アンモニアノ處分ヲ爲シ損失アリタル場合ニ於テハ農林大臣ハ別ニ定ムル所ニ依リ其ノ損失金額ノ半額ヲ補給ス但シ減貫ニ因ル損失ニ付テハ補給金額ハ其ノ全額トス

第十條 硫酸アンモニア貯藏施設者第七條及第八條ノ規定ニ依リ貯藏硫酸アンモニアノ處分ヲ爲シ値上リニ因ル利益アリタル場合ニ於テハ先ヅ之ヲ既ニ生ジタル損失ニシテ前條ノ規定ニ依リ補給ヲ受

ケザル額ノ補填ニ充ツベシ

前項ノ場合ニ於テ補填スベキ損失ナキトキ又ハ損失ノ補填ニ充テ尙剩餘アルトキハ利益金ハ將來貯藏硫酸アンモニアノ處分ニ因リ生ズルコトアルベキ損失ニシテ前條ノ規定ニ依リ補給ヲ受ケザル額ノ補填ニ充ツル爲之ヲ積立ツルコトヲ要ス

前二項ノ規定ニ依ル利益金ノ處分ニ付テハ農林大臣ノ承認ヲ受クベシ前項ノ規定ニ依リ積立テタル金額ヲ前條ノ規定ニ依リ補給ヲ受ケザル額ノ補填ニ充テントスル場合亦同ジ

第十一條 農林大臣必要アリト認ムルトキハ助成金交付ノ許可又ハ助成金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シ何時ニテモ其ノ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ書類帳簿又ハ事業施行ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第十二條 助成金交付ノ許可又ハ助成金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ助成金又ハ補給金ノ全部又ハ一部ノ交付ヲ爲サズ又ハ其ノ返還ヲ命ズルコトアルベシ

- 一 本則又ハ之ニ基ク處分ニ違反シタルトキ
- 二 助成金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三條中二月末日迄トアルハ昭和十二年度ニ限り九月末日迄トス
 本令廢止ノ際第十條ノ規定ニ依リ積立テタル金額存スルトキハ農林大臣ハ硫酸アンモニア貯藏施設者ニ對シ之ヲ第九條ノ規定ニ依リ補給ヲ受ケタル金額ノ償還ニ充テシメ尙殘餘アルトキハ其ノ處分ニ付必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第七、硫酸アンモニア等生産統制規則

(昭和十五年三月十三日
農林省令第十四號)

第一條 硫酸アンモニア、石灰窒素又ハ過磷酸石灰ノ製造業者ハ農林大臣ノ定ムル數量ノ硫酸アンモニア、石灰窒素又ハ過磷酸石灰ノ製造ヲ爲スベシ

第二條 硫酸アンモニア製造業者ハ毎月十日迄ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル報告書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

- 一 前月中ニ於ケル硫酸アンモニア製造數量、アンモニア製造數量及硫酸アンモニア製造ノ爲使用シタルアンモニアノ數量
- 二 前月末日ニ於ケル硫酸アンモニアノ在庫數量及硫酸アンモニア製造用アンモニアノ在庫數量
- 三 翌月ヨリ三月間ノ月別硫酸アンモニア製造見込數量

第三條 石灰窒素製造業者ハ毎月十日迄ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル報告書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

- 一 前月中ニ於ケル石灰窒素製造數量、カーバイド製造數量及石灰窒素製造ノ爲使用シタルカーバイドノ數量
- 二 前月末日ニ於ケル石灰窒素ノ在庫數量及石灰窒素製造用カーバイドノ在庫數量
- 三 翌月ヨリ三月間ノ月別石灰窒素製造見込數量

第四條 過磷酸石灰製造業者ハ毎月十日迄ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル報告書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

- 一 前月中ニ於ケル過磷酸石灰製造數量及過磷酸石灰製造ノ爲使用シタル燐鑽石ノ數量
- 二 前月末日ニ於ケル過磷酸石灰ノ在庫數量及過磷酸石灰製造用燐鑽石ノ在庫數量
- 三 翌月ヨリ三月間ノ月別過磷酸石灰製造見込數量

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第八、肥料配給統制ノ助成及委託事業

(一)

肥料配給統制助成規則

(昭和十五年六月八日
農林省令第四十二號)

- 第一條 農林大臣ハ肥料ノ配給統制ヲ圖ル爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ助成金ヲ交付ス
- 第二條 助成金ハ道府縣、道府縣ヲ區域トスル購買組合聯合會(以下道府縣購買組合聯合會ト稱ス)、産業組合、市農會、町村農會其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル團體ノ左ニ掲グル費用ニ對シ之ヲ交付ス但シ其ノ費用ニ對シ國庫ヨリ獎勵金、補助金又ハ之ニ準ズルモノノ交付ヲ受クル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
 - 一 道府縣ニ於テ肥料配給統制ノ事務ニ従事スル專任職員ノ設置ニ要スル費用及事務費並ニ肥料配給統制ノ事務ニ従事スル兼任職員ノ旅費
 - 二 道府縣購買組合聯合會ノ職員ニシテ專ラ肥料配給統制ノ業務ヲ擔當スルモノノ設置ニ要スル費用
 - 三 産業組合、市農會、町村農會其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル團體ノ肥料配合ニ必要ナル器具機械ノ設置ニ要スル費用

第三條 助成金ノ額ハ前條第一號ノ費用ニ對スルモノニ在リテハ其ノ費用ノ三分ノ二以内、同條第二號及第三號ノ費用ニ對スルモノニ在リテハ其ノ費用ノ二分ノ一以内トス

農林大臣特ニ必要アリト認ムルトキハ前條第一號ノ費用ニ限り前項ノ制限ニ拘ラズ助成金ヲ交付スルコトアルベシ

前條第三號ノ費用ニ對スル助成金ノ額ハ一箇所分千圓ヲ超エザルモノトス

第四條 助成金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シ毎年二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

- 一 事業計畫書
- 二 收支豫算書

第二條第三號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ前項ノ書類ノ外設備ノ要領書ヲ添付スベシ

前二項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第五條 助成金交付ノ指令ヲ受ケタル者前條第一項各號又ハ同條第二項ノ書類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ承認ヲ受クベシ

第六條 第二條第二號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケタル者ハ費用ノ精算書ヲ翌年度四月三十日迄ニ農林大臣ニ提出スベシ

第七條 第二條第三號ノ費用ニ對スル助成金交付ノ指令ヲ受ケタル者助成金ノ交付ヲ請求セントスルトキハ設備ノ設置完成後費用ノ精算書ヲ添附シ請求書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

第八條 第二條第三號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケタル者ハ第四條第一項第一號ノ事業計畫書ニ記載シタル目的及用途ニ從ヒ設備ヲ使用スルコトヲ要ス

特別ノ事由ニ因リ前項ノ目的又ハ用途ヲ變更セントスルトキハ農林大臣ノ承認ヲ受クベシ設備ニ重大ナル變更ヲ加ヘ又ハ設備ヲ廢棄シ若ハ讓渡セントスルトキ亦同ジ

第九條 第二條第三號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケタル者ハ設備滅失シ又ハ使用スルコト能ハザルニ至リタルトキハ遲滞ナク其ノ旨農林大臣ニ届出ヅベシ

第十條 助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣購買組合聯合會ハ毎月ノ肥料配給ニ關スル事業ノ狀況ヲ翌月十五日迄ニ農林大臣ニ報告スベシ

第十一條 助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣竝ニ産業組合及購買組合聯合會以外ノ團體ハ事業成績書及收支決算書ヲ翌年度六月三十日迄ニ、産業組合及購買組合聯合會ハ財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分書ヲ事業年度經過後遲滞ナク農林大臣ニ提出スベシ

第十二條 農林大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ助成金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シ何時ニテモ其ノ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ書類、帳簿又ハ事業施行若ハ財産ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第十三條 第二條第三號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケ設置シタル設備ノ承繼人ハ第八條、第九條、第十一條、前條及第十七條ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ助成金ノ交付ヲ受ケタル者ト看做ス

第十四條 第二條第三號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケタル者ノ第八條、第九條、第十一條及第十二條ノ規定ニ依ル義務ノ存續期間ハ助成金交付ノ日ヨリ三年間トス

第十五條 本則ニ依リ農林大臣ニ提出スベキ書類ハ地方長官ヲ經由スベシ

第十六條 助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣助成金ノ交付ヲ受ケテ支出シタル費用ヲ返納セシメタルトキハ事由ヲ具シ其ノ旨遲滞ナク農林大臣ニ報告スベシ

第十七條 助成金交付ノ指令ヲ受ケタル者又ハ助成金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ助成金交付ノ指令ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル助成金ノ全部若ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ

- 一 本則ノ規定ニ違反シタルトキ
- 二 助成金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
- 四 支出額ガ豫算額ニ比シ減少シタルトキ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四條中二月末日トアルハ昭和十五年度ニ限り六月三十日迄トス

肥料配給改善助成規則ハ之ヲ廢止ス

肥料配給改善助成規則第八條、第九條、第十一條及第十二條ノ規定ニ依ル義務ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

肥料配給改善助成規則第十三條乃至第十六條ノ規定ハ前項ノ規定ニ關係アル範圍内ニ於テ仍其ノ效力ヲ有ス

肥料配給改善助成規則ニ依リ提出シタル書類ハ本令ニ依リ之ヲ提出シタルモノト看做ス

(二) 肥料配給統制助成ニ關スル件

(昭和十五年六月八日一五對第二八五一號)
次官發、知事宛

農業生産必須ノ資源タル肥料ニ關シ其ノ配給ヲ統制シ肥料ノ消費ヲ合理的ニ調整スルハ現下農村ノ實情ニ鑑ミ更ニ一段ト緊要ヲ加フルモノト認メ從來道府縣購買組合聯合會等ニ對スル助成ヲ繼續スルト共ニ既定ノ道府縣肥料ノ配給割當施設ニ對スル助成ヲ一括ノ上肥料配給統制助成規則ヲ制定シ右規則ニ基キ助成金ヲ交付スルコトト相成從ツテ昭和十三年十二月二十四日附農林次官通牒「肥料配給統制助成金交付要項」ハ之ヲ廢止致候ニ付テハ左記御了知ノ上右目的達成ノ爲特ニ御配意相成度依命此段及通牒候也

記

- 一 昭和十三年十二月二十四日附農林次官通牒「肥料配給統制助成金交付要項」第六項ノ規定ニ依ル義務ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル
- 二 同交付要項第八項ノ規定ハ前項ノ規定ニ關係アル範圍内ニ於テ仍其ノ效力ヲ有ス
- 三 肥料配給統制助成規則公布ノ日以前ニ於テ同交付要項ニ依リ提出シタル書類ハ本則ニ依リ之ヲ提出シタルモノト看做ス

(三) 肥料配給統制助成ニ關スル件

(昭和十五年六月八日一五對部第二一四二號)
農林省臨時農村對策部長發、知事宛

首題ノ件ニ關シ本日農林次官ヨリ依命通牒相成候處尙本件助成金交付ニ關シ左記御了知ノ上可然御取計相成度此段及通牒候也

追而規則第二條第一號ノ費用ニ對スル助成ニ付テハ昭和十三年十二月廿四日附一三對第二八號、昭和十五年四月十六日附一五對第二〇三一號等通牒ノ趣旨ニ依リ御取計相成度

記

- 一 規則第二條第二號ノ費用ニ對スル助成金ハ一道府縣購買組合聯合會ニ付二人以内ノ專任職員ノ俸給及旅費ニ對シ之ヲ交付スルモノトス

- 二 前項ノ職員ニシテ俸給年額千二百圓ヲ超ユルモノハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者タルコトヲ要ス
- イ 産業組合又ハ産業組合聯合會ノ役職員トシテ三年以上主トシテ購買事業ノ事務ニ從事シ月額八十五圓以上ノ俸給ヲ受ケタル者
- ロ 一年以上奏任官待遇以上ノ職ニ在リ又ハ三年以上判任官待遇以上ノ職ニ在リテ主トシテ産業組合ニ關スル事務又ハ肥料ノ取締、獎勵若ハ配給統制ノ事務ニ從事シ月額八十五圓以上ノ俸給ヲ受ケタル者
- ハ 五年以上肥料ニ關スル事務ニ從事シ月額八十五圓以上ノ俸給ヲ受ケタル者
- ニ 前各項ニ準ズル者
- 三 第一項ノ職員ノ命免及昇給ニ付テハ道府縣購買組合聯合會ハ豫メ臨時農村對策部長ニ打合ヲ爲スコトヲ要ス

規則第二條第三號ノ費用ニ對スル助成金ハ動力機、粉碎機、粉末機、秤量器ノ購入費、荷造運搬費及据附費、電氣内線工事費並ニ動力傳導裝置費ニ對シ之ヲ交付スルモノトス

尙助成金ハ肥料配合機並ニ之ニ附屬ノ昇降機、肥料ノ粉碎機及粉末機ヲ聯結スル昇降機並ニ横送機ニ對シテモ（助成ヲ受クベキ團體ノ肥料配合設備ニ依リ配合セントスル肥料ノ製造見込數量ガ一年一萬五千噸ヲ超ユルモノニ限リ）之ヲ交付スルコトアルベシ

四 地方長官助成金交付申請書ヲ受理シタルトキハ事業計畫書其ノ他添附書類ニ付其ノ適否ヲ調査ノ上意見ヲ附シ尙規則第二條第三號ノ費用ニ對スル申請書ニ付テハ順位ヲ定メテ之ヲ進達スルモノトス

- 五 規則第二條第三號ノ設備ノ設置完成シタルトキハ直ニ地方長官ハ其ノ指定スル者ヲシテ設備及費用ニ付實地検査ヲ行ハシメ其ノ検査報告書（別紙様式第六號）ヲ助成金交付請求書及費用精算書ト共ニ進達スルモノトス
 - 六 規則第二條第三號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケタル者ハ規則第十一條ニ依ル書類ノ外配合設備利用成績書（別紙様式第五號）ヲ添附提出スベシ
 - 七 規則第二條第二號又ハ全三號ノ施設ニ關スル事業計畫書及費用豫算書（費用精算書）同第三號ノ施設ニ關スル設備要領書並ニ規則第十條ニ依ル事業月報ハ別紙様式ニ依リ作成スルコト
- （別紙）様式第一號

甲 規則第二條第二號ノ施設ニ關スル事業計畫書

一 組合及聯合會數（昭和 年 月 日現在）

計	聯合會數	組合數	本會ニ所屬スルモノ	區域内ニ於テ購買事業ヲ行フモノ	全上ノ中本會ニ加入セルモノ	區域内ニ於テ肥料ノ購買事業ヲ行フモノ	全上ノ中本會ニ加入セルモノ

- 二 區域内ニ於ケル肥料需給及取引ノ狀況
 - 三 道府縣購買組合聯合會ノ主ナル事業ノ概要
 - 四 同上ノ肥料ニ關スル事業ノ狀況
 - 五 同上ノ肥料配給統制ニ關スル計畫
 - 六 同上ノ肥料配給ノ業務ヲ擔當スル役職員ノ氏名及其ノ事務分擔
 - 七 同上ノ肥料配給事業ノ收支概算
 - 八 其ノ他必要ナル事項
- 備考

一 道府縣購買組合聯合會ノ出資金又ハ所屬組合ノ増加ニ關スル計畫アルトキハ之ヲ記載スルコト

- 二 肥料割當制ニ關スル肥料配給狀況又ハ計畫ヲモ記載ノコト
- 乙 規則第二條第三號ノ施設ニ關スル事業計畫書

一 助成金ノ交付ヲ受ケントスル團體ノ概況

イ 地區

ロ 團體員ノ職業別數及地區内ニ於ケル農業者ノ數

ハ 肥料ニ關スル事業ノ狀況（購買、利用）

ニ 前號以外ノ主ナル事業ノ概要

ホ 財務狀況

二 前項イ號ノ地區内ニ於ケル肥料ノ需給及取引狀況

三 肥料配合設備設置ノ理由

四 肥料配合設備ニ依リ配合シタル肥料ノ配給又ハ消費區域及配給ヲ受クベキ者又ハ設備ノ利用ヲ爲スベキ者ノ數

五 肥料配合設備ニ依リ配合セントスル肥料ノ種類別見込數量

六 肥料配合設備ニ依リ配合セントスル肥料ノ原料ノ種類及配合割合ノ決定方法

七 肥料配合設備ニ依リ配合シタル肥料ノ賣渡價格ノ決定又ハ設備利用料ノ決定方法並ニ賣渡代金及利用料ノ徵收方法

八 肥料配合事業ノ起業費ノ收支概算

九 肥料配合事業ノ收支概算（購買又ハ利用）

十 其ノ他必要ナル事項

備考

一 第一項ハ號及第二項ニ於テハ肥料割當制ニ依ル最近一ケ年ニ於ケル單肥用配合用別ノ地區内肥料消費可能數量及右ノ中肥料配合設備ヲ設置セントスル團體ノ肥料取扱數量ヲモ附記スルコト

二 第四項ノ配給區域ガ第一項イ號ノ地區ノ一部ヲ限ラルルトキハ其ノ理由ヲ附記スルコト
 (別紙) 様式第二號

甲 規則第二條第二號ノ施設ニ關スル費用豫算書(費用精算書)

科 目	金 額	備 考
俸 給		一人(月)俸 何 圓 何箇月分
旅 費		一人(月)俸 何 圓 何箇月分
技 師		一人一日ニ付 何 圓 何日分
技 師		一人一日ニ付 何 圓 何日分
計		

乙 規則第二條第三號ノ施設ニ關スル費用豫算書(費用精算書)

科 目	員 數	單 價	金 額	備 考
機械購入費				何式石油發動機 何馬力
動力機				何式 何型
粉碎機				

(別紙) 様式第三號

規則第二條第三號ノ施設ニ關スル設備要領書

- 一 設置者
- 二 設置ノ場所
- 三 敷地ノ面積
- 四 建物ノ構造及面積
- 五 器具機械ノ種類、型式、員數及能力
- 六 電氣内線工事及動力傳導裝置ノ概要
- 七 起工豫定年月日

粉 末 機	何 式 何 型
臺 秤	何 貫 秤
荷造運搬費	動力機何圓、粉碎機何圓、粉末機何圓、臺秤何圓
機械据附費	セメント何樽何圓、砂利何立坪何圓、砂何立坪何圓、人夫何人何圓、何々
電氣内線工事費	配電盤何圓、結線何尺何圓、工事費何圓、何々
動力傳導裝置費	何時シャフト何尺何圓、何時ベルト何尺何圓、何時プーリー何箇何圓、工事費何圓、何々
合 計	

八 完成豫定年月日

備考

- 一 敷地内ニ於ケル建物ノ位置、大サ及機器、動力傳導裝置等ノ配置ヲ示シタル圖面竝ニ敷地附近ノ概況圖ヲ添附スルコト
- 二 建物及機器ニ付テハ既設又ハ新設ノ別ヲ明ニスルコト
- 三 第五項及第六項ノ記載ニ付テハ助成金ノ交付ヲ受ケントスルモノト然ラザルモノトノ別ヲ明ニスルコト
- 四 敷地ガ借入ニ依ル場合ハ之ガ借入ヲ證スル書面ヲ添附スルコト

(別紙) 様式第四號

規則第十條ニ依ル事業月報

一 種類別仕入先別肥料ノ仕入高(數量及金額)及年内累計(曆年)

何々	年内累計	當月分	種類別		計
			數量	金額	
			全	其	
			購	ノ	
			聯	他	
			額	額	
			計	計	
			額	額	
			計	計	
			額	額	

合計	年内累計	當月分	何々	
			年内累計	當月分

二 種類別肥料ノ賣却高(數量及金額)及年内累計(曆年)

合計	年内累計	當月分	何々	
			年内累計	當月分

三 肥料ノ配合事業ヲ行フ場合ニ於テハ配合肥料ノ製造高(貫)ト其ノ種類別原料所要高(貫)及年内製造高累計(貫、曆年)

當月分	期別	配合肥料製造高		種類別原料所要高	
		貫	同	何	硫
			上	々	安
			ノ		
			原		
			料		
			所		
			要		
			高		
			量		

年内累計	何々
------	----

四 肥料ノ配給統制ニ關シ實行セル事項ノ概要
 五 組合及聯合會數

計	組合數	本會ニ所屬スルモノ	本會ヨリ肥料ノ配給ヲウケタルモノ
	聯合會數		

六 試算表(月末現在)
 七 其ノ他必要ナル事項
 (別紙) 様式第五號

配合設備利用成績書

- 一 設置者
- 二 設置場所
- 三 設置年月
- 四 地區内種類別肥料消費高(數量及金額)

- 五 團體ノ種類別肥料取扱高(數量及金額)
- 六 區域内農業者數及農業者タル團體員數
- 七 設備ノ利用狀況
- イ 利用者ノ實員數及延員數
- ロ 設備ノ種類別利用料

種類	種類	利用	
		單價	年度内利用料合計
粉碎機	大豆丸粕一枚當		
粉末機	魚粕十貫當		
何々			
何々			
合計			

(記載注意) 本表ノ記載ハ飼料等ニ共用スル場合アラバ其ノ分ヲ除キ専ラ肥料用ノモノニ付之ヲ記載スル事

ハ 配合肥料製造數量

製造高

ルコト能ハザルニ至リタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ農林大臣ニ届出ヅベシ

第十一條 助成金ノ交付ヲ受ケタル者ハ事業年度經過後遲滯ナク財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分書（産業組合及産業組合聯合會以外ノ團體ニ在リテハ收支決算書及事業報告書）ヲ農林大臣ニ提出スベシ

第十二條 農林大臣又ハ地方長官ハ必要アリト認ムルトキハ助成金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シ何時ニテモ其ノ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ書類、帳簿又ハ事業施行若ハ財産ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第十三條 第二條第二號又ハ第四號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケ設置シ又ハ買入レタル設備ノ承繼人ハ第八條、第九條、第十一條、前條及第十六條ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ助成金ノ交付ヲ受ケタル者ト看做ス

第十四條 第八條、第九條、第十一條及第十二條ノ規定ニ依ル義務ノ存續期間ハ第二條第二號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ助成金交付ノ日ヨリ十年間、第二條第四號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ助成金交付ノ日ヨリ三年間トス

第十五條 全國購買組合聯合會ヨリ提出スベキ書類ヲ除クノ外本則ニ依リ農林大臣ニ提出スベキ書類ハ地方長官ヲ經由スベシ

第十六條 助成金交付ノ指令ヲ受ケタル者又ハ助成金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場

合ニ於テハ農林大臣ハ助成金交付ノ指令ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル助成金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ

- 一 本則ノ規定又ハ本則ノ規定ニ依ル處分ニ違反シタルトキ
- 二 助成金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
- 四 支出額ガ豫算額ニ比シ著シク減少シタルトキ

○肥料配給統制施設助成ニ關スル件（昭和十三年十二月二十四日一三對第二八號次官發、知事宛）

時局ノ進展ニ伴ヒ農産ノ維持増進ヲ圖ルハ喫緊ノ要務ニシテ之ガ爲ニハ農業生産必須ノ資源タル肥料ノ供給ヲ確保シ其ノ配給ヲ圓滑ナラシムルハ極メテ緊切ナル事項ニ有之候處刻下ノ情勢ニ鑑ミルトキハ近ク肥料ノ需給關係ガ著シク改善セラルベキコトハ之ヲ期待シ難キ實情ナルヲ以テ此ノ際肥料ノ供給數量ニ即應シテ肥料消費ノ合理的調整ヲ圖ルト共ニ其ノ配給ヲ計畫的ニ統制スルヲ緊要トスル次第ニ有之右趣旨ニ基キ配給統制ノ組織ヲ整備スル爲別記要項ニ依リ助成金ヲ交付スルコトト相成候ニ付テハ左記事項御了知ノ上右目的達成ノ爲特ニ御配意相成度依命此段及通牒候也

記

- 一 助成金交付要項第二ノ職員ハ道府縣廳ニ在勤ノ者ノ者タルコトヲ要ス
- 二 助成金交付要項第二ノ費用ニ對スル助成金ハ一道府縣ニ付二人以内（高等官、判任官各一人宛）

ノ専任職員ノ俸給、旅費及印刷費其ノ他ノ費用竝ニ肥料配給統制ノ事務ヲ兼任スル者四人以内ノ旅費ニ對シ之ヲ交付スルモノトス

三 前項ノ職員ハ肥料ニ關スル事務（肥料獎勵及肥料検査事務）ヲ所管スル課ニ設置スルモノトシ其ノ命免ニ付テハ豫メ臨時農村對策部長ニ打合ヲ爲スコトヲ要ス

四 助成金交付要項第二ノ専任職員ニ關スル經費ハ夫々ノ豫算中ニ其ノ俸給及旅費其ノ他ニ付他ノ者ト區別シテ明示スルコトヲ要ス

五 助成金ノ交付ヲ受ケタル經費ハ之ヲ他ノ經費ニ流用スルコトヲ得ズ

六 助成金交付要項第四ノ事業計畫ニハ擔任セシムベキ事項及其ノ者ノ官職氏名及履歷ノ大要ヲ記載スルヲ要ス但シ前年度ト異動ナキ事項ニ付テハ其ノ旨附記シテ之ガ記載ハ省略スルコトヲ得

七 現ニ肥料ノ獎勵若ハ取締又ハ其ノ他ノ職ニアル者ヲ本助成職員トナシタルトキハ遲滯ナク後任ヲ補充スルコトヲ要ス

第六 肥料配給統制助成金交付要項（第六、第八以外略）
助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ハ左ノ書類ヲ翌年度六月三十日迄ニ農林大臣ニ提出スベシ

一 事業成績書
二 收支決算書
第八 助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ既ニ交付シタル助成金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ

一 本要項又ハ助成金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
二 事業執行ノ方法不適當ト認メタルトキ
三 支出額ガ豫算額ニ比シ減少シタルトキ

○肥料配給統制施設ニ關スル件（昭和十三年十二月二十四日一三對部第二二〇號臨時農村對策部長發、知事宛）

首題ノ件ニ關シ本日農林次官ヨリ又本施設運用ニ關シ之ガ地方ニ於ケル諮問機關ニ付テハ十二月二十四日附對部第一三七號「農林計畫ニ關スル地方委員會助成ニ關スル件」ヲ以テ夫々依命通牒相成候處尙本件助成金ノ交付申請ニ付テハ左記御了知相成度此段及通牒候也

記

一 道府縣ニ設置スル肥料配給統制ノ事務ニ從事スル職員ノ設置費及肥料配給統制ノ事務ニ從事スル兼任職員ノ旅費ノ一人當リ又ハ一道府縣當平均額ハ左ノ通りニシテ俸給額ニ付テハ現員現給ニヨリ交付ノ見込ナルコト

專任職員	高等官	兼任職員
俸給	二、四八〇圓	八九〇圓
旅費	六〇〇	四〇〇
		四人分 九〇〇

- 二 印刷費其ノ他ノ雜費ハ本年度分トシテハ金 圓程度ヲ計上相成リ之ニ對シ差當リ其ノ一部ヲ交付シ殘餘ノ印刷費ニ付テハ必要ニ應ジ追加交付ノ見込ナルコト
- 三 前二項ノ費用ニ對スル助成金ノ率ハ三分ノ二以内ナルヲ以テ相當額ハ道府縣費ヲ以テ負擔セラルベキコト

○肥料配給統制ノ事務ニ從事スル職員 (昭和十四年二月二十五日 肥料統制課長發、經濟部長宛)

肥料配給統制ノ事務ニ從事スル職員ニ對スル俸給ハ現員現給ニ依リ助成金交付相成候コトハ曩ニ客年十二月廿四日附第二八號ヲ以テ當省次官ヨリ貴縣知事宛通牒置ノ次第モ有之候處助成金交付手續上右職員任命ノ上ハ左記ニ依リ速ニ御報告相成度此段及照會候也

記

一 專任職員	官職	氏名	俸給支給額 (年額又ハ月額)	任命年月日
一 兼任職員	官職	氏名		任命年月日

○肥料配給統制施設助成ニ關スル件 (昭和十五年四月十六日一五對 第二〇三一號次官發、知事宛)

現下喫緊ノ要務タル農産ノ維持増進ト之ニ伴フ肥料ノ供給確保及配給ノ圓滑ヲ圖ル爲之ガ配給統制ノ組織ヲ整備スル要アルヲ認メ曩ニ首題ノ件ニ關スル昭和十三年十二月二十四日附一三對第二八號依命

通牒ニ基キ御配意ヲ得配給統制施設ヲ整備致候處今般有機質肥料ノ配給統制ノ實施及從來ノ組織整備擴充ノ爲一道府縣平均更ニ判任二名ノ割合ヲ以テ増置シ(内一名ニ付テハ本年四月分ヨリ他ノ一名ニ付テハ本年七月分ヨリ)肥料配給統制助成金交付要項ニ依リ助成金ヲ交付スルコトト相成候ニ付テハ本施設ニ付萬遺憾ナキヲ期セラレ度依命此段及通牒候也

(四) 肥料配給統制施設ノ趣旨ノ普及
ニ關スル事業委託ノ件

(昭和十五年七月十三日 一五對部 第二五五一號臨時農村對策部長發、知事宛)

肥料消費調整ノ徹底竝ニ割當制度等肥料配給統制計畫ノ實施ニ付テハ肥料ノ消費方面及配給方面ノ理解アル協力ニ俟ツコト緊要ニ有之仍テ之ガ趣旨ノ普及徹底ニ努ムルト共ニ肥料ノ消費調整ヲ勸奨シ以テ本年度ノ圓滑ナル運用ニ資スル爲首題ノ件左記方法ニ依リ貴縣(道府)ニ委託致度候條都合折返御回答相成度此段及照會候也

追而委託方差支無之候ハバ直ニ事業ニ着手相成度尙本事業ハ貴縣(道府)農會ト緊密ナル協調ヲ必要トスルヲ以テ共同主催ト致度候ニ付申添候

記

- 一 事業方法 肥料消費調整ノ徹底竝割當制度等肥料配給統制計畫ノ趣旨ノ普及宣傳ノ爲ニスル懇談會、講演會、協議會等ノ開催(別紙事業方法書ニ準ジ施行スルコトトシ之ガ計畫書ヲ提出スルコト)

二 事業施行期日 昭和十六年三月末日迄ニ於テ貴縣(道府)ニ於テ事業施行上適當ナル日時ヲ選定ノ上實施スルコト

三 所要經費 所要經費ニ付テハ金 圓ノ範圍内トシ之ガ支出方ヲ貴官ニ委任ス

四 經費豫算ハ左記様式ニ依リ事業計畫書ニ添ヘテ提出スルコト

經費豫算様式

費目	金額	備	考
臨時農村對策施設費			
事務費			
肥料配給統制施設普及宣傳費			
懇談會費			
會場費			
資料費			
雜費			
協議會又ハ講演會費			
會場費			
旅費			
雜費			

五 經費決算ハ左記様式ニ依リ事業成績ト共ニ事業終了後直チニ本省ニ報告スルコト

經費決算報告様式

費目	豫算額	決算額	不用額	備	考

事業方法書

一 肥料消費調整ノ徹底竝ニ割當制度等肥料配給統制計畫ノ趣旨ノ普及等ニ關スル事業

(一) 肥料配給統制懇談會

肥料配給統制竝ニ肥料ノ消費調整ニ關シ之ガ趣旨ノ普及徹底ヲ圖ル爲道府縣關係官、道府縣農會、郡農會、産業組合聯合會、商業組合等ノ肥料關係者ヲ招集シ之ガ實施等ニ關シ懇談會ヲ開催スルコト

(二) 協議會、講演會

肥料配給統制、肥料消費調整ニ關スル趣旨ノ普及徹底ヲ圖ル爲道府縣下適當ノ箇所ヲ選ビ特ニ其ノ必要大ナル箇所ヨリ順次町村吏員、町村農會、産業組合、農事實行組合等ノ肥料關係者、肥料商、肥料運送業者等ヲ招集シテ協議會又ハ講演會ヲ開催スルコト

第九、肥料改良獎勵規則其ノ他自給肥料關係

(一) 肥料改良獎勵規則 (大正十年四月一日 農商務省令第五號)

第一條 農商務大臣ハ左ニ掲クル道府縣ノ費用ニ對シ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ道府縣ニ獎勵金ヲ交
付ス

一 專ラ肥料ノ改良増殖及其ノ使用方法ノ改良ニ關スル獎勵事務ニ従事スル技術員ヲ道府縣ニ設置
スル爲ニ要スル費用

二 府縣立農事試驗場ニ於テ施肥標準調査ヲ行フ爲ニ要スル費用

三 北海道又ハ府縣立農事試驗場ノ設置ナキ府縣ニ於テ農商務大臣ノ適當ト認ムル機關ニ依リ前號
ニ掲クル調査ヲ行フ爲ニ要スル費用

第二條 獎勵金ノ交付ヲ受ケムトスル道府縣ハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添附シ前年度二
月末日迄ニ農商務大臣ニ提出スヘシ

一 事業計畫

二 支出豫算

第三條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ハ前條各號ニ掲クル事項ヲ變更シタルトキハ直ニソノ旨ヲ農
商務大臣ニ報告スヘシ但シ輕易ナル事項ニ關スル變更ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ハ事業成績及決算ヲ翌年九月三十日迄ニ農商務大臣ニ報告ス
ヘシ

第五條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ノ經費支出額カ第二條ノ添附書類ニ記載シタル豫算額ヨリ減
少シタルトキ又ハ事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキハ農商務大臣ハ獎勵金ノ全部又ハ一部ノ還
付ヲ命スルコトアルヘシ

附 則

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二條中前年度二月末日迄トアルハ大正十年度ニ限り大正十年六月十日迄トス

(二) 肥料改良獎勵規則施行ニ關スル件 (大正十年五月二日 農第六七九號農務局長通牒 昭和十四年四月十五日第五一三二號改正)

今般農商務省令第五號ヲ以テ肥料改良獎勵規則公布相成候處肥料ハ農業生産ノ基礎ニシテ其ノ供給ノ
多寡及施用ノ適否ハ本邦食糧ノ充實其ノ他農産物ノ改良發達ト密接ナル關係ヲ有スルヲ以テ之カ改良
増殖及經濟的使用法ノ普及ヲ圖ルハ寸時モ忽ニスルヲ許サズ候條道府縣ニ於テ適當ナル技術者ヲ常置

シ専ラ肥料ノ改良増殖ニ關スル指導及獎勵ノ任ニ當ラシメ或ハ施肥標準調査ヲ行ヒ其ノ成績ヲ調査攻
究シテ施肥方法ノ改善ニ資シ農家ノ肥料施用ヲシテ合理的且經濟的ナラシメ以テ一層其ノ效果ヲ増
進セシムル様周到ナル指導獎勵ヲ行フ如キハ極メテ緊要ナル施設ト認メ大正十年度ヨリ是等事業ノ發
達ヲ助長スル爲道府縣ニ獎勵金ヲ交付スルコトト相成候次第ニ付右本省ノ施設ニ對應シ相當施設相成
候様特ニ御配意相成度尙同規則第一條ニ依ル獎勵金ノ交付ハ本省自ラ其ノ必要ヲ認メ交付スル場合ノ
外別記ニ依リ取扱フコトト相成候條御了知相成度此段依命及通牒候也

記

- 第一 規則第一條第一號ノ技術員ハ道府縣廳ニ在勤ノ者タルコトヲ要ス
- 第二 規則第一條第二號又ハ第三號ノ施肥標準調査ハ別ニ通牒スル事業施行方法ニ準據スルコトヲ要ス
- 第三 獎勵金ハ左記標準ニ依リ之ヲ交付ス但シ特ニ必要アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 一 規則第一條第一號ノ技術員ニ付テハ一人ヲ限り其ノ俸給及旅費ノ二分ノ一以内トス但シ千三百圓ヲ限度トス

二 (昭和十一年六月六日農第六五七四號農務局長通牒ニ依リ改正)

第四 獎勵金ハ左記ニ依リ計上シタル經費ニ對シ之ヲ交付ス

- 一 規則第一條第一號ノ技術員ニ關スル經費ハ豫算中ニ其ノ俸給及旅費ヲ他ノ技術員ノ分ト區分シ

テ明示スルコト

- 二 規則第一條第二號又ハ第三號ノ施肥標準調査ニ關スル經費ハ府縣立農事試驗場又ハ之ヲ施行スル道府縣ノ機關ノ豫算中ニ特ニ「施肥標準調査費」ナル一目ヲ設ケ別記様式ニ準シ他ノ經費ト區別シテ計上スルコト

大正十年ニ限り特別ノ事由アリト認ムルトキハ前項第二號ノ目ヲ設ケサル場合ト雖右經費ニ該當スルコトヲ明示スル場合ニ限り之ヲ交付スルコトアルヘシ

- 第五 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル經費ハ之ヲ他ノ經費ニ流用スルコトヲ得ス
- 第六 獎勵金ハ國庫ヨリ補助金ノ交付ヲ受クル經費ニ對シテハ之ヲ交付セス
- 第七 規則第一條第一號ノ場合ニ於ケル技術員ハ左ノ資格ノ一ヲ具備スル者タルコトヲ要ス若シ之ニ依リ難キ場合アルトキハ豫メ打合スヘシ

一 帝國大學農學部、農業專門學校又ハ之ト同等以上ノ農業學校ニ於テ農藝化學科又ハ之ニ該當スル學科ヲ卒業シタル者

二 前號ノ學校ニ於テ農學科又ハ之ニ該當スル學科ヲ卒業シタル者ニシテ國立若ハ府縣立農事試驗場又ハ之ニ準スヘキ試驗研究所ニ於テ二年以上肥料ニ關スル試驗研究ノ事務ニ從事シタル者

三 修業年限二年ノ高等小學校卒業程度ヲ入學資格トスル修業年限三年以上ノ農業學校ヲ卒業シタル者ニシテ東京農業大學農藝化學部ヲ卒業シ國立若ハ府縣立農事試驗場又ハ之ニ準スヘキ試驗研

究所ニ於テ二年以上肥料ニ關スル試験研究ノ事務ニ從事シタル者

四 前號ノ農業學校ヲ卒業シタル者ニシテ國立若ハ府縣立農事試驗場又ハ之ニ準スヘキ試験研究所ニ於テ三年以上肥料ニ關スル試験研究ノ事務ニ從事シタル者

五 道府縣ニ於テ二年以上肥料検査官吏タリシ者

第八 規則第二條第一號ノ事業計畫ニハ左記事項ヲ記載スルヲ要ス但シ前年度ト異動ナキ事項ニ付テハ其ノ旨附記シテ之カ記載ヲ省略スルコトヲ得

甲 規則第一條第一號ノ技術員ニ關スル事項

一 擔任セシムヘキ事項

二 官職氏名及履歷ノ大要

乙 施肥標準調査ニ關スル事項 (昭和十一年六月十六日農局第一八一七號)

第九 (昭和十一年六月十六日農局第一八一七號) (農務局長通牒ニ依リ改正)

(三) 施肥標準調査施行方法ニ關スル件 (昭和十二年十月二十七日) (農局第二四二二號農務局長通牒)

大正十年農商務省令第五號肥料改良獎勵規則ニ據ル大正十年五月一〇農局第六八二號通牒施肥標準調査施行方法ヲ今般左記ノ通變更致候條右御了知相成度此段及通牒候也

施肥標準調査施行方法

一 施肥標準調査ヲ行フニ當リテハ計畫上ノ參考資料トシテ豫メ管内各地ニ於ケル施肥慣行調査ヲ行フコト

二 施肥標準調査ヲ行フヘキ代表的土壤ヲ選定シ其ノ地ニ於テ先ツ原地調査ヲ行フコト

三 原地調査ニ於テ調査スヘキ主ナル事項ハ次ノ如キモノタルコト

一 代表地域内ノ町村及其ノ見込面積竝同地域内ニ於ケル稻作、麥作其ノ他特ニ主要ナル作物ノ栽培見込面積及收穫量

一 耕種ノ梗概

一 肥料ノ種類及施肥量

一 施肥ノ回數及時期竝施肥法ノ概要

一 溉 灌 水

一 地質、土性及土層

四 施肥標準調査ハ行政區劃ニ拘泥セスシテ主トシテ管内ノ代表的土壤ニ付施行スルコト

五 施肥標準調査ハ主要農作物ニ付テ行フモノトス

六 作物ノ生育著シク不良ナル地方又ハ團地若ハ從來ノ施肥慣行カ合理的ナラスト認ムル地方ハ可

成速ニ着手スルコト

七 施肥標準調査ハ「ポット」試験、原地試験及分析檢定ヲ併セ行フヲ原則トスルコト但シ原地ニ於テ相當ノ管理ヲ爲シ得ル場合ニ於テハ「ポット」試験ニ該當スル試験ヲ直ニ原地ニ於テ行フモ妨ケナシ

八 「ポット」試験ニ於テハ左ノ五區ヲ設ケ三要素試験ヲ行フコト

- 一 完全區
- 一 無窒素區
- 一 無磷酸區
- 一 無加里區
- 一 無肥料區

九 三要素試験ハ其ノ成績ヲ調査シ先ツ各種土壤別ニ五區ノ成績ヲ絕對數量ヲ以テ比較シ供試作物ニ依リテ利用セラレ得ル土壤ノ三要素ノ多少ヲ査定シ更ニ各種土壤ニ就テ各該當スル區ヲ完全區ノ成績ニ對スル差ヲ以テ比較對照シ原地試験ノ準備或ハ肥料トシテ補給スヘキ三要素量ヲ推定スルノ材料トナスコト

一〇 三要素試験ニ供用スル土壤中ニハ比較ノ爲農事試験場所在地ノ土壤ヲモ加フルコト

一一 「ポット」試験ハ三箇年位繼續施行シ其ノ平均ヲ採リ且各年ノ成績ヲ相互比較スルコト

一二 「ポット」試験ニ於テハ同一ノ土壤ニ付同一ノ試験ヲ少クトモ二組宛行フコト

一三 土壤ノ採收ニハ特ニ前作及施肥ノ關係ヲ注意シ選定地内ニ於テ五箇所以上ノ箇所ヨリ土壤ヲ採收シ(心土ヲ混セサル様特ニ注意シ)能ク混合シ供試土壤トスルコト

一四 「ポット」試験ニ供用スル「ポット」ハ磁製「ポット」ニシテ其ノ大サ一反歩ノ二萬分ノ一ニ相當スルモノヲ用ヒ之ニ施用スル肥料ハ硫酸「アンモニア」、過磷酸石灰、硫酸加里トシ其ノ施用量ハ一「ポット」ニ付三要素トモ何レモ一「グラム」ヲ標準トスルコト但シ土壤ノ性質ニ依リ多少加減ヲ爲スコト

一五 「ポット」試験ニ於テハ必要ト認ムル場合適量ノ碳酸石灰ヲ施用スルコト

一六 「ポット」試験ハ外界ヨリ惡影響ヲ受クルコト少キ様特ニ注意シ可成網室又ハ硝子室ヲ使用スルコト

一七 「ポット」試験ニ供用セシ土壤ハ別ニ化學的及理學的方法ニ依リ左ノ檢定ヲ爲スコト但シ農事試験場ニ於ケル業務ノ繁閑ニ依リ其ノ一部ヲ省略スルモ妨ナシ

- 一 水分及灼熱消失量
- 一 窒素全量及石灰量
- 一 有効性磷酸及加里ノ量
- 一 酸 度
- 一 窒素及磷酸ニ對スル吸收率

一 淘汰分析

一八 原地試験ハ「ポット」試験ヲ了リタル土壤ノ原地ニ付「ポット」試験ノ成績ヲ應用シテ之ヲ行フコト但シ「七」ノ但書ノ場合若ハ之ニ準スヘキ特別ノ事情アル場合ハ此ノ限ニアラス

一九 原地試験ハ可成區數ヲ少クシ一區ノ面積ヲ廣クシ且少クトモ二區平均ノ方法ヲ採リ尙各區ノ周圍ニハ必ス番外列ヲ適當ニ設クルコト

二〇 代表的土壤ヲ採收スルト同時ニ可成其ノ原地ニ於テ無肥料栽培試験ヲ行ヒ原地ニ於ケル天然生産力ヲ査定スルコト但シ其ノ試験成績ハ第二日目及第三日目ヲ平均スルコト

二一 原地試験ニ於テハ少クトモ左ノ四區ヲ設ケテ經濟的施肥量ヲ決定スルコト

一 在來施肥區

一 査定標準區

一 同上増減二區

二二 査定標準區ニ於ケル三要素施用量ハ其ノ他ノ事情ト最モ近似セル土地ノ三要素適量試験成績ニ左ノ事項ヲ加味シテ査定スルコト

(一) 第八項ノ方法ニヨリテ計算シタル「ポット」試験成績及原地ニ於ケル無肥料栽培試験成績
又ハ原地三要素試験成績

(二) 及原地調査ニ於ケル收穫量

(三) 及原地調査ニ於ケル收穫量

二三 原地試験ニ供用スル肥料ハ基本肥料トシテ堆肥又ハ綠肥ノ適量ヲ用ヒ販賣肥料ハ可成廉價ナルモノヲ選擇シ之カ應用ニ便ナル様特ニ注意スルコト但シ特殊ノ事情アル土地ニ於テハ此限リニアラス

二四 各肥料ノ用量ハ養分吸收率ニヨリ算出スルコト

二五 原地試験ニ於ケル試験地ノ設定栽培管理等ニ就テハ特ニ相當ノ注意ヲ爲スコト

二六 原地試験ハ三箇年以上五箇年位繼續施行スルコト

二七 農事試験場ノ圃場ニ於テ完全ナル試験方法ニ依リ長期間ニ亘リ三要素適量試験ヲ行フコト著シク土質氣候ヲ異ニスル爲原地試験設計上前項試験成績ヲ應用スルコト不適當ナリト認めラルル地方ニ付テハ正確ナル成績ヲ得ラルル場合ニ限リ其ノ地ニ於テ前項ト同様ノ試験ヲ行フコト但シ該土壤ヲ「ポット」試験ニ加フルコト

二八 前各項ニ記載スル施肥標準調査方法ニ異ナル點アル場合ト雖農務局長ニ於テ適當ト認めタルトキハ其ノ方法ニ依リ之ヲ施行スルコトヲ得

(四) 肥料改良獎勵事業成績報告ニ關スル件

(大正十一年一月三十日 農局第五六號農務局長通牒)

大正十年四月農商務省令第五號肥料改良獎勵規則第四條ノ事業成績ハ別記ニ依リ報告相成度此段及通

牒候也

記

- 一 規則第一條第一號ノ技術員ニ關スル事項
(一) 従事セシ業務ノ大要

二 規則第一條第二號又ハ第三號ノ施肥標準調査ニ關スル事項 (昭和十一年六月十六日農務局長通牒第一八一七號) (農務局長通牒ニ依リ改正)

(五) 自給肥料改良増産及施肥改善獎勵ニ關スル件

昭和十一年六月十六日農務局長通牒第一八一七號
昭和十三年五月七日第五九六一號改正
昭和十四年四月十五日第五一三一號改正
昭和十五年四月十五日一五農第四九四六號改正

自給肥料ノ改良増産及施肥方法ノ改善ヲ圖ルハ農村ノ現状ニ鑑ミ極メテ緊要ナル事項ナルヲ以テ從來之ガ獎勵ニ努メ相當ノ効果ヲ收メ候ヘ共現下農村ノ實情ニ徴シ更ニ一段ト意ヲ用フルノ必要ヲ認メ施設ヲ整備シ之ニ相當スル獎勵金ヲ増加交付スルコトト相成候條本省ノ施設ニ相對應シテ適當施設相成度尙獎勵金ハ特別ノ場合ヲ除ク外別記要項ニ依リ之ヲ取扱ヒ又本施設ノ實施ト共ニ從來施行セラレツツアル綠肥作物増殖獎勵(昭和六年六月二十日農第一〇四五〇號依命通牒)、堆肥改良増産獎勵(昭和七年七月二十九日農第一四二五八號依命通牒)及自給肥料改良増産獎勵(昭和七年九月十日農第一七四四九號農林次官通牒)施設ハ之ヲ廢止セラレ候條御了知相成度依命此段及通牒候也

記

自給肥料改良増産及施肥改善獎勵金交付要項

第一 農林大臣ハ自給肥料ノ改良増産及施肥方法ノ改善獎勵ノ爲本要項ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付ス

第二 獎勵金ハ左ニ掲クル道府縣ノ費用又ハ道府縣農會其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル團體ニ交付スル道府縣ノ助成金ニ對シ道府縣ニ之ヲ交付ス但シ同一事項ニ對シ國庫ヨリ獎勵金、補助金又ハ之ニ準スルモノノ交付ヲ受クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 自給肥料ノ改良増産及施肥方法ノ改善ニ關スル實地指導地ノ設置ヲ爲スニ要スル費用又ハ助成金

二 綠肥作物改良増産ノ爲左ノ一ニ該當スル施設ヲ爲スニ要スル費用又ハ助成金

(一) 綠肥作物種子配付ノ目的ヲ以テスル綠肥作物ノ原種圃又ハ採種圃ノ經營

(二) 綠肥作物種子ノ購入配付

(三) 府縣立農事試驗場(北海道ニ在リテハ農林大臣ノ適當ト認ムル機關)ニ於ケル綠肥作物根瘤

菌ノ培養配付

三 堆肥改良増産ノ爲左ノ一ニ該當スル施設ニ對スル助成金

(一) 堆肥製造場ノ設置

(二) 堆肥製造場築造ノ爲共同利用スヘキ框型ノ設備

- 四 灰ノ利用増進ノ爲左ノ一ニ該當スル施設ニ對スル助成金
 - (一) 灰溜槽ノ設置
 - (二) 灰溜槽築造ノ爲共同利用スヘキ框型ノ設備
- 五 施肥基準ノ設定及之カ實踐獎勵ノ爲左ノ施設ヲ爲スニ要スル費用又ハ助成金
 - (一) 府縣立農事試驗場（北海道ニ在リテハ農林大臣ノ適當ト認ムル機關）ニ於ケル施肥基準設定基本調査
 - (二) 道府縣ニ於ケル施肥基準設定竝ニ之カ實踐獎勵ニ關スル協議會
 - (三) 市町村農會又ハ農林大臣ノ適當ト認ムル團體ニ於ケル施肥基準設定竝ニ之カ實踐獎勵ニ關スル協議會
 - (四) 專ラ施肥基準設定基本調査ニ從事スル技術員ノ設置
- 六 自給肥料ノ改良増産及施肥ノ改善ノ普及促進ノ爲左ノ一ニ該當スル施設ヲ爲スニ要スル費用又ハ助成金
 - (一) 市町村農會又ハ農林大臣ノ適當ト認ムル團體ニ於ケル自給肥料ノ改良増産及施肥ノ改善ニ關スル共同實踐施設
 - (二) 講習會、共進會、一齊實行運動、模範設備ノ設置、指導員ノ活動促進其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル促進獎勵ニ關スル施設

- 七 自給肥料ノ改良増産及施肥ノ改善ニ關スル指導督勵ヲ爲スニ要スル費用又ハ助成金
- 第三 獎勵金ノ額ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ交付スルモノトス
 - 一 第二第一號ノ費用又ハ助成金ニ對シテハ實地指導ニ必要ナル材料費及實施指導地管理費ニ對シ實地指導地一反步當五圓以内トス
 - 二 第二第二號ノ費用又ハ助成金ニ對シテハ左ノ標準ニ依リ之ヲ交付スルモノトス
 - (一) 第二第二號一ノ費用又ハ助成金ニ對シテハ原種圃又ハ採種圃一反步當十五圓以内
 - (二) 第二第二號二ノ費用又ハ助成金ニ對シテハ購入配付費ノ二分ノ一以内
 - (三) 第二第二號三ノ費用ニ對シテハ其ノ費用ノ範圍内
 - 三 第二第三號ノ助成金ニ對シテハ左ノ標準ニ依リ之ヲ交付スルモノトス
 - (一) 第二第三號一ノ助成金ニ對シテハ堆肥製造場設置費ノ三分ノ一以内
 - (二) 第二第三號二ノ助成金ニ對シテハ框型一組當十五圓以内
 - 四 第二第四號ノ助成金ニ對シテハ左ノ標準ニ依リ之ヲ交付スルモノトス
 - (一) 第二第四號一ノ助成金ニ對シテハ灰溜槽設置費ノ三分ノ一以内
 - (二) 第二第四號二ノ助成金ニ對シテハ框型一組當十五圓以内
 - 五 第二第五號ノ費用又ハ助成金ニ對シテハ左ノ標準ニ依リ之ヲ交付スルモノトス
 - (一) 第二第五號一ノ費用ニ對シテハ其ノ費用ノ範圍内

- (二) 第二第五號ニノ費用ニ對シテハ其ノ費用ノ範圍内
- (三) 第二第五號三ノ助成金ニ對シテハ一市町村ノ區域ニ付三十圓以内
- (四) 第二第五號四ノ費用ニ對シテハ俸給ニ對シ年額千圓以内旅費ニ對シ年額六百圓以内
- 六 第二第六號ノ費用又ハ助成金ニ對シテハ左ノ標準ニ依リ之ヲ交付スルモノトス
 - (一) 第二第六號一ノ助成金ニ對シテハ一市町村ノ區域ニ付三百圓以内
 - (二) 第二第六號二ノ費用又ハ助成金ニ對シテハ其ノ費用又ハ助成金ノ範圍内
 - 七 第二第七號ノ費用又ハ助成金ニ對シテハ其ノ費用又ハ助成金ノ範圍内
- 第四 獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ事業計畫書及收支豫算書(各正副二通)ヲ添附シ前年度二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スヘシ但シ昭和十五年度ニ限り申請書提出期限ハ之ヲ昭和十五年五月三十一日迄トス
- 第五 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者第四ノ書類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ
- 第六 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ事業成績書及收支決算書(各正副二通)ヲ翌年度七月三十一日迄ニ農林大臣ニ提出スヘシ
- 第七 不正ノ手段ニ依リ助成金ノ交付ヲ受ケ又ハ受ケントシタル事實ヲ認知シタルトキハ其ノ處分ニ付豫メ農林大臣ニ協議スヘシ

第八獎 勵金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ既ニ交付シタル獎

勵金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命スルコトアルヘシ

- 一 本要項又ハ獎勵金ノ交付條件ニ違反シタルトキ
- 二 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
- 三 支出額カ豫算額ニ比シ減少シタルトキ

(六) 施肥標準調査獎勵ニ關スル件

(昭和十一年六月六日農務局長通牒) 農第六五七四號 昭和十四年四月十五日第五一三二號改正

農產物ノ生産改良上施肥法ノ改善ハ極メテ重要ナル事項ニ有之候處自然的原因ニ依リ局所ノニ複雑ナル變化ノ存スル土壤ノ特質ヲ明ニシ之ニ適當スル施肥法ノ基準ヲ定ムル施肥標準調査ハ施肥法ノ改善上根本ヲ爲スモノト存セラレ候斯ノ見地ニ於テ本省ハ從來道府縣農事試驗場ニ於ケル施肥標準調査事業ヲ助成シ來リ相當ノ成績ヲ收メ候處右ハ事情ノ許ス限り周密ニ施行スルノ要アルヲ以テ今回獎勵金ヲ增加交付スルコトト相成候條本省ノ施設ニ相對應シテ適當施設相成度尙獎勵金ノ交付ニ關シテハ大正十年五月二日農第六七六九號肥料改良獎勵規則施行ニ關スル依命通牒別記第三第二號ヲ左記ノ通告正相成特別ノ場合ヲ除ク外右ニ依リ取扱フコトト相成候條御了知相成度依命此段及通牒候也

記

- 二 規則第一條第二號又ハ第三號ノ施肥標準調査ニ付テハ左ノ標準ニ依リ之ヲ交付ス但シ一道府縣總額千五百圓ヲ限度トス
- (一) 原地ニ於ケル三要素試験、三要素適量試験又ハ應用試驗ニ要スル費用（肥料其ノ他材料費、試驗地管理費）等ニ對シ試驗地一箇所ニ付三十圓以内トス但シ五百圓ヲ限度トス
- (二) 旅費ニ對シテハ二分ノ一以内トス但シ五百圓ヲ限度トス
- (三) 其ノ他ノ費用ニ對シテハ三分ノ一以内トス但シ千圓ヲ限度トス

(七) 自給肥料改良増産及施用改善並施肥標準調査獎勵ニ關スル件

（昭和十一年六月十六日農務局長通牒）

昭和十一年六月六日附一一農第六五七三號依命通牒自給肥料改良増産及施用改善獎勵並同一一農第六五七四號依命通牒施肥標準調査獎勵ニ關シ左記御了知相成度此段及通牒候也

記

- 一 自給肥料改良増産及施用改善獎勵金交付要項第四ノ事業計畫書及收支豫算書並同第六ノ事業成績書及收支決算書ハ別記第一ノ様式ニ準據シ記載スルコト
- 二 施肥標準調査ノ事業計畫書、事業成績書、收支豫算書及收支決算書ハ自今別記第二ノ様式ニ準據シ記載スルコト

三 自給肥料改良増産及施用改善獎勵金交付要項第二第一號ノ自給肥料ノ改良増産及施用方法改善ニ關スル實地指導ハ別記第三自給肥料改良増産及施用改善實地指導要項ニ準據シ施行スルコト

四 (省略)

五 (省略)

六 肥料改良獎勵規則第一條第一號肥料改良獎勵專任技術員設置ニ要スル費用並同第二號及第三號施肥標準調査ニ要スル費用ニ對スル獎勵金交付申請書ハ自今各別ニ提出スルコト

七 自給肥料改良増産及施用改善獎勵金ハ本年度ヨリ之ヲ道府縣ニ交付シ道府縣農會ニ對シテハ直接交付セサルコトトナリタリ然レトモ昭和六年六月二十日農第一〇四五〇號依命通牒ニ依ル綠肥作物増産獎勵及昭和七年七月二十九日農第一四二五八號依命通牒ニ依ル堆肥改良増産獎勵ニ關スル事項ニ付テハ特別ノ場合ニ限り當分ノ内從來ノ取扱ヲ爲スコトアルヘキコト（以下省略）

別記

第一様式（自給肥料改良増産及施用改善獎勵ニ關スルモノ）

第一號 事業計畫書

一 第二第一號ニ關スル事項

甲 直接事業ノ場合（實地指導地各箇所別ニ記載ノコト）

(一) 實地指導地場所（郡市町村大字名ヲ記載ノコト）

- (二) 實地指導ヲ受クヘキ團體ノ名稱及人員
- (三) 實地指導地ノ面積(田、畑別ニ記載ノコト)
- (四) 實地指導ヲ爲スヘキ事項及實地指導ヲ必要トスル理由
- (五) 實地指導ノ方法
- (六) 創始年度

乙 助成事業ノ場合

- (一) 助成計畫(助成金交付先、助成率及助成金交付先別ニ事業計畫ヲ直接事業ノ場合ニ準シ記載ノコト)
- (二) 助成金交付規程又ハ交付條件

丙 其ノ他參考トナルヘキ事項

二 第二第二號ニ關スル事項

甲 第二第二號一ニ關スル事項

- (一) 直接事業ノ場合(種類及品種別ニ記載ノコト)
- (イ) 採種圃場所(郡市町村大字名ヲ記載ノコト)
- (ロ) 採種圃面積(採種圃場所別ニ記載ノコト)
- (ハ) 採種量(同上)

配付種子數量及之カ栽培面積

有償配付、無償配付ノ別(有償配付ノ場合ハ配付單價ヲ記載ノコト)

配付先

配付方法

(二) 助成事業ノ場合

- (イ) 助成計畫(助成金交付先、助成率及助成金交付先別ニ事業計畫ヲ直接事業ノ場合ニ準シ記載ノコト)

載ノコト)

(ロ) 助成金交付規程又ハ交付條件

乙 第二第二號ニ關スル事項

- (一) 直接事業ノ場合(種類及品種別ニ記載ノコト)

購入種子數量、購入先及購入單價

配付種子數量及之カ栽培面積

有償配付、無償配付ノ別(有償配付ノ場合ハ配付單價ヲ記載ノコト)

配付先

配付方法

(二) 助成事業ノ場合

(イ) 助成計畫（助成金交付先、助成率及助成金交付先別ニ事業計畫ヲ直接事業ノ場合ニ準シ記載ノコト）

(ロ) 助成金交付規程又ハ交付條件

丙 第二第二號ニ關スル事項（種類別ニ記載ノコト）

(一) 配付數量（培養容器別ニ記載ノコト）

接種面積

(三) 有償配付、無償配付ノ別（有償配付ノ場合ハ配付單價ヲ記載ノコト）

(四) 配付先

(五) 培養配付方法

丁 其ノ他參考トナルヘキ事項

三 第二第三號ニ關スル事項

甲 直接事業ノ場合（施設ノ種類別ニ記載ノコト）

(一) 施設ノ種類

(二) 施行方法

乙 助成事業ノ場合

(一) 助成計畫（助成スヘキ施設、助成金交付先、助成率及助成金交付先別ニ事業計畫ヲ直接事業

ノ場合ニ準シ記載ノコト）

(二) 助成金交付規程又ハ交付條件

丙 其ノ他參考トナルヘキ事項

四 第二第四號ニ關スル事項

甲 直接事業ノ場合

指導督勵ノ方法

乙 助成事業ノ場合

(一) 助成計畫（助成金交付先、助成率及助成金交付先別ニ事業計畫ヲ直接事業ノ場合ニ準シ記載ノコト）

(二) 助成金交付規程又ハ交付條件

丙 其ノ他參考トナルヘキ事項

第二號 事業成績書

一 第二第一號ニ關スル事項

甲 直接事業ノ場合（實地指導地各箇所別ニ記載ノコト）

(一) 實地指導地場所（郡市町村大字名記載ノコト）

(二) 實地指導ヲ受ケタル團體ノ名稱及人員

- (三) 實地指導地ノ面積(田、畑別ニ記載ノコト)
- (四) 實地指導ヲ行ヒタル事項
- (五) 實地指導ノ方法
- (六) 實地指導ニ依リ農産物ノ改良増産、地力ノ維持増進及肥料費其ノ他生産費ノ節減等ニ及ホシタル効果(隣接地ト比較シ成可ク具體的ニ記載ノコト)

乙 助成事業ノ場合

(助成金交付先別ニ直接事業ノ場合ニ準シ記載ノコト)

- 丙 實施シタル事業及分量カ豫定シタルモノニ比シ著シク相異シタル場合ハ其ノ理由
- 丁 其ノ他參考トナルヘキ事項

二 第二第二號ニ關スル事項

甲 第二第二號一ニ關スル事項

- (一) 直接事業ノ場合(種類及品種別ニ記載ノコト)
 - (イ) 採種圃場所(郡市町村大字名ヲ記載ノコト)
 - (ロ) 採種圃面積(採種圃場所別ニ記載ノコト)
 - (ハ) 採種量(同上)
 - (ニ) 配付種子數量及之カ栽培面積

(ホ) 有償配付、無償配付ノ別(有償配付ノ場合ハ配付單價ヲ記載ノコト)

配付先

配付方法

(チ) 配付種子ノ栽培成績概要(成可ク具體的ニ記載ノコト)

(二) 助成事業ノ場合

(助成金交付先別ニ直接事業ノ場合ニ準シ記載ノコト)

乙 第二第二號二ニ關スル事項

(一) 直接事業ノ場合(種類及品種別ニ記載ノコト)

(イ) 購入種子數量、購入先及購入單價

(ロ) 配付種子數量及之カ栽培面積

(ハ) 有償配付、無償配付ノ別(有償配付ノ場合ハ配付單價ヲ記載ノコト)

配付先

配付方法

(ヘ) 配付種子ノ栽培成績概要(成可ク具體的ニ記載ノコト)

(二) 助成事業ノ場合

(助成金交付先別ニ直接事業ノ場合ニ準シ記載ノコト)

丙 第二第二號(三)ニ關スル事項(種類別ニ記載ノコト)

(一) 配付數量(培養容器別ニ記載ノコト)

接種面積

(三) 有償配付、無償配付ノ別(有償配付ノ場合ハ配付單價ヲ記載ノコト)

配付先

培養配付方法

(六) 根瘤菌接種成績ノ概要(成可ク具體的ニ記載ノコト)

丁 實施シタル事業及分量カ豫定シタルモノニ比シ著シク相異シタル場合ハ其ノ理由

戊 其ノ他參考トナルヘキ事項

三 第二第三號ニ關スル事項

甲 直接事業ノ場合(施設ノ種類別ニ記載ノコト)

施設ノ種類

(一) 事業成績(事業實施ノ結果現ハレタル效果ヲモ記載ノコト)

乙 助成事業ノ場合

(二) (助成金交付先別ニ直接事業ノ場合ニ準シ記載ノコト)

丙 實施シタル事業及分量カ豫定シタルモノニ比シ著シク相異シタル場合ハ其ノ理由

丁 其ノ他參考トナルヘキ事項

四 第二第四號ニ關スル事項

甲 直接事業ノ場合

指導督勵ノ方法及其ノ成績(事業實施ノ結果現ハレタル效果ヲモ記載ノコト)

乙 助成事業ノ場合

(助成金交付先別ニ直接事業ノ場合ニ準シ記載ノコト)

丙 實施シタル事業及分量カ豫定シタルモノニ比シ著シク相異シタル場合ハ其ノ理由

丁 其ノ他參考トナルヘキ事項

第三號 (略) (二八五頁以下參照)

別記

第二様式(施肥標準調査獎勵ニ關スルモノ)

第一號 事業計畫書

一 施行計畫

施肥慣行調査點數	事		項	
	地域	施行	供試	作物
	町村數	既ニ終了セルモノ	町村數	繼續施行中ノモノ
	田		田	
	畑		畑	
	町村數	新ニ施行セントスルモノ	町村數	
	田		田	
	畑		畑	

原地無肥料栽培試驗點數	
原地應用試驗點數	

- 二 施肥慣行調査ヲ施行シタル郡市町村名及其ノ調査成績
- 三 原地調査ヲ施行シタル場所及其ノ調査成績
- 四 土壤採收場所及其ノ地目、地質、土性（代表的土壤ニ對シテハ採收場所ノ上ニ㊦印ヲ記入ノコト）
- 五 採收土壤理化學分析成績（代表的土壤ニ對シテハ採收場所ノ上ニ㊦印ヲ記入ノコト）
- 六 ポット三要素試驗土壤採收場所（郡市町村大字名ヲ記載ノコト）、地目、供試作物、創始年度及其ノ試驗成績
- 七 原地三要素試驗地場所（右ニ同シ）、地目、供試作物、創始年度及其ノ試驗成績
- 八 原地三要素適量試驗地場所（右ニ同シ）、地目、供試作物、創始年度及其ノ試驗成績
- 九 原地應用試驗地場所（右ニ同シ）、地目、供試作物、創始年度及其ノ試驗成績
- 十 實施シタル事業及分量カ豫定シタルモノニ對シ著シク相異セル場合ハ其ノ理由

第三號 收支豫算書（收支決算書）

收入ノ部

費目	本年度	前年度	比較		備考
	（決算額） 円	（決算額） 円	増	減	
國庫獎勵金					
原地試驗費					
旅費					
其ノ他					
道府縣負擔金					
其ノ他收入					
計					

備考

- 一 備考欄ニ各其ノ項目ノ内譯ヲ明記ノコト
- 二 本年度豫算額（決算額）ガ前年度豫算額（決算額）ニ比シ著シク相異シタル場合ハ其ノ理由ヲ明記ノコト
- 三 「其ノ他收入」ハ借地ヨリ生ズル生産物ノ賣却ニ依ル收入等ノ如キモノヲ記載ノコト

支出ノ部

費目	本年度	前年度	比較		備考
	（決算額） 円	（決算額） 円	増	減	
施肥標準調査費					
俸給					
雇員					
備料					
備					

一 八月又ハ年 圓 人分
 一 一月 圓 人分
 一 一日 圓 人分

(八) 自給肥料改良増産及施肥改善 獎勵擴大強化ニ關スル件

(昭和十五年四月二十四日、農務局長發、知事宛)
第一七〇六號

標記ノ件ニ關シ昭和十五年四月十五日農第四九四六號ヲ以テ依命及通牒候處右ニ付左記事項御了知ノ
上事業實行上萬全ヲ期セラレ度此段及通牒候也

記

一 獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル經費ハ特ニ「自給肥料改良増産及施肥改善施設費」ナル「目」ヲ設
ケ他ノ經費ト區別シテ計上スルコト若シ之ニ據リ難キ場合ハ豫メ當省ニ打合ハセ承認ヲ得ルコト

二 要項第二第五號ノ施肥基準設定ハ左ニ準據スルコト

(一) 施肥基準設定基本調査

(イ) 施肥基準設定基本調査ハ管内各地方ニ於ケル農作物ノ作付並生育狀況、地力並其ノ變化及肥
料(販賣肥料及自給肥料)ノ需給狀況等ヲ實地調査シ其ノ成績及從來ノ試験研究並調査成績等
ヲ照應シテ各地方別(大體郡市區域、場合ニ依テハ町村區域ノ程度)及各重要農作物別ニ施肥
基準設定基礎資料ヲ作成スルコト

(ロ) 本事業ノ實行ハ關係各部門及各機關ト特ニ緊密ナル連絡ノ下ニ行フコト

(二) 施肥基準設定並實踐方法道府縣協議會

(イ) 本協議會ハ道府縣廳ニ之ヲ設置スルコト

(ロ) 協議會ハ關係官廳及關係團體(郡市單位以上ノ區域ノモノ)ノ關係官及關係職員其ノ他眞ニ
農業事情ニ通曉スル者ヲ以テ組織シ形式ニ流レルコトヲ避クルコト

(ハ) 本協議會ニ於テ協議スベキ施肥基準ハ施肥基準設定基礎資料ヲ基礎トシ肥料ノ需給狀況其ノ
他農業事情ヲ斟酌シ各地方別(大體郡市區域、場合ニ依テハ町村區域ノ程度)及各重要農作物
別ニ設定スルコト

而シテ施肥基準ノ設定ト同時ニ之ガ實踐普及方法ニ付テモ協議決定スルコト

(三) 施肥基準設定並實踐方法市町村協議會

(イ) 本協議會ハ市町村農會(已ムヲ得ザル場合ハ市町村)ニ之ヲ設置スルコト

(ロ) 協議會ハ郡市農會、町村農會、農事實行組合及之等ニ準ズル團體ノ關係者其ノ他眞ニ農業事
情ニ通曉スル者ヲ以テ組織シ形式ニ流レルコトヲ避ケルコト

(ハ) 本協議會ニ於テ協議スベキ施肥基準ハ道府縣協議會ニ於テ設定セラレタル施肥基準ヲ基礎ト
シテ各地域別及各重要農作物別ニ設定スルコト

而シテ施肥基準ノ設定ト同時ニ之ガ實踐普及方法ニ付テモ協議決定スルコト

三 要項第二第五號(四)ノ專任技術員ノ設置ハ左ニ準據スルコト

(一) 本技術員ハ道府縣農事試驗場ニ設置スルコト而シテ事業實施上道府縣廳トノ連絡ヲ特ニ緊密ナ

ラシムル爲適當ナル措置ヲ講ズルコト

(二) 既設ノ職員ヲ以テ本技術員ニ專任セシムルトキハ既設ノ職員ノ後任ハ直チニ適任者ヲ以テ補充スルコト

(三) 本技術員ノ任免昇給ニ關シテハ豫メ當省ニ打合ハセ承認ヲ受ケルコト(任用ニ關スル打合セノ際ハ履歷書ヲ添附スルコト)

四 要項第二第六號(一)市町村農會又ハ農林大臣ノ適當ト認ムル團體ニ於ケル自給肥料ノ改良増産及施肥ノ改善ニ關スル共同實踐施設ハ左ニ準據スルコト

(一) 助成金ハ原則トシテ市町村農會ニ交付スルコト(道府縣農會及郡農會ヲ經由スルコトヲ妨グズ)但シ市町村農會ノ設置ナキ市町村又ハ市町村農會ノ活動不振等ノ事由ニ依リ不適當ト認メラル、場合ハ之ヲ市町村ニ交付スルコト

(二) 助成金ノ交付ヲ受ケテ施行スベキ事業ノ實行ハ事業團體ヲ整備シ其ノ活動ノ促進ヲ圖リ部落ヲ單位トシテ各農家共助共勵以テ共同實踐セシムルモノトシ之ガ爲部落團體ノ助成ヲ主眼トスルコト而シテ重要農作物ノ計畫的生産ノ爲自給肥料ノ改良増産及施肥ノ改善ニ關シ次ノ如キ事項ニ付其ノ地方ノ實情ニ即シ最適切ナル事項ヲ綜合的ニ必行セシムルコト

- (1) 自給肥料給源ノ調査及確保
- (2) 自給肥料改良増産計畫ノ樹立

(3) 自給肥料生産改良設備ノ整備

(4) 自給肥料改良増産共同實踐

(5) 配給肥料ノ實需期マデノ共同保管

(6) 施肥基準ヲ基礎トスル肥料ノ合理的配合及適正配分

(7) 施肥基準ヲ基礎トスル共同施肥ノ實踐

(8) 土壤改良(土壤反應ノ矯正及乾土法等ヲ含ム)ノ共同實踐

(9) 其ノ他重要農作物ノ耕種改善ニ關スル共同實踐

(10) 以上諸事項ノ實行促進ニ關スル各種施設

(三) 指導督勵方法

重要農産物ノ生産確保ノ爲本施設ニ期待スル處大ナルヲ以テ本施設ノ實行ニ關シテハ施肥基準設定並實踐方法道府縣協議會ノ委員ハ勿論其ノ他關係者ヲ以テ「指導班」ヲ組織シ各班分擔シテ責任ヲ以テ常時周到ナル指導ニ當リ其ノ實行ニ遺憾ナカラシムルコト

五 要項第二第六號(二)ノ施設ニ於テ必ズ「堆肥積込」「綠肥播種」「灰菟集」等各地方ノ實情ニ即應シテ最適當ナル「一齊實行運動」ヲ施行スルコト

六 要項第二第六號(二)ノ指導員ハ市町村又ハ市町村農會等ノ技術員ノ補助トシテ活動シ得ル適任者ヨリ選任シ之ガ業務ノ重要性ニ鑑ミ道府縣農事試驗場等ノ如キ機關ニ於テ再教育ヲ行フ等其ノ知識ノ

向上及技術ノ鍊磨ニ付適當ナル措置ヲ講ズルコト

七 要項第二第七號ノ指導督勵ハ關係各機關ト充分連絡協調シテ之ニ當ルコト

八 要項第四ノ事業計畫書並收支豫算書及要項第六ノ事業成績書並收支決算書ハ自今別記様式ニ準據

シ記載スルコト

別記様式

第一號 事業計畫書

一 第二第一號ニ關スル事項

昭和十一年六月十六日農局第一八一七號「自給肥料改良増産及施用改善並施肥標準調査獎勵」ニ關スル農務局長通牒別記第一様式第一號一ニ準據スルコト

二 第二第二號ニ關スル事項

同上別記第一様式第一號二ニ準據スルコト

三 第二第三號ニ關スル事項

甲 第二第三號(一)ニ關スル事項

助成金交付先

標準ノ構造、規模及經費、助成率、助成基數

(三) 助成金交付規程又ハ交付條件

乙 第二第三號(二)ニ關スル事項

助成金交付先

標準ノ構造、規模及經費、助成率、助成組數

(三) 助成金交付規程又ハ交付條件

四 第二第四號ニ關スル事項

甲 第二第四號(一)ニ關スル事項

助成金交付先

標準ノ構造、規模及經費、助成率、助成基數

(三) 助成金交付規程又ハ交付條件

乙 第二第四號(二)ニ關スル事項

助成金交付先

標準ノ構造、規模及經費、助成率、助成組數

(三) 助成金交付規程又ハ交付條件

五 第二第五號ニ關スル事項

甲 第二第五號(一)ニ關スル事項

(一) 施肥基準設定基本調査實施方法ノ大要

(二) 施肥基準設定基礎資料作成方法ノ大要

乙 第二第五號(二)ニ關スル事項

(一) 協議會ノ組織

(二) 協議會ノ開催回数及開催時期

(三) 關係規程アル場合ハ其ノ規程

丙 第二第五號(三)ニ關スル事項

(一) 助成金交付先及其ノ員數

助成率

(二) 助成金交付先ニ於テ行ハシメントスル事業ノ大要

(三) (協議會ノ組織、協議會ノ開催回数及開催時期、關係規程アル場合ハ其ノ規程等)

(四) 助成金交付規程又ハ交付條件

丁 第二第五號(四)ニ關スル事項

(一) 専任技術員ノ官職、氏名及俸給

(二) 道府縣廳トノ連絡ヲ特ニ緊密ナラシムル爲講ゼントスル措置ノ大要

六 第二第六號ニ關スル事項

甲 第二第六號(一)ニ關スル事項

(一) 助成金交付先及其ノ員數

助成率

(二) 助成金交付先ニ於テ實行セシメントスル事項及其ノ實施方法ノ大要

(三) 助成金交付先ノ事業ノ指導督勵ノ爲講ゼントスル措置ノ大要

(四) 助成金交付規程又ハ交付條件

乙 第二第六號(二)ニ關スル事項

(一) 促進獎勵施設(指導員活動促進ヲ除ク)ニ關スル事項

昭和十一年六月十六日農局第一八一七號「自給肥料改良増産及施用改善竝施肥標準調査獎勵」

ニ關スル農務局長通牒別記第一様式第一號三ニ準據スルコト

(二) 指導員活動促進ニ關スル事項

(イ) 直接事業ノ場合

(1) 指導員設置員數(總數及一町村平均數)

(2) 指導員ノ知識ノ向上及技術ノ鍊磨指導ノ爲講ゼントスル措置ノ大要

(ロ) 助成事業ノ場合

(1) 助成金交付先及其ノ員數

(2) 指導員設置員數(總數及一町村平均數)

(3) 助成率

(4) 指導員ノ知識ノ向上及技術ノ鍊磨指導ノ爲講ゼントスル措置ノ大要

(5) 助成金ノ交付規程又ハ交付條件

七 第二第七號ニ關スル事項

昭和十一年六月十六日農局第一八一七號「自給肥料改良増産及施用改善並施肥標準調査獎勵」ニ關スル農務局長通牒別記第一様式第一號四ニ準據スルコト

第二號 事業成績書

一 第二第一號ニ關スル事項

昭和十一年六月十六日農局第一八一七號「自給肥料改良増産及施用改善並施肥標準調査獎勵」ニ關スル農務局長通牒別記第一様式第二號一ニ準據スルコト

二 第二第二號ニ關スル事項

同上別記第一様式第二號二ニ準據スルコト

三 第二第三號ニ關スル事項

甲 第二第三號一ニ關スル事項

助成金ノ交付先及助成金ノ交付ヲ受ケテ設置セル堆肥製造場ノ基數及總坪數

乙 第二第三號二ニ關スル事項

助成金ノ交付先及助成金ノ交付ヲ受ケテ設備セル框型ノ組數

四 第二第四號ニ關スル事項

甲 第二第四號一ニ關スル事項

助成金ノ交付先及助成金ノ交付ヲ受ケテ設置セル灰溜槽ノ基數及灰ノ總收容量(貫單位)

乙 第二第四號二ニ關スル事項

助成金ノ交付先及助成金ノ交付ヲ受ケテ設備セル框型ノ組數

五 第二第五號ニ關スル事項

甲 第二第五號一ニ關スル事項

(一) 施肥基準設定基本調査成績ノ大要

(二) 施肥基準設定基礎資料

乙 第二第五號二ニ關スル事項

(一) 協議會開催回数及開催時期

(二) 協議決定事項ノ大要

丙 第二第五號三ニ關スル事項

(一) 助成金交付先員數

(二) 助成金交付先ニ於テ施行セル事業ノ大要

- 丁 第二第五號(四)ニ關スル事項
 - (一) 專任技術員ノ官職氏名及俸給
 - (二) 擔當セル業務ノ大要
- 六 第二第六號ニ關スル事項
 - 甲 第二第六號(一)ニ關スル事項
 - (一) 助成金交付先員數
 - (二) 助成金交付先ニ於テ實施セル事項及實施方法ノ大要
 - (三) 助成金交付先ノ事業ノ指導督勵實施成績ノ大要
 - 乙 第二第六號(二)ニ關スル事項
 - (一) 促進獎勵施設(指導員活動促進ヲ除ク)ニ關スル事項
 - 昭和十一年六月十六日農局第一八一七號「自給肥料改良増産及施用改善並施肥標準調査獎勵」ニ關スル農務局長通牒別記第一様式第二號三ニ準據スルコト
 - (二) 指導員活動促進ニ關スル事項
 - (イ) 助成金交付先員數(助成事業ノ場合ノミニ記載ノコト)
 - (ロ) 指導員設置員數(總數及一町村平均數)
 - (ハ) 指導員ノ知識ノ向上及技術ノ鍊磨ノ爲實施セル施設ノ實施成績ノ大要

七 第二第七號ニ關スル事項

- 昭和十一年六月十六日農局第一八一七號「自給肥料改良増産及施用改善並施肥標準調査獎勵」ニ關スル農務局長通牒別記第一様式第二號四ニ準據スルコト
- 八 前記諸施設實施ノ結果之ガ自給肥料改良増産及施用改善、重要農産物増産及農家經濟改善等農業上ニ及ボシタル效果(出來ルダケ統計資料及實例等ヲ以テ具體的ニ記載ノコト)
- 九 其ノ他參考トナルベキ事項

備考

實施シタル事業及其ノ分量ガ豫定シタルモノニ比シ著シク相異シタル場合ニハ其ノ理由ヲ明記ノコト

第三號 收支豫算書(收支決算書)

收入ノ部

費目	本年度(決算額)		前年度(豫算額)		比較増減	備考
	円	円	円	円		
國庫獎勵金						
實地指導地設置獎勵金						
綠肥原(採)種圃獎勵金						
綠肥種子購入配付獎勵金						

支出ノ部

費目	本年		比較	備考
	決算額	預算額		
實地指導地設置費			増	
實地指導地設置助成金			減	

根瘤菌培養配付獎勵金	
堆肥製造場設置獎勵金	
堆肥製造場築造用框型設備獎勵金	
灰溜槽設置獎勵金	
灰溜槽築造用框型設備獎勵金	
施肥基準設定基本調査獎勵金	
施肥基準設定道府縣協議會獎勵金	
施肥基準設定市町村協議會獎勵金	
施肥基準設定基本調査專任技術員設置獎勵金	
共同實踐獎勵金	
促進獎勵施設獎勵金	
指導督勵獎勵金	
道府縣負擔金	
其他收入	
計	

綠肥原(採)種圃設置費	
綠肥原(採)種圃設置助成金	
綠肥種子購入配付費	
綠肥種子購入配付助成金	
根瘤菌培養配付費	
堆肥製造場設置助成金	
堆肥製造場築造用框型設備助成金	
灰溜槽設置助成金	
灰溜槽築造用框型設備助成金	
施肥基準設定基本調査費	
施肥基準設定道府縣協議會費	
施肥基準設定市町村協議會助成金	
施肥基準設定專任技術員設置費	
共同實踐施設助成金	
促進獎勵施設費	
講習會費	
講習會費	
指導員活動促進費	
指導員活動促進助成金	
促進獎勵施設助成金	
講習會費	
講習會費	
指導員活動促進助成金	

(二) 肥料配給割當制度ニ關スル主ナル通牒等

指 合	雜 導	何	傭 督	雇 勵	通 助	印 成	信 計	旅 費	指 何	導 督	勵
金	費	何	料	給	費	費	費	費	何	費	費

(一) 肥料消費調整ニ關スル件

(昭和十三年二月廿三日
農第一九五三號次官通牒)

現下ノ非常時局ニ際シ銃後農村生活ノ安定及農業生産ノ確保ヲ圖ル爲農業生産上必須ノ物資ニシテ農家經濟上極メテ重要ナル地位ヲ占ムル肥料ニ關シ政府ニ於テハ自給肥料ノ生産ノ獎勵、臨時肥料配給統制法ノ施行其ノ他諸般ノ對策實施ニ付銳意努力シ居ル次第ノ處一面國力ヲ擧ゲテ對支國策ノ徹底的逐行ヲ圖ルノ必要上國家全般ノ財政經濟事情ハ輸入物資全般ニ亘リ各方面トモ極度ノ節約ヲ餘儀ナクセラルル情勢ニシテ肥料ニ付テハ其ノ重要性ニ鑑ミ特別ノ考慮ヲ拂フノ要アルコト言フ俟タズト雖モ此ノ際肥料及肥料原料ノ輸入數量モ能フ限り之ヲ節減スルハ國家非常ノ事態ニ應ジ已ムヲ得ザル所ニ有之結局昭和十三年ニ於ケル重要肥料ノ供給ハ疏安ニ付テハ大體其ノ需要ニ應ズベキ必要數量ノ供給ヲ確保スルモ過燐酸石灰及加里鹽ニ付テハ昭和十一年程度ノ數量ニ壓縮セラルベキコトト相成タルニ付右事態ニ對應シ之ガ配給ノ圓滑及價格ノ公正ヲ圖ル爲適當ナル消費調整ノ對策ヲ講ズルノ要有之候條此ノ際貴道府縣ニ於テハ自給肥料ノ生産獎勵ノ徹底ニ努ムルト共ニ管内ニ於ケル肥料消費ノ實情ニ應ジ各種ノ試驗成績ニ鑑ミ過燐酸石灰及加里鹽ノ消費ニ關シ其ノ合理的調整方ニ付機宜ノ措置ヲ講ゼラルル様致度依命此段及通牒候也

追而本件ニ關シテハ近ク當省ニ於テ係官ノ打合會ヲ開催シ實施上必要ナル事項ニ付協議致度意嚮ニ

(二) 臨時配合肥料ニ關スル件

昭和十三年十一月二日
農第一五七五號
農林次官發、地方長官宛

時局ノ進展ニ伴ヒ食糧生産及軍需農產物供給ノ確保等農業生産力ノ維持増進ヲ圖ルノ要愈々緊切ナルモノ有之政府ニ於テハ農業生産上必須ノ物資タル肥料ニ付テハ必要ナル供給ヲ確保シ其ノ配給ヲ圓滑ナラシムル爲諸種ノ措置ヲ講ジ居ル次第ノ處各般ノ情勢ニ鑑ミルニ近キ將來ニ於テ肥料需給關係ノ著シク改善セラルベキコトハ到底之ヲ期待シ難キ實情ナルヲ以テ此ノ際今後ノ事態ノ推移ニ應ジ肥料ノ供給數量ニ即應シテ其ノ配給ヲ計畫的ニ統制シ且其ノ消費ヲ合理的ニ調整スルノ組織ヲ整備スルヲ以テ農業生産確保上刻下ノ急務トスル次第ニ有之配給統制強化ノ方策トシテハ其ノ配給數量ニ付割當制度ノ實施ヲ考慮シ居ル處右割當制度ヲ實施スル場合ニ於テハ各主要肥料ニ付配合肥料トシテ配給セラルル部分ト單肥トシテ配給セラルル部分トノ合計量ニ付之ガ割當ヲ爲スノ方法ニ依ルコトヲ要スル儀ナルガ配合肥料ノ製造ヲ現狀ノ儘トスルニ於テハ到底右方針ニ依ル適當ナル割當數量ノ決定ハ不可能ナルノ實情ニ有之且一面肥料消費調整ノ趣旨ニ基キ肥料需給ノ狀勢ニ照ラシ配合肥料ノ設計内容ニ付考究ヲ要スル點モ有之此際現行ノ道府縣獎勵配合肥料及市販配合肥料ノ配給ハ一時見合セ之ニ代リ配給スベキ現下ノ非常時局ニ對應スル配合肥料ニ付研究シ置クノ必要有之候條別記要項ニ基キ右ノ趣旨

ニ依ル配合肥料ノ設計ヲ決定相成十一月二十日迄ニ當省ニ打合セ相成様致度此段及通牒候也

記

- 一 配合肥料ノ名稱ハ何々道府縣臨時配合肥料第何號トシ號數ハ通番號トスルコト
各號配合肥料ノ作物、土性及地域ニ對スル適應關係並ニ施用方法等ハ之ヲ明確ナラシムルノ措置ヲ講ズルコト
- 右ノ適應關係ニ付テハ當該配合肥料ヲ其儘二種以上ノ作物、土性又ハ地域ニ適應シ得ル場合其ノ關係ヲ明ニスルハ勿論消費者ニ於テ配給ヲ受ケタル後肥料成分ヲ補足スルコトニ依リ適應シ得ル作物、土性又ハ地域アル場合ニハ其ノ關係ヲモ明確ナラシムルコト
- 二 配合肥料ノ種類ハ之ヲ少カラシムル方針トシ可成十五種以内トスルコト
- 三 配合肥料ノ磷酸及加里ノ含有率ハ施肥上支障ナキ限リ其ノ節減ヲ圖ルコト
- 四 配合肥料ニ供用スル原料ノ種類及品位ノ限度並ニ其ノ使用量ヲ明示スルコト
- 五 配合肥料ノ表示成分量ニ付テハ前項ニ依リ算出スル成分量ニ幾分ノ餘裕ヲ見込ミ決定スルコト
- 六 配合原料トシテ有機質肥料ヲ使用スル場合ハ低廉豐富ナルモノヲ選擇スルコト

(三) 肥料配給割當制度ニ關スル件

戰時體制下ニ於テ農業生産力ノ維持増進ヲ圖リ食糧生産ノ確保、軍需農産物供出ノ適確ヲ期スルノ要極メテ緊切ナルモノアルハ言フ俟タズ之ガ爲ニハ農業經營上必須ノ物資タル肥料ノ供給ヲ確保シ其ノ配給ヲ適正ナラシムルヲ以テ最モ緊要ナリトス然ルニ時局ノ進展ニ伴ヒ肥料ノ需給關係ガ著シク改善セラルベキコトハ之ヲ期待シ難ク必要數量ノ確保ハ絶對ニ必要ナリト雖モ諸般ノ情勢ヨリ或程度ノ窮屈ヲ生ズルハ事情洵ニ已ムヲ得ザル所ナリ仍テ此ノ際農業生産確保ノ見地ヨリ肥料ノ供給數量ニ即應シテ其ノ配給ヲ計畫的ニ統制シ其ノ消費ヲ合理的ニ調整シ以テ國家全體トシテ最モ有效ニ肥料ヲ使用スルノ方法ヲ講ズルハ極メテ緊切ノ急務ナリトス

肥料配給割當制度ノ實施ハ右ノ趣旨ニ基クモノニシテ其ノ要項左ノ如シ

肥料配給割當制度要項

- 一 本制度ハ硫酸、石灰窒素、過磷酸石灰及加里鹽ニ付道府縣ニ對スル配給數量ノ割當ヲ爲スモノナルコト
- 二 道府縣ハ其ノ管内ニ於ケル次期（一月乃至七月及八月乃至十二月ヲ各一期トス）ノ硫酸、石灰窒素、過磷酸石灰及加里鹽ノ所要見込數量（單肥用及配合原料用ノ合計量）ヲ種類別ニ農林大臣ニ申

請スルコト

- 三 道府縣右ノ申請ヲ爲スニ付テハ管内ニ於ケル町村ヨリ次期ニ於ケル單肥配給用ノ硫酸、石灰窒素、過磷酸石灰及加里鹽並ニ配合肥料（道府縣ニ於テ農林大臣ノ承認ヲ經テ決定スル臨時配合肥料ノ銘柄別）ノ所要見込數量ヲ申告セシメ之ニ査定ヲ加ヘタル上配合肥料ニ付テハ其ノ原料タル硫酸、過磷酸石灰及加里鹽ノ數量ヲ算出シ單肥用ノ分及配合肥料用ノ分ヲ集計シテ提出スルコト
- 四 農林大臣ハ道府縣ノ申請數量ニ付過去ノ實績、將來ノ農産物生産見込等ヲ考慮シテ之ヲ査定シタル上次期ニ於ケル肥料ノ供給見込總數量ヲ基準トシテ道府縣ニ對スル硫酸、石灰窒素、過磷酸石灰及加里鹽ノ配給數量ノ割當ヲ決定スルコト
- 五 道府縣ハ其ノ割當ヲ受ケタル數量ニ付委員會ノ審議ヲ經テ單肥トシテ配給スベキ分ト配合肥料トシテ配給スベキ分トノ區分ヲ決定シ且ツ其ノ管内ニ於ケル配給ノ適正ヲ期スル爲各町村ニ於ケル單肥及配合肥料ノ消費可能數量ヲ定メ町村ヲシテ右數量ニ應ジ肥料消費ノ調整ヲ爲サシムルト共ニ一面配給機關ヲシテ當該町村ニ右數量ノ配給ヲ爲サシムル様適當措置スルコト
- 道府縣ニ於テ前項ニ依リ硫酸、過磷酸石灰及加里鹽ニ付單肥トシテ配給スベキ分ト配合肥料トシテ配給スベキ分トノ區分ヲ決定シタルトキハ遲滯ナク之ヲ農林大臣ニ報告スルコト
- 六 道府縣内ニ於ケル肥料ノ配給ニ付テハ産業組合系統ニ在リテハ既存ノ系統ニ依リ商人系統ニ在リテハ地方ノ實情ニ應ジ商業組合等適當ナル配給統制ノ組織ヲ整備セシメ其ノ配給ヲ統制セシムルコト

七 商人系統ニ依ルモノト産業組合系統ニ依ルモノトノ配給數量ハ各地方ノ實情ニ應ジ道府縣ニ於テ之ヲ定ムルモノトシ右ノ區分ハ配給ノ經過ニ徴シ必要アル場合ニ於テハ適宜之ヲ改訂スルモノトスルコト

八 割當制度ノ實施運用ニ付テハ全國ヲ通ズル中樞的配給統制機關ヲシテ政府監督ノ下ニ前記道府縣ニ對スル割當數量ニ即應シ道府縣ト緊密ナル連絡ヲ圖リ統制アル配給ヲ實施セシムルコト

九 中樞的配給統制機關ハ單肥用ノ分ハ道府縣ニ對スル割當數量ニ應ジ順次配給スルモノトシ配合原料用タルベキ分ハ配合肥料製造ニ關スル道府縣ノ證明書ニ基キ配給スルモノトスルコト

十 配合肥料ノ製造ハ當分ノ内道府縣ニ於テ農林大臣ノ承認ヲ受ケ決定スル十五種以内ノ臨時配合肥料ニ限ルモノトシ其ノ製造ハ道府縣ノ承認ヲ受ケタル者又ハ道府縣ノ承認セル注文ヲ受ケタル者ニ限り之ヲ爲シ得ルモノトスルコト

道府縣前項ノ承認ヲ爲シタルトキハ一定ノ證明書ヲ交付スルコト

十一 道府縣ニ於テ發行スル前項ノ證明書ハ産業組合系統ニ於テ配給スルモノニ在リテハ道府縣區域購買組合聯合會、商人系統ニ於テ配給スルモノニ在リテハ商業組合等道府縣ノ指定スル統制團體ノ申請ニ基キ之ヲ交付スルモノトスルコト

十二 道府縣商人系統ニ對シ前記證明書ヲ交付スルニ當リテハ從來當該道府縣ニ配給セラレタル配合

肥料ノ製造業者ニ過去ノ実績ニ應ジ製造ヲ爲サシムル様配合肥料製造承認申請書ニ注文先ヲ明示セシムル等適當ナル措置ヲ講ズルコト

商人系統ニ對スル右證明書ハ統制團體ニ對シ之ヲ交付スルコトトシ製造注文ハ統制團體ニ於テ自ラ之ヲ爲スモ團體員ニ於テ個々ニ注文ヲ爲サシムルコトトスルモ實情ニ應ジ便宜ナル方法ニ依ラシムルコト

十三 化成肥料ニ付テハ其ノ種類ヲ一定ノ範圍ニ限定スルト共ニ其ノ供用原料ノ供給ノ制限ヲ爲スコト

十四 朝鮮、臺灣向ノ肥料ニ付テハ關係官廳間ニ於テ協議セル所ニ基キ單肥ニ付テハ中樞的配給統制機關ヲシテ之ヲ統制セシメ配合肥料ニ付テハ外地官廳ノ發行セル證明書アル場合ニ限り其ノ製造移出ヲ認ムル等適當ナル統制方法ヲ講ズルコト

十五 本制度ノ實施ニ當リテハ道府縣、郡及市町村ノ委員會ヲ活用スルト共ニ系統農會ノ活動ヲ促進シテ施肥ノ指導ノ徹底ヲ圖リ消費ノ合理的調整ニ努メ以テ本制度ノ適正圓滑ナル運用ヲ期スルコト

化成肥料ニ關スル件

一 化成肥料ニ付テハ左ニ該當スルモノニ限り其ノ製造配給ヲ爲シ得ルモノトスルコト

(イ) 窒素及磷酸ヲ含有シ其ノ成分合計量二十五「パーセント」以上ノ化成肥料ニシテ窒素一〇ニ對スル磷酸ノ比率一〇以下ナルモノ

(ロ) 窒素、磷酸及加里ヲ含有シ其ノ成分合計量二十五「パーセント」以上ノ化成肥料ニシテ窒素一〇ニ對スル加里ノ比率五以下ナルモノ

(ハ) 特殊燐礦ノ利用ヲ主タル目的トスル化成肥料又ハ副産物トシテ生産セラルル化成肥料ニシテ農林大臣ノ承認アリタルモノ

二 前項ノ化成肥料ノ配給ハ之ヲ割當制ノ範圍外トシイ及ロニ關シテハ其ノ原料供給ニ付大體從來ノ実績ヲ基礎トシ適宜之ヲ定ムルコト

三 第一項以外ノ化成肥料ノ製造配給ハ當分ノ内之ヲ見合スコトトスルモ割當制實施ニ關シテハ其ノ從來ノ製造実績又ハ取扱実績ヲ夫々配合肥料ノ製造実績又ハ取扱実績トシテ處理スルコト

四 道府縣臨時配合肥料ノ製造ニ付テハ道府縣ノ承認アリタル場合ニハ化成的製造方法ヲ採用シ得ルモノトスルコト但シ其ノ製品價格ニ付テハ普通ノ製法ニ依ルモノトノ差異ヲ認メザルモノトスルコト

(參考)

○農林計畫委員會肥料配給調整部會答申

肥料配給調整方策ニ關シ當局提出ノ別紙肥料配給割當制度要項案ニ付慎重審議ヲ遂ゲタル處此ノ際可

成速ニ左記希望條項ノ趣旨ヲ參酌シ右要項ニ依リ肥料配給ノ統制ヲ實施スルヲ適當ト認メ候條此段及答申候也

記

一 道府縣ニ對スル割當數量ノ決定ニ當リテハ道府縣ヨリ所要見込數量ヲ徵スルノ外過去ニ於ケル消費実績ヲモ報告セシムルコトトシ中央ニ於テハ彼此較量ノ上道府縣提出ノ所要見込數量ノミニ依ルコトナク諸種ノ事情ヲ參酌シ適當ナル査定ヲ行フ様取計フコト

二 從來ノ市販配合肥料ニシテ其ノ成分内容ガ道府縣決定ノ臨時配合肥料ト同一又ハ近似セルモノ(臨時配合肥料ノ成分量ニ對シ各成分ニ付其ノ差ガ臨時配合肥料ノ保證成分量ノ一割以内ニシテ一〇以下ナルモノ)アルトキハ當該臨時配合肥料ヲ製造配給スル場合「何縣臨時配合肥料第何號」ナル表示ノ外ニ右ノ同一又ハ近似セル從來ノ市販配合肥料トノ同一性又ハ近似性ヲ適當ナル方法ニ依リ表示スルコトヲ認ムルコト

三 臨時配合肥料ノ設計ニ關シテハ此ノ際有機質肥料ノ需給關係、其ノ價格昂騰等ノ事情ニ鑑ミ有機質肥料ノ含有量ノ點等注意スベキ事項ヲ道府縣ニ通牒シ其ノ申請ニ基キ更ニ檢討スルコト

昭和十四年二月九日

農林計畫委員會會長 櫻 內 幸 雄

農林大臣 櫻 內 幸 雄 殿

別紙（肥料配給割當制度ニ關スル件）省略

（四）肥料配給割當制度ニ關スル件

（昭和十四年三月二十五日）
農林次官、商工次官發、地方長官宛

肥料配給割當制實施ニ關シテハ差當リ本年七月迄ノ時期ニ於テハ各種肥料ノ中樞配給機關ヲシテ政府監督ノ下ニ道府縣別配給統制ヲ圖ルコトトセルハ三月七日附通牒セル次第ノ處今般三月二十五日附農林商工省令第二號肥料配給統制規則公布相成肥料價格取締ニ關スル規定ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行スルト共ニ不取敢四月十五日ヨリ地方長官ノ指定スル臨時配合肥料及同規則第一條各號ニ掲グルモノノ外賣渡ノ目的ヲ以テ配合肥料及化成肥料ノ製造ヲ爲スコトヲ得ザルモノトシ本年八月以降ノ分ヨリハ別紙肥料配給割當制度要項ニ依リ割當制實施ノコトニ決定相成候條左記事項御諒知ノ上現下ノ肥料事情ニ鑑ミ本制度實施ノ目的達成ノ爲格段ノ御配意相成度依命此段及通牒候也

追而左記事項ノ外本制度實施上注意スベキ事項ニ付テハ更ニ通牒可致ニ付御含置相成度申添候

記

- 一 臨時配合肥料ハ客年十一月二日附農林次官通牒ニ基キ設定セルモノニ依ルコト
- 二 從來ノ市販配合肥料（化成肥料ヲ含ム）ニシテ其ノ成分内容ガ臨時配合肥料ト同一又ハ近似セルモノ（臨時配合肥料ノ成分量ニ對シ各成分ニ付其ノ差ガ臨時配合肥料ノ保證成分量ノ一割以內ニシ

テ一・〇以下ナルモノ）アルトキハ臨時配合肥料ノ名稱ノ表示ノ外ニ右ノ同一又ハ近似セル市販配合

肥料トノ同一性又ハ近似性ヲ表示スルコトハ支障ナキモノトスルモ其ノ表示ハ從來當該配合肥料ノ製造ヲ爲シタル者ニ限り之ヲ認ムルコトトシ其ノ表示方法ハ地方長官ノ承認ヲ受ケシムルコト

右表示方法ニ付テハ同一ノモノニ在リテハ容器ノ外部（裏面）ニ臨時配合肥料第何號ナル表示文字ヨリモ小文字ヲ以テ從來ノ名稱ヲ表示スル程度トシ近似ノモノニ在リテハ臨時配合肥料トノ異動ヲ明確ナラシメタル上施用法記載票箋トハ別ノ票箋ニ從來ノ名稱ヲ表示スル程度トスルコト

- 三 肥料取締法ニ依ル臨時配合肥料ノ製造認可ニ當リテハ從來化成肥料ノ製造實績ヲ有スル者ニ限り第二法トシテ化成的製造方法ヲ認ムルモ差支ナキコト

四 肥料配給統制規則第十一條ノ運用ニ付テハ追而當省ノ指示ニ依リ措置スベキコト

五 貴道府縣内ニ搬入セラレタル肥料ノ他道府縣ヘノ搬出其ノ他肥料ノ移動ニ關シ必要アルトキハ適當ナル方法ニ依リ取締措置ヲ講ズルコト

六 貴道府縣ニ於ケル商人系統ニ依ルモノト産業組合系統ニ依ルモノトノ配給數量ハ現在（最近一年）ノ取扱實績ヲ基準トシ當該地方ニ於ケル配給上ノ實情ヲ考慮シテ最モ圓滑適正ニ配給ヲ期シ得ル様兩者ノ取扱區分ヲ決定スルコト

七 從來當該道府縣ニ配給セル實績アル者ハ他ノ道府縣ノ者ト雖モ當該道府縣ノ商業組合其ノ他地方長官ノ指定スル統制團體ニ加入セシメ其ノ取扱數量ヲ公平ニ決定スルコト

八 商人系統ノ指定團體ニ付テハ此ノ際各地方ノ實情ニ應ジ速ニ道府縣ヲ區域トスル卸商業組合ノ整備ヲ圖ル等統制ノ實力アル團體ノ結成ヲ促進シ本規則ニ依ル統制實施ニ遺憾ナカラシムルコト

九 本年八月乃至十二月ノ期間ニ於ケル貴道府縣ノ所要見込數量(當期消費見込數量ノ外次期ニ於ケル消費ノ爲當期ニ配給ヲ要スル數量アルトキハ之ヲ區分スルコト)ニ付テハ肥料配給割當制度要項ニ依リ取纏ノ上本年五月十日迄左ノ様式ニ依リ當省ニ提出スルコト

(様式) 略

(五) 臨時配合肥料ノ製造原料ニ關スル件

(昭和十四年四月二十八日) 肥料統制課長發、縣經濟部長宛

標記ノ件ニ關シ本日附電報ヲ以テ原料使用ニ關シ代用又ハ併用願出ニ對シテハ貴官限り速カニ處理相成度旨申進候處右代用又ハ併用ヲ認メタル場合ハ直ニ關係府縣へ通知相成度重而申進候也

(六) 肥料配給割當制度ニ關スル件

(昭和十四年五月四日) 一四對部第一四二〇號(一四商局) 第一二二七號(農林省臨時農村對策部長) 商工省商務局長發、知事宛

標記ノ件ニ關シ三月二十五日附一四農第四〇八八號、一四統制第三二四四號ヲ以テ農林、商工兩次官ヨリ通牒相成候處肥料配給割當制度實施上左記事項ニ付テモ御了知ノ上遺憾ナキヲ期セラレ度此段及

通牒候也

記

- 一 道府縣ニ於ケル商人系統ノ統制團體ニ付テハ中樞配給機關ト直接取引ヲ爲シ得ルノ實力アルモノヲ指定スルヲ最モ適當トスル次第ノ處右指定ノ手續ハ此ノ際至急之ヲ取運バレ豫メ各肥料ノ中樞配給機關トモ聯絡ヲ圖リ遺憾ナキヲ期セラレ度其ノ指定ヲ爲シタルトキハ其ノ旨當省ニ報告スルコト
- 二 養蠶特約組合ヲ對照トシテ肥料ヲ配給スル製絲業者ハ之ヲ卸商業組合等指定團體へ加入スルコトヲ認ムルコト
- 三 化成肥料ノ製造ハ從來產業組合ニ於テハ之ヲ爲シ居ラザル處商業組合ニ於テ化成肥料ノ製造ヲ爲スコトハ制度上穩當ナラザルニ依リ今後其ノ製造ハ禁止スル様指導セラレ度キコト尙其ノ他ノ肥料ノ製造ニ付テモ臨時配合肥料以外ノモノ、製造ニ付テハ品質保全上遺憾無之様豫メ届出承認ヲ受ケシムル等充分指導セラレ度キコト

(七) 臨時配合肥料買入、製造許可及證明書等ノ様式ニ關スル件

(昭和十四年六月九日) 一四對部第一七九二號(農林省臨時農村對策部長) 一四統制第五二三號(農林省臨時農村對策部長) 商工省統制局長發、知事宛
昭和十五年七月六日) 一五對第二六四〇號改正

肥料配給統制規則第三條乃至第五條、第八條及第九條ノ規定ニ依ル臨時配合肥料ノ買入、製造許可申請及之ガ許可並ニ原料使用許可證明及賣渡並ニ製造報告等別紙様式ニ依リ御取扱相成度及通牒候也

一 肥料配給統制規則第三條ニヨル許可申請書様式

臨時配合肥料買入許可申請ノ件

臨時配合肥料ヲ賣渡ノ目的ヲ以テ買入致度肥料配給統制規則第三條ノ規定ニ依リ別紙明細書ニ通相添申請仕候間御許可相成度此段及御願候也

年 月 日

住 所

氏 名 又 ハ 名 稱 印

地 方 長 官 宛

臨時配合肥料買入明細書

(一) 臨時配合肥料ノ種類別受入豫定期別數量及製造方法

計	肥料名稱	受入豫定期別數量		製造方法
		受入豫定期(月別)	數量(噸)	
計				

(二) 臨時配合肥料ノ種類別配給豫定先別及賣渡豫定期別數量

計	肥料名稱	配給豫定先別數量		賣渡豫定期(月別)
		配給豫定先(市町村名)	數量(噸)	
計				

(三) 臨時配合肥料製造ニ要スル硫酸アンモニア、過磷酸石灰及加里鹽ノ種類別數量(單位貫)

計	原料名稱	肥料名稱		
		硫酸アンモニア(過磷酸石灰(可溶)九七%)	過磷酸石灰(可溶)六%	過磷酸石灰
計				

(四) 買入申込先(製造業者又ハ配合肥料製造業組合)住所氏名

備考

- 一 (三) ニ於テ入目分及缺貫分トシテ千分ノ十五ヲ加算スルコト但シ其ノ數量ハ括弧シテ併記スルコト
- 二 (四) ニ付キ注文者ガ製造業者又ハ配合肥料製造業組合ヨリ直接買入レザル場合ハ其ノ中間取扱業者ノ住所氏名ヲモ併記スルコト

二 肥料配給統制規則第五條ニヨル許可申請書様式

臨時配合肥料製造原料使用許可申請ノ件

肥料配給統制規則第二條但シ書ノ規定ニ依リ臨時配給肥料ノ製造原料トシテ硫酸アンモニア、過磷

酸石灰及加里鹽ヲ使用致度候條御許可相成度同規則第五條ノ規定ニヨリ別紙明細書二通相添此段及御願候也

年 月 日

住 所

氏名又ハ名稱 印

地 方 長 官 宛

(一) 臨時配合肥料製造原料使用明細書
臨時配合肥料ノ種類別製造豫定時期別數量及製造方法

計	肥料名稱	製造豫定時期別數量		製 造 方 法
		製造豫定期(月別)數	量(噸)	

(二) 臨時配合肥料ノ種類別賣渡豫定先別及賣渡豫定時期別數量

計	肥料名稱	賣 渡 豫 定 先 別 數 量		賣 渡 豫 定 時 期 (月別)
		賣渡豫定先(市町村名)數	量(噸)	

(三) 硫酸アンモニア、過磷酸石灰及加里鹽ノ種類別使用豫定數量(單位貫)

計	原料名稱	肥料名稱		
		硫 酸 安 蒙 尼 亞	過 磷 酸 石 灰 (可 溶 九 七 ٪)	過 磷 酸 石 灰 (可 溶 一 六 ٪)

備 考

(三)ニ於テ入目分及缺貫分トシテ千分ノ十五ヲ加算スルコト但シ其ノ數量ハ括弧シテ併記スルコト

三 肥料配給統制規則第三條ニヨル許可申請ニ對スル許可書様式
許可番號甲第 號

縣 名 印

申 請 者 宛

臨時配合肥料買入許可ノ件

年 月 日 附申請ノ件別紙明細書ノ通許可ス仍テ別紙原料使用許可證明書ヲ交付ス

別 紙

本紙ハ許可申請ノ際添附提出セル明細書二通ノ内一通ヲ利用スルコト

四 肥料配給統制規則第五條ニヨル許可申請ニ對スル許可書様式

許可番號乙第 號

年 月 日

申請者宛

臨時配合肥料製造許可ノ件

年 月

日附申請ノ件別紙明細書ノ通許可ス仍テ別紙原料使用許可證明書ヲ交付ス

別紙

本紙ハ許可申請ノ際添附提出セル明細書二通ノ内一通ヲ利用スルコト

五 肥料配給統制規則第四條ニ依ル證明書様式

臨時配合肥料用原料使用許可證明書

許可番號甲第	號	臨時配合肥料用原料使用許可證明書	
申請者氏名		申請者ノ受入豫定期	製造業者氏名 又ハ配合肥料製造業組合
肥料名稱	製造數量(噸)		
右製造ノ爲「 <small>〇〇〇〇</small> 必要ナルコトヲ證明ス			
年 月 日		縣	名 印

縣 名 印

注意

- 一 「〇」内ニハ原料名稱ヲ記入ノコト
- 二 證明書ハ硫酸アンモニア、過燐酸石灰、加里鹽別ニ交付ノコト但シ過燐酸石灰及加里鹽ハ銘柄別ニ必要數量ヲ明記スルコト
- 三 用紙ハ和紙標準規格B五ノ半截薄物トスルコト

六 肥料配給統制規則第五條第二項ニヨル證明書様式

臨時配合肥料用原料使用許可證明書

許可番號乙第	號	臨時配合肥料用原料使用許可證明書	
申請者氏名		製造豫定期	
肥料名稱	製造數量(噸)		
右製造ノ爲「 <small>〇〇〇〇</small> 必要ナルコトヲ證明ス			
年 月 日		縣	名 印

注意

- 一 「〇」内ニハ原料名稱ヲ記入ノコト
- 二 證明書ハ硫酸アンモニア、過燐酸石灰、加里鹽別ニ交付ノコト但シ過燐酸石灰及加里鹽ハ銘柄別ニ必要數量ヲ明記スルコト
- 三 用紙ハ和紙標準規格B五ノ半截薄物トスルコト

七 肥料配給統制規則第八條ニヨル報告書様式

年 月 日

住 所

氏名又ハ名稱 ㊦

地 方 長 官 宛

臨時配合肥料受入並賣渡數量報告ノ件

肥料配給統制規則第八條ニ依リ 月中ニ於ケル臨時配合肥料ノ種類別買入先受入數量、賣渡數量及月末在庫數量左記ノ通及報告候也

記

(一) 臨時配合肥料ノ種類別買入先(製造業者又ハ配合肥料製造業組合)別受入數量

計	肥料名稱	買入先(製造業者又ハ配合肥料製造業組合)別受入數量(噸)	
		氏名又ハ名稱	數量

(二) 臨時配合肥料ノ種類別賣渡數量及月末在庫數量

八 肥料配給統制規則第九條ニヨル報告書様式

年 月 日

住 所

氏名又ハ名稱 ㊦

地 方 長 官 宛

臨時配合肥料製造並賣渡數量報告ノ件

肥料配給統制規則第九條ニ依リ 月中ニ於ケル臨時配合肥料製造數量、賣渡先別賣渡數量及月末在庫數量左記ノ通及報告候也

記

(一) 臨時配合肥料ノ種類別製造數量、賣渡先別賣渡數量及月末在庫數量
 (二) 肥料配給統制規則第二條ノ買入申込ヲ受ケテ製造ノ場合

肥料名稱	製造數量(噸)	賣渡先別數量		月末在庫數量(噸)
		賣渡先(氏名又ハ名稱)	賣渡數量(噸)	
計				

(二) 肥料配給統制規則第五條ノ許可ヲ受ケテ製造ノ場合

肥料名稱	製造數量(噸)	賣渡先別數量		月末在庫數量(噸)
		賣渡先(市町村名)	賣渡數量(噸)	
計				

(八) 肥料等縣外搬出制限ニ關スル
縣令發布許可申請ノ件

昭和十五年一月二十二日
臨時農村對策部長發、地方長官宛

標記ノ件ニ關シ香川縣知事ヨリ別紙甲號ノ通照會アリタルニ對シ別紙乙號ノ通回答致候條御了知相成度此段及通牒候也

追而肥料ノ縣外搬出ニ關シ制限ヲ設ケラレタルモノアルトキハ其ノ詳細報告相成度
甲 號

一四發農祕第七七號

昭和十四年十二月十三日

香川縣知事 藤岡長敏 印

農林大臣 伯爵 酒井忠正 殿

肥料等縣外搬出制限ニ關スル縣令發布許可申請ノ件

臨時肥料配給統制法ニ依リ重要無機質肥料ノ配給割當制實施セラレ其ノ配給數量ハ一定量ニ制限相成候處本縣割當量ハ從來ノ消費実績ヨリモ相當量減少致居候ニ付テハ統制外肥料ノ供給ヲ確保スルコト最モ緊要ト被存候然ルニ最近縣内生産及縣外ヨリ購入シタル之等肥料ノ縣外搬出量急激ニ増加セムトスル傾向ニ在リ之ヲ此ノ儘放任スルトキハ本縣農產物増産計畫ニ多大ノ支障有之候ニ付テハ統制外肥料(飼料及肥料ニ使用セラルルモノヲ含ム)ノ縣外搬出制限ニ關シ別紙ノ通縣令公布致度候條至急御詮議ノ上御許可相成度此段及申請候也

(別紙) 略

乙 號

一四對第五七二三號

昭和十五年一月二十二日

農林省臨時農村對策部長

香川縣知事殿

肥料等縣外搬出制限ニ關スル縣令發布許可申請ノ件

客年十二月十三日附一四發農秘第七七號ヲ以テ首題ノ件ニ關シ照會相成候處右ハ肥料ノ縣外搬出制限ニ當リ眞ニ當該府縣ニ於テ消費スル爲搬入セラレ又ハ生産セラレタルモノニ付之ヲ確保スル如ク運用セラルルニ於テハ勿論不可無之儀ナルモ實際問題トシテ各府縣ニ於テ斯ル制限ヲ實施シタル場合果シテ右ノ如キ遺憾無キ運用ヲ期セラルルヤ却テ肥料ノ偏在ヲ來ス惧ナシトセザル様被存候ニ付御來示ノ如キ制度ハ之ヲ見合セラレ度此段及回答候也

追而現在統制外ニアル肥料ニ付テモ重要ナルモノニ付テハ順次統制ヲ實施スル見込ニ付申添候

(九) 特殊化成肥料ニ關スル件

(昭和十五年二月一日一五對部第三二二號) 臨時農村對策部長發、知事宛

肥料配給統制規則第一條第三號ニ該當スル特殊燐礦石ノ利用ヲ主タル目的トシテ製造スル化成肥料ノ認許ニ關シテハ爾今肥料名稱中ニ「特殊化成」ナル文字ヲ附セシムルコトニ御取扱相成度此段及通牒候也

追而既往認許ノ右種化成肥料ノ名稱ニシテ右ニ適合セザルモノニ付テハ至急之ヲ變更セシメタル上其ノ狀況御報告相成度

(十) 臨時配合肥料製造原料タル大豆油粕ニ關スル件

(昭和十五年二月九日一五對部第四〇五號、臨時農村對策部長發、知事宛) 昭和十五年七月六日一五對部第四〇五號、改正

有機肥糧配給株式會社ハ昭和十五年二月一日ヨリ事業開始致候處右會社ノ取扱ニ關聯シ大豆油粕ヲ製造原料トセル臨時配合肥料ノ買入又ハ製造ニ付テハ不取敢左記ニ依ルコトト相成候條至急可然御手配相煩度此段及通牒候也

追而大豆油粕ノ應急的配給等ニ關シテハ別途通牒ノ豫定ニ有之申添候

記

- 一 臨時配合肥料製造原料用大豆油粕ニ付テハ今後肥料配給統制規則第三條及第四條ニ定ムル方法ニ準ジ臨時配合肥料ノ買入申込者ヲシテ其ノ原料用大豆油粕ノ所要數量ニ付左ノ様式ニ依ル證明願ヲ提出シ以テ貴廳ノ證明ヲ受ケシメ貴廳ニ於テハ右ノ證明ニ當リ左ノ様式ニ依ル證明書ヲ買入申込者ニ交付スルモノトス
- 二 買入申込者ハ前項ノ證明書ヲ當該臨時配合肥料ノ注文先ニ交付スルコトトシ臨時配合肥料ノ製造原料用大豆油粕ヲ有機肥糧配給株式會社ヨリ購入スル場合ハ右ノ證明書ヲ更ニ有機肥糧配給株式會社ニ提示スルモノトス
- 三 第一項ノ證明書ノ寫ハ之ヲ貴廳ヨリ直接有機肥糧配給株式會社ニ送付スルモノトス

四 肥料配給統制規則第四條ノ規定ニ依リ臨時配合肥料用原料使用許可證明書ヲ既ニ發行シタル分ニ付テハ當該證明書中ノ「申請者ノ受入豫定期期」ガ二月一日以降ノ日附ノモノニ對シテハ製造者ニ於ケル原料手配ノ狀況ヲ考慮ノ上遡及シテ第一項ノ證明ヲ爲スモ差支ヘナキモノトシ尙一月三十一日以前ノ日附ノモノト雖モ特殊ノ事情ニ在ルモノハ之ガ處置方ニ付當省ト打合相成ルコト

五 肥料配給統制規則第二條但書ノ場合ニ於テ同則第五條ノ規定ニ依リ肥料製造者ニ對シ交付スル大豆粕ヲ原料トスル臨時配合肥料ノ原料使用許可證明書ニ付テハ一乃至四ニ準ズルコト

(様式)

臨時配合肥料原料用大豆油粕所要數量證明願

左記事項證明相成度此段及御願候也

年 月 日

住所 氏名

道府縣知事(長官)殿

記

許可番號甲(乙)第 號

申請者氏名

肥料名稱	製造數量	大豆油粕(玉)所要量	浸出大豆油粕所要量	申請者ノ受入(製造)豫定期期	製造業者氏名又ハ配合肥料製造業組合
	噸	〇〇〇〇	〇〇〇〇		

備考

浸出大豆油粕所要量ハ之ヲ大豆油粕(玉粕)ヲ以テ代用スルコトアルベシ

右ノ通大豆油粕(浸出大豆油粕)必要ナルコトヲ證明ス

年 月 日

縣 名 印

記載上ノ注意

- 一 許可番號、申請者氏名、申請者ノ受入(製造)豫定期期、製造業者氏名又ハ配合肥料製造業組合ハ肥料配給統制規則第四條(第五條第二項ノ規定ニ依リ準用セララル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依リ交付シタル證明書ノ該當記載事項ト同一ノモノヲ記載スルコト
- 二 大豆油粕及浸出大豆油粕所要數量ニハ入目及缺貫分トシテ千分ノ二十ヲ加算スルコト但シ其ノ數量ハ括弧シテ併記スルコト
- 三 用紙ハ和紙日本標準規格B四薄物トシ之ヲ半折シテ用フルコト

(十一) 大豆油粕應急的配給措置ニ關スル件

(昭和十五年二月二十七日一五對)
第八八八號次官發、知事宛)

昭和十五年一月三十日附ヲ以テ有機肥糧配給株式會社ニ對シ二月一日ヨリ大豆油粕及移入鯉搾粕ノ配給統制上必要ナル事業ヲ行フベキコトヲ命令相成候ニ付テハ現下ノ肥料及飼料事情ニ鑑ミ右ノ配給統制ニ對應シ不取敢大豆油粕ニ付昭和十五年一月乃至七月ノ期間ニ於ケル各道府縣ニ對スル配給數量ヲ調整スルト共ニ之ガ配給價格ヲ公定スル見込ニ有之尙移入鯉搾粕ニ付テハ之ガ供給狀況ヲ考慮シ適時各道府縣ニ之ヲ配給スル見込ニ有之候條左記事項御了知ノ上貴管下ニ於ケル之ガ配給ノ指導監督ニ萬全ヲ期セラレ度此段及通牒候也

記

一 大豆油粕及移入鯉搾粕(配合肥料及配合飼料ノ製造原料用ノモノヲ除ク)ハ有機肥糧配給株式會社ヨリ第一次配給機關(全購聯及指定店)ヲ經由シ各道府縣ニ配給スルヲ以テ各道府縣ニ於テハ產業組合系統ハ縣購聯、商人系統ハ既存ノ統制團體ヲシテ第二次配給機關タラシムルコトトシ商人系統ノ場合ニ於テ右ニ依リ難キ場合ハ差當リ大豆油粕、鯉搾粕ノ取扱實績ヲ有スル商人團體ヲ整備セシメテ配給統制機關タラシムルコト
尙軍用保護馬增飼用ノ大豆油粕ニ關シテハ差當リ右ノ配給系統ニ依ルコトトシ尙其ノ第二次配給機

關ハ其ノ系統ニ屬スル產業組合又ハ商人ニシテ軍用保護馬增飼用大豆油粕ノ取扱ヲ爲スベキモノトシテ地方長官ノ指定シタルモノヲシテ之ガ取扱ヲ爲サシムルモノトスルコト

二 昭和十五年二月乃至七月ノ期間ニ於ケル各道府縣ニ對スル大豆油粕ノ配給割當數量ハ差當リ二月分ニ付テハ曩ニ通牒シ更ニ三月分以降ニ付テハ近ク之ヲ通知スベキモ右數量ノ配給ノ實施ニ付テハ大豆油粕ノ供給狀況ヲ考慮シ當省指圖ノ下ニ有機肥糧配給株式會社ニ於テ順次配給スルモノトスルコト

(十二) 肥料配給ニ關スル件

(昭和十五年三月一日一五對部)
第六四四號臨時農村對策部長發、知事宛)

肥料配給ニ付テハ種々御高配相成居リ候處實需期ノ切迫セル折柄出荷指圖ノ遲延等ニ基キ配給ノ不圓滑ヲ來シ延テハ施肥ニ支障ヲ來スガ如キ事例少ナカラズ斯クテハ此ノ重大時局ニ際シ眞ニ遺憾ニ堪ヘズ候ニ就テハ左記事項ノ勵行方此際特ニ御留意相成肥料配給上萬遺憾ナキヲ期セララル様致度此段及通牒候也

記

一 出荷指圖ハ各中樞機關ヨリ賣出ノ都度速ニ道府縣聯及商業者系統肥料配給統制團體ヨリ之ヲ爲サシムルコト

- 二 貴管下統制團體ノ内部ニ於ケル取扱數量ノ割當等ノ決定遲延ノ爲中樞機關ニ對スル出荷指圖ノ遲延ヲ生ジ又ハ正當ノ理由ナクシテ現物引取ノ遲延ヲ生ジタル場合其ノ他中間配給機關ニ於テ現物ノ配給ヲ停滯セシムルガ如キ場合等アルニ於テハ曩ニ決定報告アリタル産業組合及商人ノ取扱比率等ニ拘ラズ直ニ配給上適切ナル臨機ノ處置ヲ斷行シ苟モ農家ニ對スル受渡遲延ノ爲施肥ニ支障ヲ生ゼシムルガ如キコトナカラシムルコト
- 三 市町村割當數量ノ中商人系統配給分ニ付テハ具體的ニ當該市町村ニ對スル配給者ヲ指定シ其ノ氏名及月別配給量ヲ當該市町村ニ通知スル等連絡上遺憾ナカラシメ以テ配給ノ的確ヲ期スルコト
- 四 實際ノ配給ニ當リテハ郡市農會駐在肥料配給統制職員ヲ督勵シ、市町村農會ト密接ナル聯絡ヲトラシメ配給業者ニ對スル指導監督ニ遺憾ナキヲ期スルコト

(十三)

臨時配合肥料製造原料タリ
鱈搾粕ニ關スル件

昭和十五年三月二十三日 一五對
 部第九七號臨時農村對策部長發、知事宛
 昭和十五年七月六日 一五對
 第九七號 改 正

大豆油粕ヲ製造原料トセル臨時配合肥料ノ買入又ハ製造ノ手續ニ關シテハ曩ニ二月九日附一五對部第四〇五號ヲ以テ通牒相成候處鱈搾粕ノ配給割當實施ニ伴ヒ有機肥糧配給株式會社ノ取扱ヒタル鱈搾粕ヲ原料トセル臨時配合肥料ニ對シテモ同様ノ手續ヲ定ムル必要有之ニヨリ今般右臨時配合肥料ノ買入又ハ製造ニ付テハ不取敢左記ニ依ルコトト決定致候ニ付至急可然御手配相成度此段及通牒候也

記

- 一 有機肥糧配給株式會社ヨリ購入スベキ臨時配合肥料製造原料用鱈搾粕ニ付テハ其ノ臨時配合肥料ノ買入申込者ヲシテ右ノ原料用鱈搾粕ノ所要數量ニ付左ノ様式ニ依ル證明願ヲ提出シ以テ貴廳ノ證明ヲ受ケシメ貴廳ニ於テハ其ノ證明ニ當リ當省ヨリ貴縣ニ對シ割當タル鱈搾粕ノ數量ノ範圍内ニ於テ左ノ様式ニ依ル證明書ヲ買入申込者ニ交付スルモノトス
- 二 買入申込者ハ前項ノ證明書ヲ當該臨時配合肥料ノ注文先ニ交付スルコトトシ之ヲ受取リタル注文先ハ更ニ之ヲ有機肥糧配給株式會社ニ提示スルモノトス
- 三 第一項ノ證明書ノ寫ハ之ヲ貴廳ヨリ有機肥糧配給株式會社ニ送付スルモノトス
- 四 肥料配給統制規則第二條但書ノ場合ニ於テ同則第五條ノ規定ニ依リ肥料製造者ニ對シ交付スル臨時配合肥料用原料使用許可證明書ニ付テハ一乃至三ニ準ズルコト

(様式)

臨時配合肥料原料用鱈搾粕所要數量證明願

左記事項證明相成度此段及御願候也

年 月 日

住所

氏名

道府縣知事(長官)殿

記

許可番號甲(乙)第 號

申請者氏名

肥料名稱	製造數量	鹽搾粕所要量	申請書ノ受入 (製造)豫定期	製造業者氏名又ハ 配合肥料製造業組合
		噸 〇〇〇〇〇		

右ノ通鹽搾粕必要ナルコトヲ證明ス

年 月 日

縣

名

印

記載上ノ注意

- 一 許可番號、申請者氏名、申請者受入(製造)豫定期、製造業者氏名又ハ配合肥料製造業組合ハ肥料配給統制規則第四條(第五條第二項ノ規定ニ依リ準用セラル、場合ヲ含ム)ノ規定ニ依リ交付シタル證明書ノ該當記載事項ト同一ノモノヲ記載スルコト
- 二 鹽搾粕所要數量ニハ入目及缺貫分トシテ千分ノ二十ヲ加算スルコト但シ其ノ數量ハ括弧シテ併

記スルコト

三 用紙ハ和紙日本標準規格B四薄物トシ之ヲ半折シテ用フルコト

(十四) 移入鹽搾粕ノ配給機構ニ關スル件

(昭和十五年四月十三日一五對部第一三〇二號、臨時農村對策部長發、知事宛)

昭和十五年三月二十三日附ヲ以テ通牒致置候三、四月第一回分ノ移入鹽搾粕配給割當數量ノ配給ニ付テハ曩ニ一五第八八八號ヲ以テ農林次官通牒相成候處ニ依リ處理相成居ルコトト存候處差當リ此ノ際移入鹽搾粕ノ配給ヲ取急グ爲商人系統ニ於テハ該商品ノ從來ノ取引系統ヲ通ジテ之ヲ行フヲ適當ト認メラレ候條左記事項御諒知ノ上至急可然御手配相成様致度此段及通牒候也

記

- 一 朝鮮產鹽搾粕ニ付テハ三菱商事株式會社ヲ、同粉末ニ付テハ三菱商事株式會社、日本油脂株式會社及三井物產株式會社ヲ第一次配給機關トシ同機關ヲ通ジ各道府縣ニ配給シ、各道府縣ニ於テハ既存ノ統制團體内ニ朝鮮產鹽搾粕及同粉末ノ取扱實績ヲ有スル業者ヲ以テ特別ノ部ヲ設ケシメ配給ノ適正ヲ期スルコト

右朝鮮產鹽搾粕及同粉末ノ取扱部ニハ別記業者ヲ加入セシムルコトトシ右業者中右統制團體ニ未加入ノ者アルトキハ管外ノ者ト雖モ之ヲ即時右統制團體ニ加入セシメタル上之ヲ第二次配給機關トス

ルコト

二 右業者ヲシテ右統制團體内ニ早急ニ朝鮮産鱈搾粕及同粉末ノ取扱部ヲ設ケシムルコト能ハザル特殊ノ事情アルトキハ不取敢朝鮮産鱈搾粕及同粉末ノ取扱實績ヲ有スル者ノ團體ヲ其ノ儘第二次配給機關トスルコト

(十五) 昭和十五年八月乃至十二月 所要肥料申請ニ關スル件

(昭和十五年四月十三日 一部第一三二七號臨時農村對策部長發、知事宛)

標記ノ件ニ關シ左記事項御諒知ノ上取纏メ來ル五月十日迄ニ當省ニ提出相度此段及照會候也

記

- 一 配合肥料ハ一應昭和十三年十一月二日附農林次官通牒ニ基キ設定セルモノニ依ルコト
- 二 様式ハ別紙ニ依ルコト

(様式) 甲

硫	安	昭和十五年八月至十二月要配給數量	同上ノ中次期ニ於ケル消費ノ爲當期ニ配給ヲ要スル數量
智利硝石	石灰窒素		

過磷酸石灰	加里鹽	大豆油粕	鱈搾粕

備考

化成肥料ノ所要量ハ其ノ所含成分ニ依ル硫安、過磷酸、加里鹽等ニ換算シ右ノ中ニ含メ記載スルコト

(様式) 乙

鱈搾粕		大豆油粕		昭和十三年配給實績		備考
朝鮮産	内地産	單味	單肥	一七月	八十二月	
				應	應	

備考

- 一 右ハ單肥及單味トシテ配給シタルモノノミヲ記載スルコト
- 二 備考欄ニハ配合肥料又ハ配合飼料中ニ含マレテ配給シタル數量ヲ各區別シテ記載スルコト
- 三 右調査方法ヲ記載スルコト

	他府縣へ入荷後縣内へ搬入シタルモノ	何々縣ヨリ	應何々縣	應何々縣	應何々縣	應何々縣	應何々縣	應何々縣	應何々縣
差引額	縣内へ入荷後他府縣へ搬出シタルモノ	何々縣	何々縣	何々縣	何々縣	何々縣	何々縣	何々縣	何々縣

備考

- 一 本調査ハ昭和十三年八月十二月ノ實績ニ依ルコト
- 二 他府縣へ入荷後縣内へ搬入シタルモノトハ肥料製造工場又ハ輸移入港ヨリ一旦他府縣へ入荷後轉送シテ當該道府縣内へ搬入シタルモノ、此ノ場合ニ於テハ搬入先道府縣別數量ヲ記載スルコト
- 三 縣内へ入荷後他府縣へ搬出シタルモノトハ肥料製造工場又ハ輸移入港ヨリ當該道府縣へ入荷後他府縣へ轉送搬出シタルモノ、此ノ場合ニ於テハ搬出先道府縣別數量ヲ記載スルコト

(十六) 肥料輸送ニ於ケル十五吨貨車利用割引金ノ處置ニ關スル件

(昭和十五年五月十七日) 肥料統制課長發、經濟部長宛

今般鐵道省ニ於テハ貨車利用効率増加ノ爲滿應ニ充タザル貨車輸送ノ制限並ニ十五吨貨車利用獎勵ノ爲滿載ナラザル貨車利用ニ付テハ空廬料ヲ徵收シ十五吨貨車ノ利用ニ對シテハ運賃ノ五分引ヲ爲スコトト相成候ニ付テハ貴管下肥料配給關係者ニ對シ右趣旨ニ添フ様貨車ノ利用ニ努メシメ十五吨貨車利用ノ割引金ニ付テハ之ヲ消費者ニ均霑セシムル様措置相成度此段及通牒候也

(十七) 臨時配合肥料製造原料タル植物油粕ニ關スル件

(昭和十五年七月二日一五對部第二五六三號) 臨時農村對策部長發、知事宛
昭和十五年七月六日一五對部第二六四〇號改正

大豆油粕及鱈搾粕ヲ製造原料トセル臨時配合肥料ノ買入又ハ製造ノ手續ニ關シテハ曩ニ通牒相成候處有機肥糧配給株式會社ノ取扱ニ係ル大豆油粕以外ノ植物油粕ヲ原料トセル臨時配合肥料ニ付テモ同様ノ手續ヲ定ムル必要有之ニヨリ來ル八月一日以降臨時配合肥料ノ買入又ハ製造ニ付テハ左記ニ依ルコト決定致候條至急可然御手配相成度此段及通牒候也

追而今肥料年度ニ於テハ施肥期切迫ノ折柄不取敢當該油粕ノ買入及製造ニ付テハ證明書ノ發行ニ代ヘ左記ノ趣旨ニ準ジ貴廳ヨリ其ノ所要量及原料使用者ヲ有機肥糧配給株式會社ニ通知相成度申添候也

記

一 有機肥糧配給株式會社ヨリ購入スベキ臨時配合肥料製造原料用植物油粕ニ付テハ其ノ臨時配合肥料ノ買入申込者ヲシテ右ノ植物油粕ノ名稱及所要數量ニ付左ノ様式ニ依ル證明願ヲ提出シ以テ貴廳ノ證明ヲ受ケシメ貴廳ニ於テハ其ノ證明ニ當リ有機肥糧配給株式會社ヨリ貴縣ニ對シ配合肥料原料用トシテ配給スル當該植物油粕ノ數量ノ範圍内ニ於テ左ノ様式ニ依ル證明書ヲ買入申込者ニ交付スルモノトス

- 二 買入申込者ハ前項ノ證明書ヲ當該臨時配合肥料ノ注文先ニ交付スルコトトシ之ヲ受取リタル注文先ハ更ニ之ヲ有機肥糧配給株式會社ニ提示スルモノトス
- 三 第一項ノ證明書ノ寫ハ之ヲ貴廳ヨリ有機肥糧配給株式會社ニ送付スルモノトス
- 四 肥料配給統制規則第二條但書ノ場合ニ於テ同則第五條ノ規定ニ依リ肥料製造者ニ對シ交付スル臨時配合肥料用原料使用許可證明書ニ付テハ一乃至三ニ準ズルコト

(様式)

臨時配合肥料原料用〇〇油粕(粉末)所要數量證明願

左記事項證明相成度此段及御願候也

年 月 日

住所

氏名

道府縣知事(長官)殿

記

許可番號甲(乙)第 號

申請者氏名

肥料名稱	製造數量	申請者ノ受入(製造)豫定期	製造業者氏名又ハ配合肥料製造業組合
〇〇油粕(粉末)	噸	〇〇〇〇	

右ノ通〇〇油粕(粉末)必要ナルコトヲ證明ス

年 月 日

縣

名

印

記載上ノ注意

- 一 許可番號、申請者氏名、申請者ノ受入(製造)豫定期、製造業者氏名又ハ配合肥料製造業組合ハ肥料配給統制規則第四條(第五條第二項ノ規定ニ依リ準用セラルル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依リ交付シタル證明書ノ該當記載事項ト同一ノモノヲ記載スルコト
- 二 植物油粕所要數量ニハ入目及缺貫分トシテ千分ノ二十ヲ加算スルコト但シ其ノ數量ハ括弧シテ併記スルコト
- 三 用紙ハ和紙日本標準規格B四薄物トシ之ヲ半折シテ用フルコト

(十八)

肥料配給割當數量ノ件

(昭和十五年七月五日一五對
第三八七〇號次官發、知事宛)

月 日附 號ヲ以テ硫安、石灰窒素、過磷酸石灰、加里鹽等ノ所要數量申請有之
候處本年八月—十二月ノ期間ニ於ケル肥料配給割當數量ニ付テハ現下ノ肥料事情ニ鑑ミ農林計畫委員
會ノ答申ニ基キ主要食糧農作物タル麥ニ主眼ヲ置キ其ノ他増産計畫農産物(桑、馬鈴薯、苧麻)ノ増
産ヲモ考慮シ左ノ通決定相成候條左記事項御諒知ノ上肥料配給上遺憾無キ様格別ノ御配意相成度此段
及通牒候也

追而大豆油粕、鱈搾粕等ノ有機質肥料ノ割當數量ハ別途決定ノ上通知可致尙今回ノ割當數量中無機
質窒素肥料ニ付テハ其ノ 割見當無機質磷酸肥料ニ付テハ其ノ 割見當加里鹽ニ付テハ其ノ 割見
當ノ數量ハ從來ノ實情ニ徴スルニ昭和十六年一—七月ノ期間ニ於テ消費スベキモノト認メラルル
モノノ前輸送ナルヲ以テ施肥計畫上可然措置相成度申添候

- イ 無機質窒素肥料(硫安ニ換算) ㊦
- 内譯 硫 安 ㊦
- 石 灰 窒 素 ㊦ (硫安ニ換算)
- 高度化成肥料 ㊦ (硫安ニ換算)

- 特殊化成肥料 ㊦ (硫安ニ換算)
- 口 無機質磷酸肥料(過磷酸石灰ニ換算) ㊦
- 内譯 過 磷 酸 石 灰 ㊦
- トーマス磷肥 ㊦ (過磷酸石灰ニ換算)
- イノ高度化成肥料 ㊦ (過磷酸石灰ニ換算)
- イノ特殊化成肥料 ㊦ (過磷酸石灰ニ換算)

- ハ 加里鹽
- 内譯 硫 酸 加 里 ㊦
- 鹽 化 加 里 ㊦

記

一 割當數量ハ農林計畫委員會ノ答申ニ基キ主要食糧農作物タル麥ニ主眼ヲ置キ其ノ他計畫農作物ノ
増産ヲモ考慮シ左ノ標準ニ依リ道府縣別割當ヲ爲シタルモノナルヲ以テ道府縣ニ於テモ同一標準ニ
依リ市町村別割當ヲ爲スコト

イ 硫安、石灰窒素、高度化成肥料及特殊化成肥料ノ無機質窒素肥料ニ付テハ窒素トシテ通算シ割
當ヲ無スコトトシ次期ニ於ケル配給可能數量ニ鑑ミ次期ニ於ケル麥作所要量(増産所要量ヲ含ム)
ニ對シ八五%ニ相當スル數量ヲ、其ノ他ノ作物所要量(計畫農作物ニ付テハ其ノ増産所要量ヲ含

- ム)ニ對シ六五%ニ相當スル數量ヲ配給スルコト
- 尙右ノ外大豆油粕其ノ他ノ有機質窒素肥料(植物油粕類、魚肥類及骨粉)ノ供給事情ヲ考慮シ之等有機質窒素肥料ノ次期ニ於ケル需要量ノ一部(昭和十三年八月—十二月配給実績ノ一割五分程度)ヲ無機質窒素肥料ヲ以テ代替配給シ置クコト
- ロ 過磷酸石灰、トーマス燐肥、高度化成肥料及特殊化成肥料ノ無機質磷酸肥料ニ付テハ磷酸トシテ通算シ割當ヲ爲スコトトシ次期ニ於ケル之等肥料ノ配給可能數量ニ鑑ミ次期ニ於ケル麥作所必要量(増産所必要量ヲ含ム)ニ對シ一〇〇%ニ相當スル數量ヲ、其他ノ作物所必要量(計畫農作物ニ付テハ其ノ増産所必要量ヲ含ム)ニ對シ八〇%ニ相當スル數量ヲ配給スルコト
- ハ 加里鹽ニ付テハ次期ニ於ケル配給可能數量ニ鑑ミ次期ニ於ケル麥作所必要量(増産所必要量ヲ含ム)ニ對シ八〇%ニ相當スル數量ヲ、其ノ他ノ作物所必要量(計畫農作物ニ付テハ其ノ増産所必要量ヲ含ム)ニ對シ六〇%ニ相當スル數量ヲ配給スルコト
- 二 月別配給數量ハ別紙ノ通トスルコト
- 三 肥料ノ種類毎ニ單肥トシテ配給スベキモノト配合原料トシテ配給スベキモノトノ區分及右單肥及配合原料ニ付産業組合系統取扱分及商人系統取扱分ヲ至急決定ノ上本省並ニ肥料配給中樞機關ニ報告スルコト尙其ノ後ニ於テ區分ノ變更ヲ要スル場合ハ豫メ本省ニ打合セラレ度キコト
- 四 單肥トシテ配給スベキモノト配合原料トシテ配給スベキモノトノ割合ハ昭和十三年同期ノ割合ヲ

標準トスルコト

- 五 本年八月以降ノ配合肥料トシテ別紙設計ノモノヲ指定シ之ニ限り製造許可ヲ與フルコトトシ現行ノ臨時配合肥料特號ハ本年七月末限り效力ヲ消滅セシムルコト
- 尙己ムヲ得ザル事由ニ因リ右以外ノ配合肥料ノ指定ヲ爲サントスルトキハ豫メ本省ト打合ヲ爲スコト
- 六 貴管内ニ於テ消費スベキ一切ノ肥料用ハ本割當數量ヨリ配給スルコト
- 七 加里鹽ハ配給ノ便宜上可成配合肥料トシテ配給スルコト

月別配給數量 單位 噸

割當數量	八 月	九 月	十 月	十一 月	十二 月
硫 安					
石 灰 窒 素					
過 磷 酸 石 灰					
ト ー マ ス 燐 肥					
加 里 鹽					
高 度 化 成 肥 料					
特 殊 化 成 肥 料					

(一)

原料配合割合

昭和十五年八月以降ノ臨時配合肥料

(三四〇頁ノ追加参照ノコト)

名	稱	硫	安	窒素	アンモニア性	磷酸	可溶性磷酸	加里	加里	水溶性加里
臨時配合肥料一號甲	同乙	四、八八〇	貫	四、八八〇	貫	五、一二〇	貫	五、一二〇	貫	一〇、〇〇〇
同	同乙	四、八八〇	貫	四、八八〇	貫	四、五九〇	貫	五、三〇〇	貫	一〇、〇〇〇
同	二號甲	四、八八〇	貫	四、八八〇	貫	四、五九〇	貫	五、三〇〇	貫	一〇、〇〇〇
同	同乙	四、八八〇	貫	四、八八〇	貫	四、五九〇	貫	五、三〇〇	貫	一〇、〇〇〇
同	三號甲	三、九二〇	貫	三、九二〇	貫	六、〇八〇	貫	五、三〇〇	貫	一〇、〇〇〇
同	同乙	三、九二〇	貫	三、九二〇	貫	六、〇八〇	貫	五、三〇〇	貫	一〇、〇〇〇
同	四號甲	三、九二〇	貫	三、九二〇	貫	五、五五〇	貫	五、三〇〇	貫	一〇、〇〇〇
同	同乙	三、九二〇	貫	三、九二〇	貫	五、五五〇	貫	五、三〇〇	貫	一〇、〇〇〇
同	五號甲	三、四四〇	貫	三、四四〇	貫	六、五六〇	貫	五、三〇〇	貫	一〇、〇〇〇
同	同乙	三、四四〇	貫	三、四四〇	貫	六、五六〇	貫	五、三〇〇	貫	一〇、〇〇〇
同	六號甲	三、四四〇	貫	三、四四〇	貫	六、〇三〇	貫	五、三〇〇	貫	一〇、〇〇〇
同	同乙	三、四四〇	貫	三、四四〇	貫	六、〇三〇	貫	五、三〇〇	貫	一〇、〇〇〇
同	同丙	三、四四〇	貫	三、四四〇	貫	五、九〇〇	貫	六、六〇〇	貫	一〇、〇〇〇
同	同丁	三、四四〇	貫	三、四四〇	貫	五、九〇〇	貫	六、六〇〇	貫	一〇、〇〇〇

(二)

保證(表示)成分量

名	稱	窒素全量	アンモニア性	磷酸全量	可溶性磷酸	加里全量	水溶性加里
臨時配合肥料一號甲	同乙	一〇、〇	一〇、〇	八、三	八、〇	三、〇	三、〇
同	同乙	一〇、〇	一〇、〇	九、八	九、六	三、〇	三、〇
同	二號甲	一〇、〇	一〇、〇	七、四	七、二	三、〇	三、〇
同	同乙	一〇、〇	一〇、〇	八、八	八、六	三、〇	三、〇
同	三號甲	八、〇	八、〇	九、八	九、六	三、〇	三、〇
同	同乙	八、〇	八、〇	一一、七	一一、四	三、〇	三、〇
同	四號甲	八、〇	八、〇	九、〇	八、七	三、〇	三、〇
同	同乙	八、〇	八、〇	一〇、七	一〇、四	三、〇	三、〇
同	五號甲	七、〇	七、〇	一〇、七	一〇、三	三、〇	三、〇
同	同乙	七、〇	七、〇	一二、六	一二、三	三、〇	三、〇
同	六號甲	七、〇	七、〇	九、八	九、五	三、〇	三、〇
同	同乙	七、〇	七、〇	一一、六	一一、三	三、〇	三、〇
同	同丙	七、〇	七、〇	九、六	九、三	三、〇	三、〇
同	同丁	七、〇	七、〇	一一、三	一一、一	三、〇	三、〇

備考

適用作物、適用地域、施用方法等ニ付テハ地方ノ事情ニ應ジ適宜記載スルコト

(十九) 日本肥料株式會社ノ肥料配給方法ニ關スル件

(昭和十五年八月十二日一五對) 第五三三四號次官發、知事宛

今般日本肥料株式會社設立ニ伴ヒ日本肥料株式會社法及同施行法令ニ基キ日本硫酸株式會社及磷酸肥料配給株式會社ノ事業ハ一切之ヲ同會社ニ於テ引繼グト共ニ從來取扱肥料タル硫酸、過磷酸石灰、加里鹽、智利硝石ノ外石灰窒素、トーマス燐肥、化成肥料(高度化成及特殊化成)ノ取扱ヲ爲スコトト相成候ニ付テハ左記御了知ノ上肥料配給上遺憾無キ様措置相成度此段及通牒候也
追而各種肥料ニ付從來ノ取扱實績ヲ有スル卸商ハ可及的統制團體ニ加入セシメ統制團體ノ組織及機能ヲ強化セラレ度申添候

記

- 一 硫酸及過磷酸石灰ニ付テハ日本硫酸株式會社及磷酸肥料配給株式會社ノ事業ハ一切日本肥料株式會社ニ引繼グトトシ硫酸ニ付テハ八月ヨリ産業組合系統ハ全購聯ヲ通ジ販賣スルモノトシ商人系統ハ道府縣指定統制團體ニ對シ直賣スルモノナルコト、過磷酸石灰ニ付テハ産業組合系統ハ全購聯ヲ通ジ販賣スルモノトシ商人系統ハ十月ヨリ道府縣指定統制團體ニ對シ直賣スル見込ナルコト
- 二 石灰窒素ニ付テハ從來中樞機關ハ三井物產株式會社及全購聯ナリシモ今後ハ日本肥料株式會社ヲ中樞機關トシ産業組合系統ニ付テハ八月ヨリ全購聯ヲ通ジ販賣スルモノトス、商人系統ニ付テハ九月迄ハ三井物產株式會社ヲ指定商トシ十月ヨリハ日本肥料株式會社ヨリ道府縣指定統制團體ニ對シ直賣スルモノナルコト

- 三 トーマス燐肥ニ付テハ産業組合系統ニ付テハ八月ヨリ全購聯ヲ通ジ販賣ストルモノトシ商人系統ニ付テハ九月迄ハ三菱商事株式會社、帝國人造肥料株式會社ヲ指定商トシ十月以降ハ道府縣指定統制團體ニ對シ直賣スルモノナルコト
- 四 肥料用加里鹽及肥料用智利硝石ニ付テハ從來磷酸肥料配給株式會社ノ行ヘル通り産業組合系統ニ付テハ全購聯ヲ通ジ販賣シ商人系統ノモノハ道府縣指定統制團體ニ對シ直賣スルモノナルコト
- 五 高度化成肥料及特殊化成肥料ニ付テハ日本肥料株式會社ニ於テ取扱フコトトナリ産業組合系統ニ付テハ全購聯ヲ通ジ販賣スルモノトシ商人系統ニ付テハ九月迄ハ指定店(別紙)ヲ經由スルコトトシ十月以降ハ道府縣指定統制團體ニ直賣スルモノナルコト

(別紙)

- 高度化成肥料指定店
 - 日產化工商事株式會社
 - 住友化學肥料販賣株式會社
 - 朝日商事株式會社
 - 窒素肥料販賣株式會社
 - 特殊化成肥料指定店

- 日本加里工業株式會社
- 株式會社小西安兵衛商店
- ラサ商事株式會社
- 南興商事株式會社
- 全國組合肥料販賣株式會社
- 寶玉肥料販賣株式會社
- 神島肥料販賣株式會社
- 日產化工商事株式會社
- 村林商事株式會社
- 朝日商事株式會社
- 全國產業株式會社
- 多木肥料販賣合資會社
- アルカリ商事株式會社

(二十) 魚肥ノ配給方法ニ關スル件

(昭和十五年八月二十二日一五對)
部第三七〇三號臨時農村對策部長發、知事宛)

八月二十一日附農林省令第七十七號ヲ以テ製造者等ニ對シ別紙ノ通り有機肥糧配給株式會社ニ對シ魚肥ノ賣渡命令相成本年一月三十日附農林省告示第四十七號及同年五月二十九日附農林省告示第二百二十八號ト相俟ツテ同社ヲシテ魚肥全般ニ亘リ統制ヲ爲サシムルコトト相成候ニ付テハ道府縣ニ於ケル是等魚肥ノ配給機構ヲ整備スル必要有之候處之ガ配給措置ニ關シテハ本年二月二十七日附農林次官通牒ノ趣旨ニ則リ從來ノ配給實情ヲ考慮シ產業組合系統ノ配給ハ全國購買組合聯合會ヲ通ジ配給スルコトトシ、商人系統ノ配給ハ從來本品配給ノ實績ヲ有スルモノノ中主ナル者ヲ夫々第一次配給機關トシ右第一次配給機關ヲ經由各道府縣ニ配給致サシムルコトト致度尙商人系統ニ付テハ統制團體整備ノ狀況等ニ依リ第一次配給機關ヲ通ゼズシテ有機肥糧配給株式會社ヨリ直接道府縣指定統制團體ニ直賣スル途ヲモ講ジ度候ニ付テハ商人系統ニ於テハ貴(道府縣)ニ於ケル魚肥ノ卸賣實績ヲ有スルモノヲシテ可及的速ニ朝鮮產鱈搾粕及同粉末ノ卸賣團體ト結合セシメ尙必要アルトキハ貴(道府縣)指定肥料統制團體内ニ魚肥部ヲ設クル等可然措置ヲ講ジ配給機構ヲ整備シ有機肥糧ノ配給ノ適正圓滑ヲ期セラレ度此段及通牒候也

追而第一次指定店、第二次卸商、小賣商ハ夫々原則トシテ他ヲ兼ネ得ザル事ニ決定致シ居リ候ニ付

(二十一) 有機質肥料配給割當數量ノ件

(昭和十五年八月三十一日一五對) 部第三九一七號臨時農村對策部長發、知事宛)

今般有機肥糧配給株式會社ヨリ貴縣ニ對シ配給スベキ有機質肥料ノ八—十二月ノ期間ニ於ケル割當數量ノ中差當リ左ノ數量ヲ九月及十月配給分トシテ決定相成候條左記事項御諒知ノ上至急之ガ配給計畫ヲ樹テ産業組合及商人系統ヲシテ右會社ニ對シ速ニ出荷ノ指圖ヲ爲サシムル等肥料配給統制上遺憾ナキ様格別ノ御配意相成度此段及通牒候也

- イ 大豆油粕 應
- ロ 大豆油粕以外ノ植物油粕 應
- ハ 鱈搾粕 應
- ニ 鱈搾粕以外ノ魚肥 應

記

- 一 本割當肥料ニ付テハ窒素トシテ通算シ割當ヲ爲シタルヲ以テ貴縣ニ於テモ其ノ趣旨ニ依リ市町村別割當ヲ爲スコト
- 二 大豆油粕以外ノ植物油粕及鱈搾粕以外ノ魚肥ノ種類、名稱及數量等ニ關シテハ出來得ル限り速ニ

有機肥糧配給株式會社又ハ同會社支店ヨリ通知セシム可キモ貴廳ニ於テモ右會社又ハ支店ト充分聯絡打合セラレ度キコト

- 三 大豆油粕以外ノ植物油粕ノ割當數量中 割 分見當ノ數量ハ煙草作用トシテ見込居ルヲ以テ配給計畫上可然措置スルコト
- 四 本割當各肥料ノ供給狀況如何ニヨリテハ相互ニ代替配給スルコトアルベキコト
- 五 肥料ノ種類毎ニ産業組合系統取扱分及商人系統取扱分ヲ至急決定ノ上大豆油粕及鱈搾粕ニ付テハ單肥用及配合肥料用ノ數量區分ト共ニ本省並ニ有機肥糧配給株式會社ニ報告スルコト尙其ノ後ニ於テ區分ノ變更ヲ要スル場合ハ豫メ本省ニ打合セラレ度キコト
- 六 本年八月以降ノ臨時配合肥料トスルコトニ依リ硫酸、過磷酸石灰等ノ單肥、配合原料用ノ區分ニ變更ヲ生ズル場合ハ九月十五日迄ニ本省ニ打合セラレ度キコト
- 七 大豆油粕以外ノ植物油粕ノ配給方法及配給機構ニ付テハ別途通牒ニヨルコト
- 八 貴管内ニ於テ消費スベキ一切ノ肥料用ハ本割當數量中ヨリ配給スルコト

(別紙)

昭和十五年八月以降臨時配合肥料(追加)

令相成本年六月五日附農林省告示第二百四十三號ト相俟ツテ同社ヲシテ植物油粕全般ニ亘リ統制ヲ爲サシムルコトト相成候ニ付テハ道府縣ニ於ケル之等雜植物油粕ノ配給機構ヲ整備スルノ必要有之候處之ガ配給措置ニ關シテハ從來ノ配給實情ヲ考慮シ産業組合系統ノ配給ハ全國購買組合聯合會ヲ通ジ配給スルコトトシ、商人系統ノ配給ハ有機肥糧配給株式會社ヨリ直接道府縣指定統制團體ニ直賣スルコトト致度候ニ付テハ貴縣ニ於ケル雜植物油粕ノ卸賣實績ヲ有スル業者ヲシテ可及的速ニ貴縣指定統制團體ニ加入セシメ必要アラバ雜植物油粕部ヲ特別ニ設ケシムル等適當措置相成配給機構ヲ整備シ有機肥糧配給ノ適正圓滑ヲ期セラレ度此段及通牒候也

追而指定團體内部機構ノ整備遲延等ノ爲實際配給上支障ヲ生ズル場合ハ應急措置トシテ貴縣ニ於テ雜植物油粕ノ卸賣實績ヲ有スル業者中ヨリ適宜代表者ヲ指定シ其ノ者ヲシテ配給セシムルコトトシ、此ノ場合ニ於テハ有機肥糧配給株式會社ト充分連絡打合相成度尙原則トシテ卸賣商及小賣商ハ夫々他ヲ兼ネ得ザルコトニ決定致シ居リ候ニ付爲念申添候

(三) 價格關係

第一、價格等統制令關係

(一) 價格等統制令

(昭和十四年十月十八日勅令第七百三號
昭和十五年九月二十五日勅令第六百三十五號改正)

第一條 國家總動員法(昭和十三年勅令第三百十七號)ニ於テ南洋群島ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ)

第十九條ノ規定ニ基キ價格、運送費、保管料、損害保險料、賃貸料又ハ加工賃(以下價格等ト稱ス)

ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 價格等ハ昭和十四年九月十八日(以下指定期日ト稱ス)ニ於ケル額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ズ但シ閣令ノ定ムル所ニ依リ價格等ノ支拂者又ハ受領者ニ於テ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合及本令施行ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 註文生産品ノ價格ニ付生産者ガ生産ニ著手シタルモノ
- 二 其ノ他ノ價格ニ付買主其ノ他ノ支拂者ガ目的物ノ引渡ヲ受ケタルモノ
- 三 運送賃又ハ加工賃ニ付運送人又ハ加工者ガ目的物ノ引渡ヲ受ケタルモノ
- 四 保管料、損害保險料又ハ賃貸料ニ付支拂者ガ履行遲滞ニ在ルモノ

前項ノ指定期日ニ於ケル額ハ價格等ノ受領者ニ付テノ額ニ依リ受領者別ニ定マルモノトシ指定期日ニ爲シタル契約アル場合ハ其ノ契約額(同ジ事情ノ下ニ於テ數種ノ契約額アリタルトキハ其ノ最高額)、偶々指定期日ニ爲シタル契約ナカリシ場合ハ契約ヲ爲シタルベキ額トス

價格等ニ付前項ノ規定ニ依ル額ナキ場合ニ於テハ閣令ノ定ムルモノヲ以テ指定期日ニ於ケル額トス
第三條 商工農業者等ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノ閣令ノ定ムル所ニ依リ前條第二項又ハ第三項ノ額ニ代ルベキ額ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノ及其ノ構成員(構成員ガ組合其ノ他之ニ準ズルモノナル場合ハ其ノ構成員ヲモ含ム、第二項ノ場合亦同ジ)ニ付テハ其ノ額ヲ以テ指定期日ニ於ケル額ト看做ス

行政官廳必要アリト認ムルトキハ閣令ノ定ムル所ニ依リ商工農業者等ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノノ地區内ニ於テ其ノ構成員タル資格ヲ有スル者ニシテ其ノ構成員ニ非ザルモノニ付テモ前項ノ規定ニ依ル額ヲ以テ指定期日ニ於ケル額ト看做スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル處分アリタル場合ニ於テ第一項ノ規定ニ依ル額ノ變更アリタルトキハ前項ノ額ハ當該變更額ニ變更セラレタルモノトス

第一項ノ規定ニ依ル認可又ハ第二項ノ規定ニ依ル處分ハ此等ノ處分實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際前條第一項但書各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ影響ヲ及ボスコトナシ

第四條 行政官廳ハ指定期日ニ於ケル額(前條第一項若ハ第二項又ハ第二十條ノ規定ニ依リ看做サル

ルモノヲ除ク)ガ著シク不當ト認メラルルトキハ閣令ノ定ムル所ニ依リ其ノ額ヲ引下グルコトヲ得但シ其ノ引下實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際第二條第一項但書各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ影響ヲ及ボスコトナシ

第五條 前三條ノ規定ハ有價證券ノ價格及賃貸料、土地及建物ノ價格其ノ他閣令ヲ以テ定ムル價格等ニ付テハ之ヲ適用セス

第六條 價格等ハ第二條乃至第四條ノ規定ニ拘ラズ他ノ法令ニ定ムル額又ハ他ノ法令ニ基ク行政官廳ノ決定、命令、許可、認可其ノ他ノ處分アリタル額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ズ但シ本令施行後ノ處分ハ處分實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際第二條第一項但書各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ影響ヲ及ボスコトナシ

前項ノ他ノ法令ハ閣令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 前條ニ規定スル場合ヲ除クノ外行政官廳閣令ノ定ムル所ニ依リ價格等(有價證券ノ價格及賃貸料ヲ除ク以下同ジ)ノ額ヲ指定シタルトキハ第二條乃至第四條ノ規定ニ拘ラズ其ノ額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ズ但シ閣令ノ定ムル所ニ依リ價格等ノ支拂者又ハ受領者ニ於テ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ指定ハ指定實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際第二條第一項但書各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ影響ヲ及ボスコトナシ

第八條 支拂條件、引渡條件其ノ他ノ契約條件ノ變更（第六條ニ規定スル他ノ法令ニ依ルモノ及其ノ法令ニ基ク行政官廳ノ決定、命令、許可、認可其ノ他ノ處分アリタルモノヲ除ク）ニシテ支拂者ニ不利益ト爲ルモノハ其ノ限度ニ於テ之ヲ價格等ノ額ノ引上ト看做ス

第九條 何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ第二條、第六條又ハ第七條ノ規定ニ依ル禁止ヲ免ルル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

第十條 主務大臣必要アリト認ムルトキハ閣令ノ定ムル所ニ依リ價格等ノ原價ニ關シ計算ヲ爲サシムルコトヲ得

第十一條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ生産、販賣、運送、保管、賃貸、損害保險若ハ加工ニ關シ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ工場、事業場、販賣所、倉庫、事務所其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第十二條 本令ハ左ニ掲グル價格等ニハ之ヲ適用セズ

- 一 取引所又ハ日本米穀株式會社若ハ朝鮮米穀市場株式會社ノ開設スル米穀市場ニ於ケル賣買取引ノ價格
- 二 關東州、滿洲及支那以外ノ地ト本令施行地トノ間ニ於ケル輸出入取引ノ價格及兩地域間ニ於ケ

ル運送ノ運送賃

三 其ノ他閣令ヲ以テ定ムルモノ

第十三條 本令ハ契約ノ當事者ニシテ營利ヲ目的トシテ當該契約ヲ爲スニ非ザルモノニハ之ヲ適用セズ但シ當該契約ヲ爲スコトガ自己ノ業務ニ關スル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十四條 本令ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ閣令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第十五條 本令ノ施行ニ關スル主務大臣ハ左ノ各號ニ定ムル所ニ依ル

- 一 農林水產物及農林水產業專用物品ノ價格ニ關スル事項ニ付テハ農林大臣
- 二 酒造稅法ノ酒類並ニ酒精及酒精含有飲料稅法ノ酒精及酒精含有飲料ノ價格ニ關スル事項ニ付テハ商工大臣及大藏大臣
- 三 醫藥品ノ價格ニ關スル事項ニ付テハ商工大臣及厚生大臣
- 四 運送賃並ニ運送ニ直接關聯スル保管料及賃貸料ニ關スル事項ニ付テハ陸上運送ニ在リテハ鐵道大臣、水上運送及航空運送ニ在リテハ遞信大臣
- 五 田、畑、山林及原野ノ價格及賃貸料、家畜ノ賃貸料、農林水產物ノ保管ヲ目的トスル倉庫（倉庫營業者及商工業者ノ組織スル法人ノ營ム倉庫ヲ除ク）ノ保管料並ニ閣令ヲ以テ定ムル農林水產物及農林水產業專用物品ノ加工賃ニ關スル事項ニ付テハ農林大臣

六 船舶ノ價格及賃貸料ニ關スル事項ニ付テハ遞信大臣但シ總噸數二十噸未滿ノ漁船ノ賣買價格及賃貸料ニ關スル事項ニ付テハ農林大臣及遞信大臣

七 兵器、彈藥、艦船等ニシテ軍機保護上必要アルモノニ關スル第二條ニ規定スル事項ニ付テハ陸軍大臣又ハ海軍大臣

八 前各號ノ場合ヲ除クノ外商工大臣

九 第六條ニ規定スル法令ニ於テ規定スル價格等ニ關スル事項ニ付テハ前各號ニ拘ラズ當該法令ニ於ケル主務大臣

第十六條 前條第七號ニ掲グル場合ヲ除クノ外本令中主務大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ閣令トアルハ朝鮮又ハ臺灣ニ在リテハ總督府令、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ廳令トス

附 則

第十七條 本令ハ昭和十四年十月二十日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十四年十月二十七日ヨリ之ヲ施行ス

第十八條 第二條乃至第四條ノ規定ハ昭和十五年十月十九日迄其ノ效力ヲ有ス但シ同日以前ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ同日後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス

第十九條 左ニ掲グル命令ハ之ヲ廢止ス

昭和十四年農林省令第四十二號農林水產物及農林水產業用品販賣價格取締規則

昭和十三年商工省令第二十四號綿絲販賣價格取締規則

昭和十三年商工省令第三十一號ステールファイバー及ステールファイバー絲販賣價格取締規則

昭和十三年商工省令第五十六號物品販賣價格取締規則

昭和十三年商工省令第六十三號人造絹絲販賣價格取締規則

昭和十三年商工省令第七十五號毛絲販賣價格取締規則

昭和十四年商工省令第六十三號絹紡絲販賣價格取締規則

昭和十三年朝鮮總督府令第二百十八號朝鮮物品販賣價格取締規則

昭和十三年臺灣總督府令第一百十四號物品販賣價格取締規則

昭和十三年樺太廳令第六十三號物品販賣價格取締規則

昭和十三年南洋廳令第三十八號南洋群島物品販賣價格取締規則

左ニ掲グル規定ハ之ヲ削除ス

昭和十三年商工省令第四十五號皮革配給統制規則第九條及第十條

昭和十四年朝鮮總督府令第三十一號（昭和十二年法律第九十二號第二條ノ規定ニ依ル皮革ノ配給

統制ニ關スル件）第八條及第九條

昭和十三年臺灣總督府令第八十四號皮革配給統制規則第五條及第六條

昭和十四年樺太廳令第三十六號皮革配給統制規則第六條及第七條
前二項ニ掲グル命令及規定ハ本令施行前ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ本令施行後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス

第二十條 左ニ掲グル規定ニ依ル農林大臣、商工大臣、朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官ノ指定シタル日ニ於ケル販賣價格ハ之ヲ第二條ノ指定期日ニ於ケル額ト看做ス

昭和十四年農林省令第四十二號農林水產物及農林水產業用品販賣價格取締規則第一條

昭和十三年商工省令第五十六號物品販賣價格取締規則第一條

昭和十三年朝鮮總督府令第二百十八號朝鮮物品販賣價格取締規則第一條

昭和十三年臺灣總督府令第一百四十四號物品販賣價格取締規則第一條

昭和十三年樺太廳令第六十三號物品販賣價格取締規則第一條

昭和十三年南洋廳令第三十八號南洋群島物品販賣價格取締規則第一條

第二十一條 左ニ掲グル規定ニ依リ農林大臣、商工大臣、朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官、南洋廳

長官、地方長官、朝鮮總督府道知事、臺灣總督府州知事若ハ廳長又ハ南洋廳支廳長ノ爲シタル販賣

價格指定又ハ許可ハ第二條第一項但書又ハ第七條第一項ノ規定ニ依リ各相當ノ行政官廳ノ爲シタル

價格ノ額ノ指定又ハ許可ト看做ス但シ閣令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

昭和十四年農林省令第四十二號農林水產物及農林水產業用品販賣價格取締規則第一條

昭和十三年商工省令第二十四號綿絲販賣價格取締規則第一條第二項

昭和十三年商工省令第三十一號ステイブルファイバー及ステイブルファイバー絲販賣價格取締規則第一條第二項

則第一條第二項

昭和十三年商工省令第四十五號皮革配給統制規則第九條

昭和十三年商工省令第五十六號物品販賣價格取締規則第一條

昭和十三年商工省令第六十三號人造絹絲販賣價格取締規則第一條第二項

昭和十三年商工省令第七十五號毛絲販賣價格取締規則第一條第二項

昭和十四年商工省令第六十三號絹紡絲販賣價格取締規則第一條第二項

昭和十三年朝鮮總督府令第二百十八號朝鮮物品販賣價格取締規則第一條

昭和十四年朝鮮總督府令第三十一號（昭和十二年法律第九十二號第二條ノ規定ニ依ル皮革ノ配給

統制ニ關スル件）第八條

昭和十三年臺灣總督府令第一百四十四號物品販賣價格取締規則第一條

昭和十三年樺太廳令第六十三號物品販賣價格取締規則第一條

昭和十四年樺太廳令第三十六號皮革配給統制規則第六條

昭和十三年南洋廳令第三十八號南洋群島物品販賣價格取締規則第一條

（參照）

○昭和十三年四月一日法律第五十五號國家總動員法抄錄

第十九條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ價格、運送賃、保管料、保險料、賃貸料又ハ加工賃ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得
昭和十三年五月四日勅令第三百十七號ハ南洋群島ニ於ケル國家總動員ニ關スル件ナリ

(二) 價格等統制令施行規則

昭和十四年十月十九日閣令第十三號
昭和十五年六月五日閣令第七號改正
昭和十五年七月二十日閣令第九號改正
昭和十五年十月二日同 第十號改正

第一條 價格等統制令(以下統制令ト稱ス)第二條第一項但書又ハ同令第七條第一項但書ノ許可ノ申請ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ限り之ヲ爲スコトヲ得

- 一 關東州、滿洲及支那以外ノ地ニ輸出セラルルコト明カナル物ヲ賣買スルトキ
- 二 輸入價格ノ昂騰特ニ著シキ輸入品ヲ賣買スルトキ
- 三 其ノ他已ムヲ得ザル事由アルトキ

前項ノ許可ハ價格等ノ支拂者又ハ受領者ノ何レカ一方ニ於テ之ヲ受クルヲ以テ足ル

第二條 前條ノ申請ヲ爲サントスル者ハ氏名又ハ名稱、住所又ハ主タル事務所ノ所在地及業務ノ種類

並ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ主務大臣(主務大臣特ニ定メタルトキハ地方長官)ニ提出スベシ

一 前條第一項第一號ノ場合ニ於テハ其ノ物ノ名稱、品種、數量及輸出セラルルコトヲ明カナラシムル事項並ニ價格等ノ支拂者ガ申請ヲ爲ス場合ニ在リテハ買受先、豫定買受價格其ノ他ノ豫定買受條件、豫定販賣先及豫定販賣價格其ノ他ノ豫定販賣條件、價格等ノ受領者ガ申請ヲ爲ス場合ニ在リテハ販賣先及豫定販賣價格其ノ他ノ豫定販賣條件

二 前條第一項第二號ノ場合ニ於テハ其ノ輸入品ノ名稱、品種及數量並ニ價格等ノ支拂者ガ申請ヲ爲ス場合ニ在リテハ買受先及豫定買受價格其ノ他ノ豫定買受條件、價格等ノ受領者ガ申請ヲ爲ス場合ニ在リテハ買受先、豫定買受價格其ノ他ノ豫定買受條件、販賣先及豫定販賣價格其ノ他ノ豫定販賣條件

三 前條第一項第三號ノ場合ニ於テハ前二號ニ準ズル事項及已ムヲ得ザル事由ノ詳細

前項ノ申請書ニシテ主務大臣ニ提出スベキモノハ別ニ定ムルモノヲ除ク外地方長官ヲ經由スベシ
第三條 統制令第二條第三項ノ規定ニ依リ指定期日ニ於ケル價格ノ額ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 一 季節品ニ付テハ最近ノ季節ノ市場價格又ハ之ニ準ズルモノニ付一般物價ノ變動ヲ參酌シタルモノ
- 二 新製品ニ付テハ之ニ類似スル物ノ指定期日ニ於ケル市場價格又ハ之ニ準ズルモノニ付原價ノ差異ヲ參酌シタルモノ

三 前各號ニ掲グル物以外ノ物ニ付テハ指定期日ニ於ケル市場價格又ハ之ニ準ズルモノ
 前項各號ニ掲グル價格ノ判定困難ナル場合ニ於テ受領者ノ申請アリタルトキハ地方長官（主務大臣
 特ニ定メタルトキハ主務大臣）又ハ主務大臣ノ指定スル法人若ハ團體其ノ額ノ指示ヲ爲スコトヲ得
 前二項ノ規定ハ物以外ノモノノ價格、運送賃、保管料、損害保險料、賃貸料及加工賃ノ額ニ付之ヲ
 準用ス

第四條 統制令第三條第一項ノ規定ニ依ル認可ノ申請ハ左ニ掲グル區別ニ依ル主務大臣又ハ地方長官
 ニ之ヲ爲スベシ

- 一 數府縣又ハ全國ヲ地區トスル組合其ノ他之ニ準ズルモノニ在リテハ主務大臣
 - 二 道府縣又ハ其ノ一部ヲ地區トスル組合其ノ他之ニ準ズルモノニ在リテハ地方長官
- 前項ニ掲グル組合其ノ他之ニ準ズルモノニシテ主務大臣ノ指定シタルモノニ付テハ前項各號ノ規定
 ニ拘ラズ主務大臣ノ定ムル行政官廳ニ申請スベシ

第五條 前條ノ申請ヲ爲スニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ提出スベシ

- 一 組合其ノ他之ニ準ズルモノノ名稱及地區
 - 二 構成員（統制令第三條第一項ノ構成員ヲ謂フ以下同ジ）タル資格及構成員ノ概數
 - 三 統制令第二條第二項又ハ第三項ノ額ニ代ルベキ額及其ノ實施ノ日
- 前項ノ認可申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スベシ

一 定款又ハ規約ノ寫

二 統制令第二條第二項又ハ第三項ノ額ニ代ルベキ額ヲ定ムルヲ必要トスル事由及其ノ額ノ算定基
 礎ヲ明カニスル書面

三 前條ノ申請ヲ爲スベキ旨ノ決議書又ハ同意書ノ寫

第六條 統制令第二條第一項但書若ハ第七條第一項但書ノ許可又ハ同令第三條第一項ノ認可ニハ制限
 又ハ條件ヲ附スルコトアルベシ

第七條 主務大臣又ハ地方長官統制令第三條第一項ノ認可ヲ爲シタルトキハ左ノ事項ヲ公示ス

- 一 組合其ノ他之ニ準ズルモノノ名稱及地區
- 二 構成員タル資格
- 三 統制令第二條第二項又ハ第三項ノ額ニ代ルベキ額及其ノ實施ノ日
- 四 認可ニ附シタル制限又ハ條件

第八條 統制令第三條第二項ノ處分ハ同條第一項ノ認可ヲ爲シタル主務大臣又ハ地方長官處分ノ旨及
 前條各號ニ掲グル事項ヲ公示スルコトニ依リ之ヲ爲ス

第九條 統制令第四條ノ規定ニ依ル處分ハ主務大臣又ハ地方長官價格等ノ受領者ニ對シ左ノ事項ヲ通
 知スルニ依リ之ヲ爲ス

一 價格等ノ引下後ノ額

二 引下實施ノ日

第十條 統制令第二條乃至第四條ノ規定ハ左ニ掲グル價格等ニハ之ヲ適用セス

- 一 財團、營業及無體財產權ノ價格及賃貸料
- 二 書畫骨董ノ價格
- 三 鮮魚介類（冷凍魚介類及鰻ヲ除ク）、生蔬菜及生果實ノ價格
- 四 家畜ノ價格及賃貸料並ニ家禽及立木竹ノ價格
- 五 輸出品タル綿絲（關東州、滿洲及支那向ノモノヲ除ク）ノ價格
- 六 生絲（玉絲及野蠶絲ヲ除ク）及繭（玉繭及層繭ヲ除ク）ノ價格

第十一條 統制令第六條第二項ノ規定ニ依リ法令ヲ定ムルコト左ノ如シ

アルコール專賣法

阿片法

遠洋航路補助法

家畜保險法

瓦斯事業法

漁船保險法

軌道法

輕金屬製造事業法

工作機械製造事業法

航路統制法

航空法

航空機製造事業法

小運送業法

索道事業規則（昭和二年遞信省令第三十六號）

鹽專賣法

鹽賣捌規則

飼料配給統制法

重要肥料業統制法

森林火災國營保險法

人造石油製造事業法

自動車製造事業法

自動車交通事業法

石炭配給統制法

石油業法

製鐵事業法

製鐵用輸入原料配給等統制令

粗製樟腦樟腦油專賣法
倉庫業法

造船事業法第十四條（同法施行令第二十八條及損害保險國營再保險法第二十九條ニ於テ準用スル
場合ヲ含ム）

煙草專賣法

煙草賣捌規則

中央却賣市場法

地方鐵道法

電力監理法

電氣事業法

電力調整令

鐵道營業法

鐵道運輸規程

日本肥料株式會社法

日本輸出農產物株式會社法

農業保險法

農業倉庫業法

米穀統制法

米穀配給統制法

保稅工場法

保稅倉庫法

酪農業調整法

臨時肥料配給統制法

臨時船舶管理法

昭和十二年法律第九十二號（輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律）

第十二條 統制令第七條ノ規定ニ依ル額ノ指定ハ主務大臣之ヲ爲スモノトス但シ主務大臣ニ於テ地方
長官ガ額ノ指定ヲ爲スベキ旨ヲ定メタルモノニ付テハ地方長官額ノ指定ヲ爲スモノトス

第十三條 統制令第七條ノ規定ニ依ル額ノ指定ハ告示ニ依リテ之ヲ爲ス但シ軍機保護上告示ヲ不適當
トスルモノニ付テハ價格等ノ受領者ニ對スル通知ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第十四條 統制令第十一條第一項ノ行政官廳ハ主務大臣又ハ地方長官トス

同條第二項ノ證票ハ別記様式ニ依ル

第十五條 統制令第十二條第三號ニ掲グル價格等ハ左ニ掲グルモノトス

一 特殊保稅工場ノ工場主ガ關東州、滿洲及支那以外ノ地ニ貨物ヲ輸出スル爲當該保稅工場ノ作業
ニ使用スル物品ヲ買入ルル場合ノ價格

一ノ二 前號ニ揚グル作業ニ依リ生ジタル貨物ヲ關東州、滿洲及支那以外ノ地ニ輸出スル爲販賣スル場合ノ價格

一ノ三 關稅法第六十三條第一項ノ規定ニ依リ稅關長ガ貨物ヲ買上グル場合ノ價格

二 金地金、金ノ合金、金ヲ主タル材料トスル物及產金法ノ含金鑛產物ノ價格竝ニ金資金特別會計法ニ依リ金資金ヲ運用スル場合ノ物ノ價格

三 國營ノ鐵道、軌道及自動車竝ニ其ノ附帶ノ業務ニ關スル運賃、賃貸料及保管料

四 統制令施行地以外ノ地相互間（關東州、滿洲及支那ノ各地相互間ヲ除ク）ニ於ケル運送賃

五 統制令施行地以外ノ地へ支拂ヒ又ハ統制令施行地以外ノ地ヨリ受領スル保險料（統制令施行地

ト關東州、滿洲又ハ支那トノ間ノ運送ニ對スル貨物ノ保險又ハ航海ニ對スル船舶ノ保險ノ保險料

ヲ除ク）及統制令施行地以外ノ地（關東州、滿洲及支那ヲ除ク）相互間ノ運送ニ對スル貨物ノ保

險又ハ航海ニ對スル船舶ノ保險ノ保險料

六 再保險料

七 日本船舶ニ非ザル船舶ノ賃貸料

第十六條 第二條第一項又ハ第五條ノ規定ニ依リ提出スベキ申請書及之ニ添附スベキ書類ハ各二通ヲ提出スベシ

第十七條 主務大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ價格等ノ支拂者若ハ組合其ノ他之ニ準ズル

モノヲ指定シ其ノ第二條第一項又ハ第五條ノ規定ニ依リ提出スベキ申請書及之ニ添附スベキ書類ニ關シ別段ノ指示ヲ爲スコトヲ得

主務大臣必要アリト認ムルトキハ價格等ノ支拂者若ハ組合其ノ他之ニ準ズルモノヲ指定シ本令ニ定ムルモノノ外必要ナル書類ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

第十八條 統制令第十五條第五號ノ加工賃ヲ定ムルコト左ノ如シ

一 米穀其ノ他ノ穀物ノ摺賃及乾燥賃

二 炭燒賃

三 生絲挽賃

四 肥料ノ加工賃

第十九條 本令ニ於テ主務大臣、主務大臣又ハ地方長官、地方長官トアルハ陸上運送ニ直接關聯スル保管料及賃貸料ニ關スル事項ニ付テハ第四條第一項第一號ノ場合ヲ除クノ外地方鐵道事業、軌道事業（人力又ハ馬力ヲ動力トスルモノヲ除ク）及自動車運輸事業ニ在リテハ鐵道大臣、人力又ハ馬力ヲ動力トスル軌道事業ニ在リテハ起點所在地ヲ管轄スル地方長官、小運送業ニ在リテハ主タル事業地ヲ管轄スル地方長官（東京府ニ於テハ警視總監但シ索道事業ニ在リテハ東京府知事及警視總監）トス但シ第十四條ノ場合ニ在リテハ地方鐵道事業、軌道事業（人力又ハ馬力ヲ動力トスルモノヲ除ク）及自動車運輸事業ヲ除クノ外鐵道大臣及小運送事業ニ在リテハ當該鐵道局長、其ノ他ノ陸上運

送事業ニ在リテハ當該地方長官（東京府ニ於テハ人力又ハ馬力ヲ動力トスル軌道事業ヲ除クノ外警視總監但シ索道事業ニ在リテハ東京府知事及警視總監）トス

本令ニ於テ主務大臣、主務大臣又ハ地方長官、地方長官トアルハ船舶ノ價格、賃貸料及水上運送賃ニ關スル事項ニ付テハ總噸數百噸以上ノ汽船以外ノ船舶賣買價格、賃貸料及運送賃竝ニ長サ五十米未滿ノ船舶ノ製造價格ニ在リテハ所轄遞信局長、其ノ他ニ在リテハ遞信大臣トス但シ專ラ湖川ヲ航行スル船舶及總噸數二十噸未滿ノ船舶（舢舨、曳船及總噸數五噸以上ノ運送船ヲ除ク）ノ賣買價格、賃貸料及運送賃竝ニ總噸數五噸未滿ノ船舶ノ製造價格ニ在リテハ地方長官（東京府ニ於テハ運送賃ニ在リテハ東京府知事及警視總監）トス

附 則

本令ハ昭和十四年十月二十日ヨリ之ヲ施行ス

第二、暴利行爲等取締規則

（昭和十四年十二月二十六日商工農林省令第一號、昭和十五年六月二十四日商工農林省令第一號改正）

第一條 何人ト雖モ暴利ヲ得テ物品ノ販賣ヲ爲スコトヲ得ズ

何人ト雖モ暴利ヲ得ルノ目的ヲ以テ物品ノ買占若ハ賣惜ヲ爲シ又ハ不當ノ報酬ヲ得テ物品ノ賣買ノ

媒介ヲ爲スコトヲ得ズ

第二條 物品ノ販賣ヲ爲ス者ハ其ノ價格及左ノ各號ニ掲グル物品ニ付テハ其ノ旨ヲ物品ノ見易キ部分ニ記載シ、店頭ニ揭示シ其ノ他容易ニ之ヲ了知シ得ル方法ヲ以テ表示スベシ但シ地方長官ニ於テ特別ノ事情アリト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 價格ニ付價格等統制令第二條ノ適用ヲ受クル物品但シ第二號、第三號及第五號ニ掲グル物品ヲ除ク

二 價格ニ付價格等統制令第二條ノ適用ヲ受クル物品ニシテ同令施行規則第三條第一項第二號ニ掲グルモノ

三 價格ニ付價格等統制令第三條第一項ノ規定ニ依ル認可又ハ同條第二項ノ規定ニ依ル處分アリタル物品

四 價格ニ付價格等統制令第六條第二項ノ規定ニ依リ定メタル法令ニ於テ又ハ之ニ基キ額ヲ定メ又ハ額ノ處分アリタル物品及同令第七條ノ規定ニ依リ額ノ指定アリタル物品但シ第五號ニ掲グル物品ヲ除ク

五 價格ニ付價格等統制令第二條第一項但書又ハ同令第七條第一項但書ノ許可アリタル物品
前項各號ニ掲グル物品ナル旨ノ表示ハ主務大臣ノ定ムル様式ニ依リ之ヲ爲スベシ主務大臣又ハ地方長官ハ物品ノ販賣ヲ爲ス者ニ對シ第一項ノ表示ニ關シ必要ナル事項ヲ命ジ又ハ價格ノ届出ヲ命ズル

コトアルベシ

第三條 主務大臣又ハ地方長官ハ物品ノ販賣ヲ爲ス者ニ對シ物品ノ名稱、銘柄、規格、品質、等級、寸法、容量、重量若ハ數量ノ表示又ハ之ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコトアルベシ

第四條 主務大臣又ハ地方長官取締上必要アリト認ムルトキハ物品ノ販賣ヲ爲ス者ニ對シ業務ニ關スル報告ヲ爲サシムルコトアルベシ

第五條 第一條第一項ノ規定ハ左ニ掲グル場合ニハ之ヲ適用セズ

一 價格ニ付價格等統制令第二條ノ適用ヲ受クル物品又ハ同令第七條ノ規定ニ依リ額ノ指定アリタル物品ヲ販賣スルトキ

二 價格ニ付價格等統制令第六條第二項ノ規定ニ依リ定メタル法令ニ於テ又ハ之ニ基キ額ヲ定メ又ハ額ノ處分アリタル物品ヲ販賣スルトキ

第五條ノ二 本則ニ於テ地方長官トアルハ東京府ニ在リテハ東京府知事及警視總監トス

第六條 第一條ノ規定ニ違反シタル者ハ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

一 第二條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依ル表示ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ表示ヲ爲シタル者

二 第二條第三項又ハ第三條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

三 第四條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ報告ヲ爲シタル者

第八條 法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シテ前二條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ亦第六條ノ罰金刑又ハ前條ノ科料刑ヲ科ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

従前ノ規定ハ本令施行前ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ本令施行後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス

第三、有機質肥料ノ販賣價格ニ關スル告示

(一) 農林省告示第八十七號

肥料配給統制規則第十一條ノ規定ニ依リ大豆油粕(浸出大豆油粕ヲ除ク)ノ販賣價格左ノ通指定ス

昭和十五年二月二十九日

農林大臣 島 田 俊 雄

一 有機肥糧配給株式會社ノ指定販賣店ノ販賣價格

有機肥糧配給株式會社ノ指定販賣店ニ對スル販賣價格ニ左ニ掲グル金額ヲ加算シタル價格

滿洲國重要特產物検査法若ハ關東州輸出重要特產物検査規則ニ依ル検査ノ合格品タル大豆油粕又

ハ之ニ準ズベキモノ(以下大豆普通圓粕ト稱ス)ニ在リテハ四六斤ニ付金二錢五厘

其ノ他ノ大豆油粕ニ在リテハ一〇〇斤ニ付金五錢五厘

二 卸賣商ガ小賣商又ハ市町村産業組合ニ販賣スル場合又ハ道府縣産業組合聯合會ガ市町村産業組合

ニ賣渡ス場合ノ販賣價格

有機肥糧配給株式會社ノ指定販賣店ニ對スル販賣價格ニ左ニ掲グル金額ヲ加算シタル價格

大豆普通圓粕ニ在リテハ四六斤ニ付金七錢五厘

其ノ他ノ大豆油粕ニ在リテハ一〇〇斤ニ付金一六錢五厘

三 小賣商又ハ市町村産業組合ノ販賣價格

有機肥糧配給株式會社ノ指定販賣店ニ對スル販賣價格ニ左ニ掲グル金額ヲ加算シタル價格

大豆普通圓粕ニ在リテハ四六斤ニ付金一八錢

其ノ他ノ大豆油粕ニ在リテハ一〇〇斤ニ付金三九錢

備考

一 右販賣價格ハ全國省線又ハ直通連帶社線各驛及主要港着賃込現金建價格トス

二 前項ノ受渡場所以外ニ於テ受渡ヲ爲ス場合ハ別ニ運送賃其ノ他ノ實費ヲ加算シ得ルモノトス

(二) 農林省告示第百十七號

肥料配給統制規則第十一條ノ規定ニ依リ浸出大豆油粕(食料品製造用、醸造用其ノ他工業用ノモノヲ除ク)ノ販賣價格左ノ通指定ス

昭和十五年三月二十三日

農林大臣 島 田 俊 雄

一 有機肥糧配給株式會社ガ指定販賣店ニ對シ販賣スル場合ノ販賣價格

一呎(九貫五〇〇匁入、保證成分量窒素七・二% 磷酸一・三% 及カリ一・八%ノモノ以下同ジ)ニ付

六圓八二錢

二 有機肥糧配給株式會社ノ指定販賣店ガ卸賣商又ハ道府縣産業組合聯合會ニ對シ販賣スル場合ノ販

賣價格

一呎ニ付 六圓八六錢

三 卸賣商ガ小賣商又ハ市町村産業組合ニ販賣スル場合又ハ道府縣産業組合聯合會ガ市町村産業組合

ニ賣渡ス場合ノ販賣價格

一呎ニ付 六圓九四錢

四 小賣商又ハ市町村産業組合ノ販賣價格

一 噸ニ付 七圓一〇錢

備考

一 右販賣價格ハ全國省線又ハ直通連帶社線各驛及主要港著實込現金建價格トス

二 前項ノ受渡場所以外ニ於テ受渡ヲ爲ス場合ハ別ニ運送賃其ノ他ノ實費ヲ加算シ得ルモノトス

(三) 農林省告示第三百三十一號

肥料配給統制規則第十一條ノ規定ニ依リ内地產干鰹、干鰹粉末、頭干鰹及頭干鰹荒粕粉末ノ販賣價格
左ノ通指定ス

昭和十五年七月二十四日

農 林 大 臣

一 產地庭渡價格

(一) 干鰹(六斗入一俵當)

イ 水產製品検査ノ行ハルル道府縣ニ於ケル價格

水產製品検査合格特等品及一等品

四・三六 錢

同二等品

四・二六 錢

同三等品

四・一六

同四等品及等外品

四・〇六 錢

ロ 水產製品検査ノ行ハレザル府縣ニ於ケル價格

四・〇六 錢

(二) 干鰹粉末(正味一〇貫入一俵當)

窒素保證成分量七%以上ノモノ

八・〇二 錢

同七%未滿五%以上ノモノ

七・五二

同五%未滿四%以上ノモノ

七・〇二

(三) 頭干鰹(六斗入一俵當)

三・二九 錢

(四) 頭干鰹荒粕粉末(正味一〇貫入一俵當)

五・九三 錢

窒素保證成分量三%以上ノモノ

二 日本油肥販賣株式會社ノ販賣スルモノノ販賣價格

(一) 干鰹(六斗入一俵當)

一ノ一ノ價格ニ金三五錢ヲ加算シタル價格

(二) 干鰹粉末(正味一〇貫入一俵當)

- 一ノ二ノ價格ニ金五三錢ヲ加算シタル價格
- (三) 頭干鰻(六斗入一俵當)
- 一ノ三ノ價格ニ金三四錢ヲ加算シタル價格
- (四) 頭干鰻荒粕粉末(正味一〇貫入一俵當)
- 一ノ四ノ價格ニ金五二錢ヲ加算シタル價格

三 販賣價格

(一) 有機肥糧配給株式會社ガ指定販賣店ニ對シテ販賣スル場合ノ販賣價格

イ 干鰻(六斗入一俵當)

(1) 水産製品検査ノ行ハルル道府縣產ノ干鰻

水産製品検査合格特等品及一等品

同 二等品

同 三等品

同 四等品及等外品

(2) 水産製品検査ノ行ハレザル府縣產ノ干鰻

ロ 干鰻粉末(正味一〇貫入一俵當)

窒素保證成分量七%以上ノモノ

九圓 一六錢

四圓 八四錢

四圓 八四錢

四圓 九四錢

五圓 〇四錢

五圓 一四錢

同 七%未滿五%以上ノモノ

八圓 六六錢

同 五%未滿四%以上ノモノ

八圓 一六錢

ハ 頭干鰻(六斗入一俵當)

四圓 〇六錢

ニ 頭干鰻荒粕粉末(正味一〇貫入一俵當)

七圓 〇五錢

窒素保證成分量三%以上ノモノ

(二) 有機肥糧配給株式會社ノ指定販賣店ガ卸賣商又ハ道府縣產業組合聯合會ニ對シテ販賣スル場合ノ販賣價格

三ノ一ノ販賣價格ニ左ノ金額ヲ加算シタル價格

イ 干鰻 六斗入一俵ニ付

金三錢

ロ 干鰻粉末 正味一〇貫ニ付

金五錢

ハ 頭干鰻 六斗入一俵ニ付

金三錢

ニ 頭干鰻荒粕粉末 正味一〇貫ニ付

金五錢

(三) 卸賣商ガ小賣商又ハ市町村產業組合ニ對シテ販賣スル場合又ハ道府縣產業組合聯合會ガ市町村產業組合ニ賣渡ス場合ノ販賣價格

三ノ一ノ販賣價格ニ左ノ金額ヲ加算シタル價格

- イ 干鰹 六斗入一俵ニ付 金九錢
- ロ 干鰹粉末 正味一〇貫ニ付 金一五錢
- ハ 頭干鰹 六斗入一俵ニ付 金九錢
- ニ 頭干鰹荒粕粉末 正味一〇貫ニ付 金一五錢
- (四) 小賣商又ハ市町村産業組合ノ販賣價格
- 三ノ(一)ノ販賣價格ニ左ノ金額ヲ加算シタル價格
- イ 干鰹 六斗入一俵ニ付 金二一錢
- ロ 干鰹粉末 正味一〇貫ニ付 金三五錢
- ハ 頭干鰹 六斗入一俵ニ付 金二一錢
- ニ 頭干鰹荒粕粉末 正味一〇貫ニ付 金三五錢

備考

- 一 二ノ販賣價格ハ產地各驛(全國省線及直通連帶社線各驛)驛出賃込現金建價格トス
- 二 三ノ販賣價格ハ全國省線及直通連帶社線各驛竝ニ主要港著賃込現金建價格トス
- 三 前二項ノ受渡場所以外ニ於テ受渡ヲ爲ス場合ハ別ニ運送賃其ノ他ノ實費ヲ加算シタルモノトス

(四) 農林省告示第三百三十四號

肥料配給統制規則第十一條ノ規定ニ依リ落花生油脂、胡麻油脂、芥子油脂、荳油粕、菜種油粕、棉實油粕、雜植物油粕、二種以上ノ植物油粕ヲ調合シタル植物油粕、再製雜植物油粕、再製混合雜植物油粕、蓖麻子油粕、亞麻仁油粕及麻實油粕竝ニ落花生油脂粉末、胡麻油粕粉末、芥子油粕粉末、荳油粕粉末、菜種油粕粉末、棉實油粕粉末、雜植物油粕粉末、二種以上ノ植物油粕ヲ調合シタル植物油粕粉末、再製雜植物油粕粉末、再製混合雜植物油粕粉末、蓖麻子油粕粉末、亞麻仁油粕粉末及麻實油粕粉末ノ昭和十五年八月一日以降ノ販賣價格左ノ通指定ス

昭和十五年七月二十七日

農 林 大 臣

一 有機肥糧配給株式會社ガ指定販賣店ニ對シテ販賣スル場合ノ販賣價格

(一) 植物油粕

品 目	價 格
窒素保證成分量 七、五%以上	
正味六〇(百斤)當	一四、九錢
上目六〇(百斤)一噸	一四、五錢
正味六〇(百斤)麻袋一袋當	一五、五錢
上目六〇(百斤)麻袋一袋當	一五、四錢
正味七五(百二十五斤)麻袋一袋當	一九、九錢
上目七五(百二十五斤)麻袋一袋當	一九、三錢